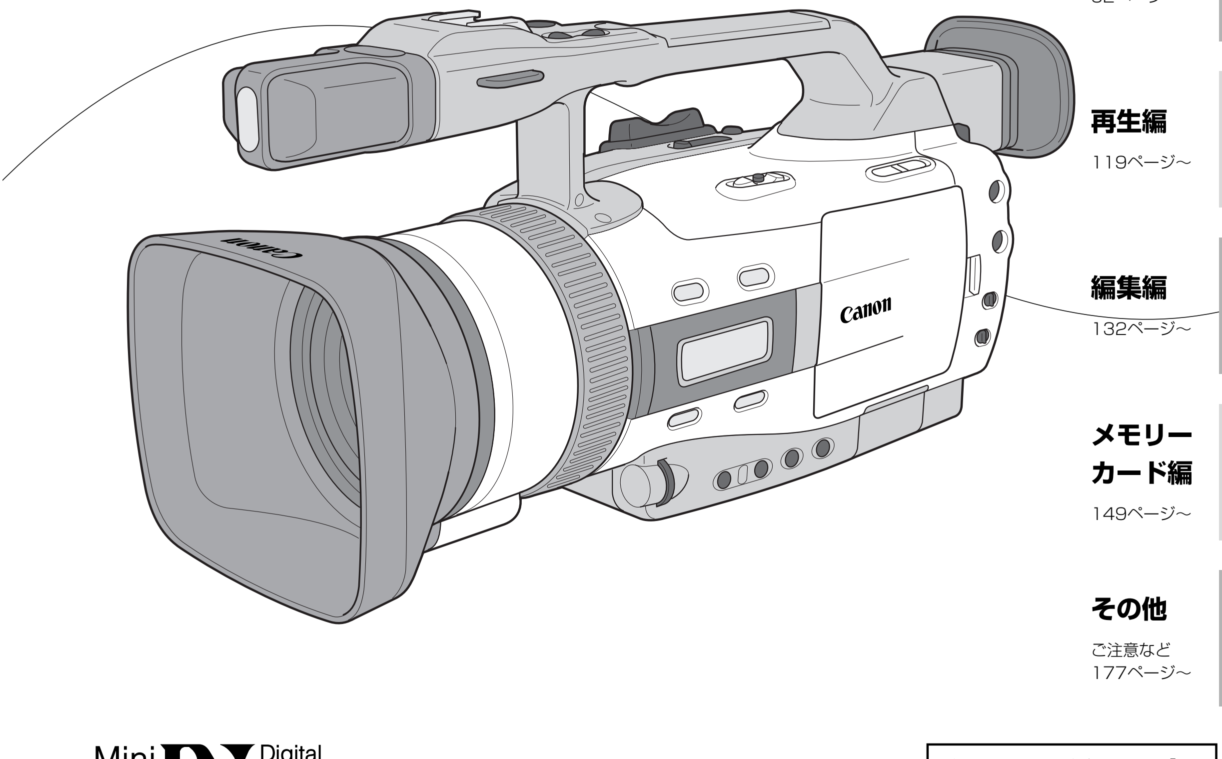
PUB. DIJ-124A

Canon

# DIGITAL VIDEO CAMERA

# XV2





Mini DV Digital Video Cassette

# 使用説明書

**J**
**日本語版**

このたびはキヤノンXV2をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

**保証書別添付** 保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

# XV2 使用説明書の構成

本機には、「デジタルビデオカメラXV2 使用説明書」と「Canon DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK ソフトウェア 使用説明書」（別売アクセサリーキットAK-620に入っています）の2冊があります。

## XV2 使用説明書（本書）

**準備**
バッテリーパックの充電や、ビューファインダーの調整などをします
📖23 ～📖34

**ご購入時の設定を変える**
メニューで本機の設定を変えます
📖35 ～📖53

**撮影** テープ
テープに撮影する基本操作です
📖62 ～📖66

**応用撮影** テープ
テープに撮影する応用操作です
📖67 ～📖118

**再生** テープ
液晶画面やテレビで撮影したテープを見ます
📖119 ～📖124

**応用再生・編集** テープ
テープの見たい場面を探したり、ダビング編集したりします
📖125 ～📖148

**カードを使う** カード
静止画を記録したり、再生したり、カメラで撮影している映像と合成したりする操作です
📖149 ～📖176

## ソフトウェア 使用説明書（別売アクセサリーキット AK-620に入っています）

**ソフトウェアをインストールする**

**パソコンに接続する**

**静止画／動画をパソコンに取り込む**

# もくじ

**本書の表記について**
：表示の点滅を示しています。



## はじめに



## 準備編



## 撮影編

## 再生編



## 編集編

## メモリーカード編

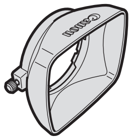


## その他

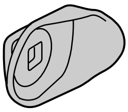
# 付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

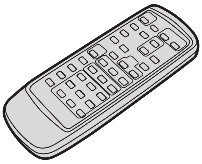
●レンズフード



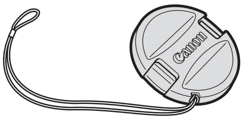
●大型アイカップ



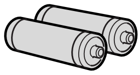
●リモコン（ワイヤレスコントローラー）
WL-D77



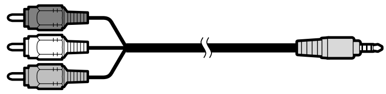
●レンズキャップ/レンズキャップ用ひも



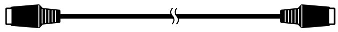
●リモコン用単 3 乾電池 2 本



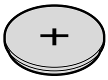
●ステレオビデオケーブルSTV-250N



●SビデオケーブルS-150



●コイン型リチウム電池
CR2025

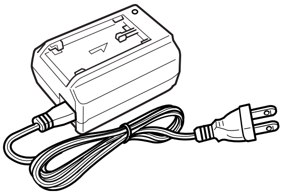


●XV2使用説明書

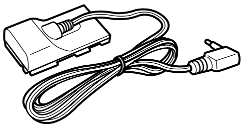
## 別売アクセサリーキットAK-620

本機をお使いなるためには、別売のアクセサリーキットAK-620が必要です。

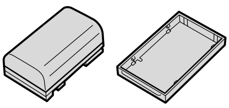
●コンパクトパワーアダプター
CA-920 ACアダプター用電源コード



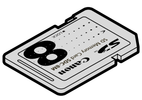
●電源カプラー
DC-920



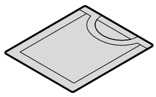
●バッテリーパックBP-915
ショート防止用端子カバー



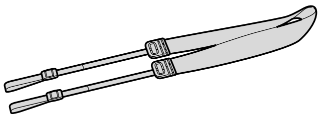
●メモリーカード（SDメモリーカード）
SDC-8M



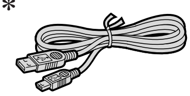
●メモリーカード用ケース



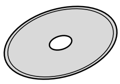
●ショルダーストラップ
SS-650



●USBケーブル
IFC-300PCU＊



●ソフトウェアCD-ROM
Canon DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK＊



●DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK
ソフトウェア使用説明書

＊ビデオカメラでメモリーカードに記録した静止画を、パソコンで活用するために必要です。詳しくは、ソフトウェアの使用説明書をご覧ください。

# 必ずお読みください

**ためし撮り**
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

**記録内容の補償はできません。**
万一、ビデオカメラやテープ、メモリーカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

**著作権について**
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

**本書内の写真について**
機能や液晶画面／ファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機をDV端子つきのパソコンと接続するときは、別売のDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。USB端子つきのパソコンと接続するときは、アクセサリーキットAK-620に付属のUSBケーブルIFC-300PCUをお使いください。

# 安全上のご注意

●ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください

火災　感電　破裂

---

**●煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。**
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですからおやめください。

プラグをコンセントから抜く

---

**●本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。**
ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

---

**●風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。**
水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。

風呂場、シャワー室での使用禁止

---

**●雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。**
感電の原因となります。

接触禁止

---

**●本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、ＤＣ／ＡＣコンバータなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。**
火災、感電、けがの原因となります。

禁止

---

**●海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。**
火災、感電の原因となります。

強制

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **●海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。**<br>根元まで入れない場合、感電の原因となります。 | 強制 |
| **●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。**<br>ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。 | 強制 |
| **●電源コードを傷つけないでください。**<br>**・加工したり、傷つけたりしないでください。**<br>**・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。**<br>**・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。**<br>電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。 | 禁止 |
| **●ビデオカメラの外装を外さないでください。**<br>内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。 | 分解禁止 |
| **●ビデオカメラを分解、改造しないでください。**<br>発熱、火災、感電、けがの原因となります。 | 分解禁止 |
| **●強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。**<br>破損により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となることがあります。 | 禁止 |
| **●指定された機器を使用してください。**<br>ＤＣプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や変形して、火災、感電の原因となります。 | 強制 |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **●指定されたバッテリーパックの充電にご使用ください。**<br>それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。 | 強制 |
| **●バッテリーパックを金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。**<br>バッテリーパックなどの「+」と「−」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止キャップを取り付けてください。 | 禁止 |
| **●ビデオカメラの内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。**<br>火災、感電、けがの原因となります。 | 禁止 |
| **●バッテリーパック、乾電池、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで過熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。**<br>電池の破裂により、やけど、けがの原因となります。 | 禁止 |
| **●バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。**<br>皮膚の障害、失明、発火の原因となります。 | 禁止 |
| **●バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。**<br>バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。 | 禁止 |
| **●コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。**<br>万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。 | 強制 |
| **●お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。**<br>感電、けがの原因となります。 | 強制 |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| ●**乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。**<br>感電、けがの原因となります。 | 強制 |
| ●**自動車などの運転中に、運転者はビデオカメラを操作しないでください。**<br>交通事故の原因となります。 | 禁止 |
| ●**撮影しているときには、周囲の状況にご注意ください。**<br>けがや交通事故の原因となります。 | 強制 |
| ●**ビデオカメラをぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。**<br>落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 | 禁止 |
| ●**ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。**<br>そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。 | 禁止 |

| ⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。 | |
|---|---|
| ●**ビデオカメラを、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。**<br>外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。 | 禁止 |
| ●**直射日光下、車のトランクやダッシュボード、発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所での使用や放置をしないでください。**<br>機器の外装が高温によって変形したり、バッテリーパックが液漏れしたりして、火災、やけど、けがの原因となることがあります。 | 禁止 |
| ●**コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。**<br>長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。 | 強制 |

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| **●テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。**<br>内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。 | 禁止 |
| **●使用中または、使用直後のビデオライトに、手を触れないでください。**<br>熱くなっていますので、やけど、けがの原因となることがあります。 | 接触禁止 |
| **●指定されたバッテリーパックを使用してください。**<br>それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。 | 強制 |
| **●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。**<br>感電の原因となることがあります。 | ぬれ手禁止 |
| **●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**<br>電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。 | 強制 |
| **●使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。** | プラグをコンセントから抜く |
| **●テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。**<br>テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。 | 強制 |
| **●コード類は正しく配置してください。**<br>電源コード、DCアダプター、AVケーブルに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりしてけがの原因となることがあります。 | 強制 |
| **●バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。**<br>緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。 | 強制 |
| **●ショルダーストラップを首や肩などにかけているときは、木や杭などに引っ掛からないようにご注意ください。**<br>転倒して、けがの原因となることがあります。 | 強制 |

## ⚠ 注 意

| | |
|---|---|
| **●湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。**<br>火災、感電の原因となることがあります。 | 禁止 |
| **●コンパクトパワーアダプターは、目の届く安全な場所で使用してください。** | 強制 |
| **●お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。**<br>けがの原因となることがあります。 | 指をはさまれないよう注意 |
| **●レンズが割れた場合、漏れた液体に触れたり、眼に入らないように注意してください。**<br>万一、眼に入った場合、ただちに流水で洗浄してください。刺激感が残るようであれば、医師の診断を受けてください。 | 強制 |
| **●飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。**<br>機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。 | 強制 |
| **●コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。**<br>発熱により、やけどの原因となります。 | 強制 |

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

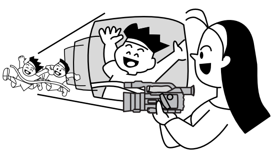
# 主な特長

## 画素ずらし方式による3CCD

38万画素1/4型CCDのG(緑)をハーフピッチずらして配置する画素ずらし方式により、高解像度と高感度を両立しました。

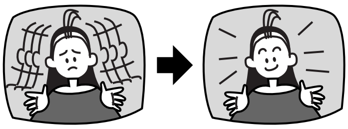
## 蛍石採用20倍光学ズームレンズ

(67ページ)
キヤノン一眼レフカメラ用EFレンズ、それもLレンズのみに搭載される蛍石を採用。色収差が少なく、色再現性に優れた20倍光学ズームレンズです。



## 手ぶれ補正機能

(75ページ)
光学式手ぶれ補正により、画質劣化がなく、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。



## フレームモード

(107ページ)
フレーム単位で記録するため、静止画撮影時に垂直解像度が向上します。また、フィルムで撮影してるようなニュアンスを出すこともできます。

## カスタムプリセット(画質調整)

(97ページ)
カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベルが調整可能。

## ゼブラパターン

(91ページ)
白とび警告のゼブラパターンが表示可能。表示レベルを5段から選択できます。

## クリアスキャン

(92ページ)
パソコンの画面などを撮影するときに出る黒い帯を除去できます。

## インターバル記録

(112ページ)
撮影間隔、撮影時間を4段階から選べるインターバル記録が可能です。

## カラーバー

(106ページ)
SMPTEカラーバーを表示できます。

## インデックス記録/サーチ

(126ページ)
撮影時にインデックス信号を記録することで、再生時に簡単にサーチできます。

## カスタムキー

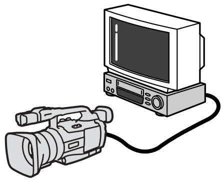
(93ページ)
さまざまな機能を専用ボタンに設定できます（カメラモード、再生(VTR)モード、カードカメラモード、カード再生（VTR）モード独立）

## DVコントロール

(111ページ)
本機と他のビデオ機器をDV端子で接続することで、接続した機器の録画、一時停止を本機で操作できます。

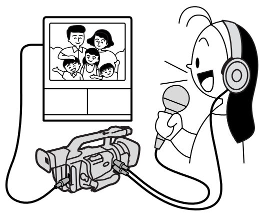
## アナログ入力機能

(135ページ)
VHSや8ミリテープなどのアナログ映像/音声をDVテープに記録可能。また、アナログ入力した映像/音声を瞬時にデジタル変換してDV端子から出力できます（アナログ-デジタル変換機能）。



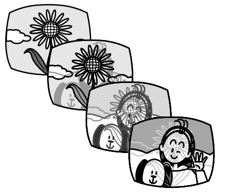
## アフレコ/AVインサート

(140, 143ページ)
撮影済みのテープに音声や映像をあとから追加したり、あらたに入れ換えることができます。



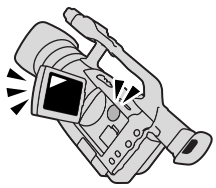
## デジタルエフェクト

（99, 100, 104ページ）
フェーダー：オートフェード/ワイプ/オーバーラップ
エフェクト：シロクロ/セピア/アート/モザイク/ミラー/ストロボモーション/トレイル



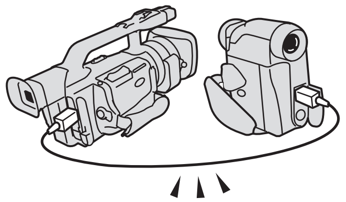
## 液晶画面/スピーカー

（62, 64, 76, 122ページ）
2.5型の高精細液晶画面を採用し、ハイ/ローアングル撮影、対面撮影も可能。また、スピーカーを内蔵していますので、液晶画面で再生中は音声も確認できます（本体内蔵のスピーカーはモノラルです）。



## DV端子

（133, 137, 148ページ）
DV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質･音声の劣化のないダビング編集が可能。また、DV端子つきパソコンでは、映像や音声が取り込めます。



## フォト撮影

（108, 154ページ）
フォトボタンを押すだけで簡単に静止画をテープやメモリーカードに撮影できます。

## メモリーカード

（150ページ）
SDメモリーカードとMultiMediaCard（マルチメディアカード）に対応。静止画を記録するだけでなく、記録したタイトル画像とカメラで撮影している画面を合成できます。パソコンに静止画を取り込むことも容易です。

## ストロボ

（110ページ）
別売の一眼レフカメラ　キヤノンEOS用E-TTLスピードライト220EX/420EX/550EXが使用可能です。

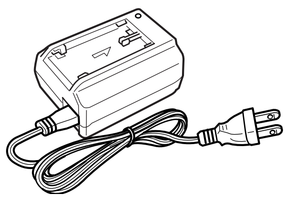
## USB端子

（175ページ）
メモリーカードのデータを、USB端子を搭載するパソコンに高速転送可能。アクセサリーキットAK-620に付属のソフトを使えば、パソコンで静止画の加工や整理ができます。

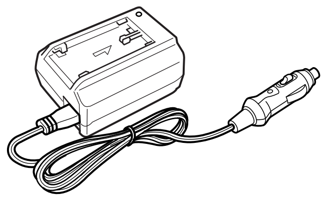
## 3電源方式

撮影する場所に合わせて電源が選べます。バッテリーパックはいつでも充電できるリチウムイオンタイプです。

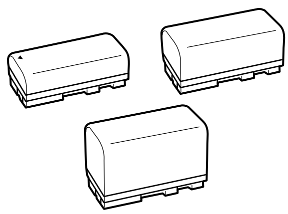
**家庭用コンセント**
コンパクトパワーアダプター
CA-920



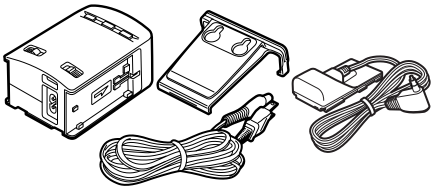
**カーバッテリー**
カーバッテリーアダプター
CB-920（近日発売）



**バッテリーパック**
BP-915、BP-930、BP-945



**デュアルバッテリーチャージャー/ホルダー**
**CH-910＋BP-915、BP-930、BP-945**



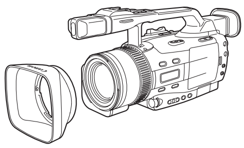
# システムチェック

●電源を入れたり、撮影が始まるときなどに「ピッ」などの音が出ます。これは「おしらせブザー」です。（🕮 39）

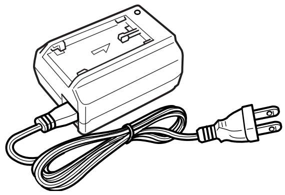
ご購入後、撮影などを始める前に本機が正常に動作することを確認してください。

## 用意するもの

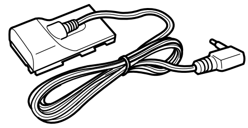
ビデオカメラ
XV2本体



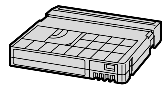
コンパクトパワーアダプター
（別売アクセサリーキット
AK-620）

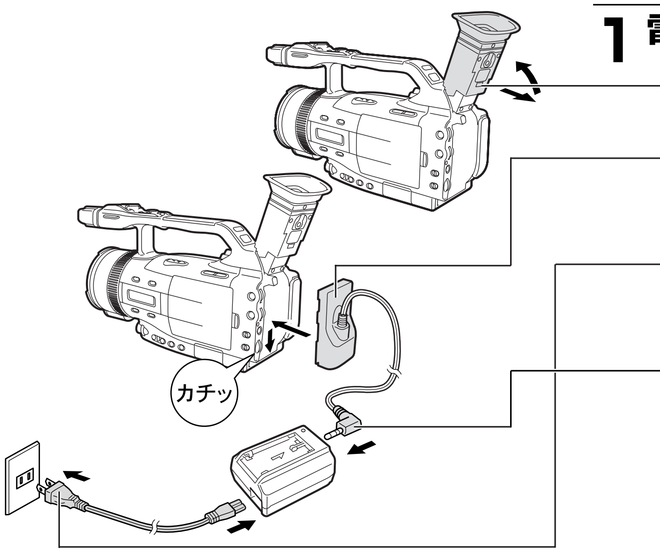


電源カプラー
（別売アクセサリーキット
AK-620）



Mini DVカセット（別売）






## 1 電源を取り付ける

❶ ビューファインダーを引き出して、

**上げる**

❷ ガイドラインに電源カプラーの先端を合わせて、押し付けながらカチッとロックされるまで、

**スライドさせて入れる**

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに

**差し込む**

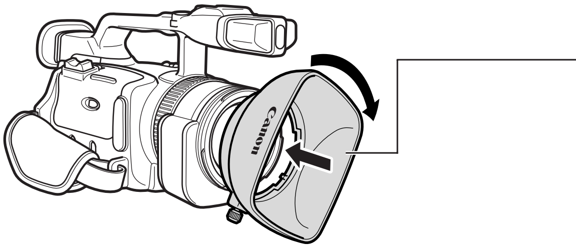
❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに

**接続する**

❺ ビューファインダーを元の位置に

**下げる**

## 2 レンズフードを取り付ける




❶ レンズキャップを

**はずす**

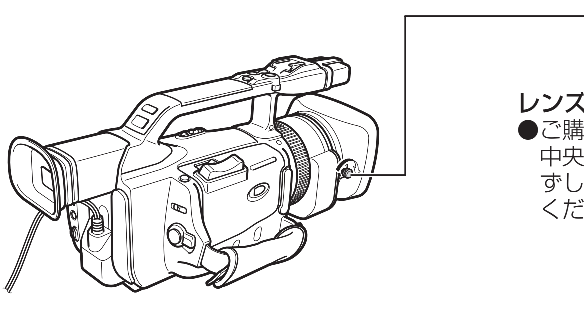
❷ レンズ先端部にフードをはめ込み、Canonの文字が上にくるように時計方向に

**回す**

● フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して取り付け/取りはずしにくくなります。

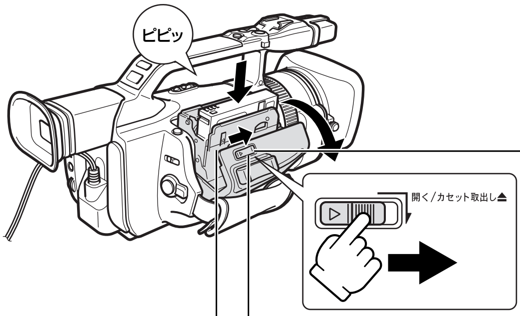
❸ 固定ねじでフードを

**固定する**



**レンズフードを取り付けるときは**

●ご購入時は、レンズキャップのひもはグリップベルト中央部に固定されています。グリップベルトを一度はずして、レンズキャップのひもをレンズ側に移動してください。

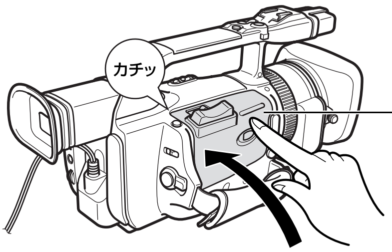



## 3 カセットを入れる

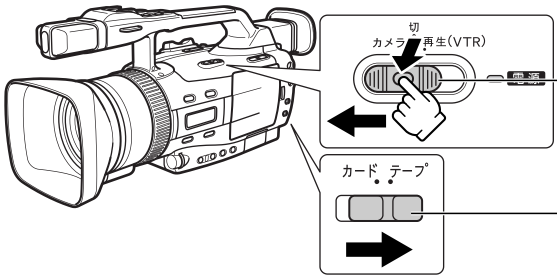
❶ 開く／カセット取出しスイッチを
**押しながら**
グリップカバーを止まるところまで
**開く**
● カセット入れが自動的に開く。

❷ カセットを入れる
● カセットの透明な窓を外側に向け、誤消去防止つまみを側を上にして入れる。

❸ PUSH マークを
**押す**
● カセット入れが自動的に収納される。




❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを
**閉める**

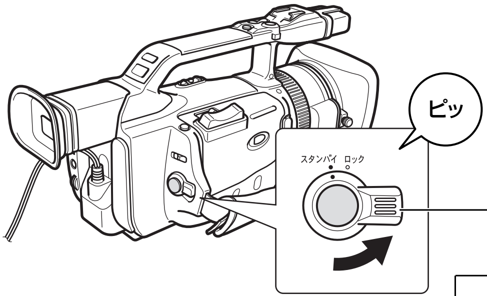



## 4 撮影する

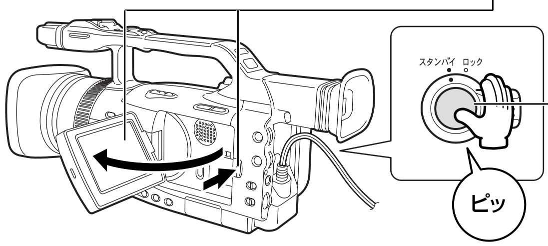
❶ ボタンを押しながら電源スイッチを
**カメラにする**

❷ カード/テープ切り換えスイッチを
**テープにする**

❸ スタンバイレバーを
**スタンバイにする**
● 電源ランプが赤く点灯する。



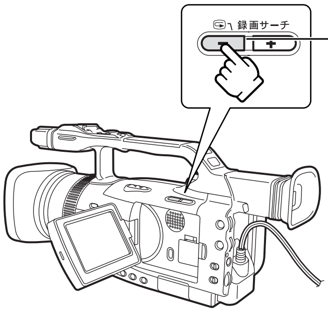

❹ 液晶画面OPENボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に
**調整する**
● ビューファインダーを使用する場合は、液晶画面を閉じて、ビューファインダーを手前に引き出してください。




❺ 赤いスタート/ストップボタンを
**押す**と、
撮影が始まる
● 録画ランプが点滅する。

❻ もう1回スタート/ストップボタンを押すと、撮影が止まり、撮影一時停止になる

# システムチェックーつづき



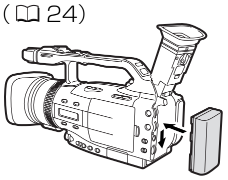

## 5 撮影できたか確認する

撮影一時停止にしたら、録画チェックボタンを

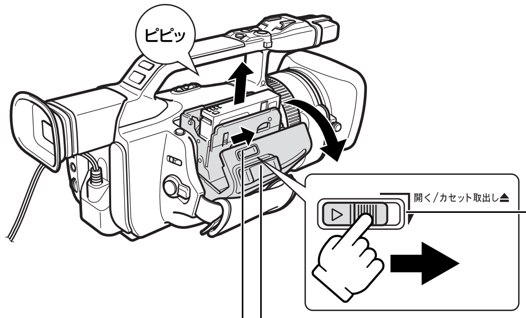
**ポンと押す**

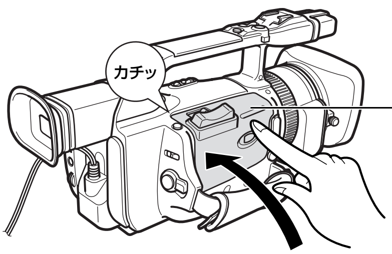
● 最後の場面が数秒見られます。

● 屋外などで撮影するときは充電したバッテリーパックを使います。（📖 24）



### システムチェックの終了




## 1 カセットを出す

❶ 開く／カセット取出しスイッチを

**押しながら**

グリップカバーを止まるところまで

**開く**

● カセット入れが自動的に開く。

❷ カセットを

**出す**

❸ PUSH マークを

**押す**

● カセット入れを閉める。

● カセット入れが自動的に収納される。

❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを

**閉める**

## 2 電源スイッチを切にする

## 3 電源を取りはずす

（📖 23）

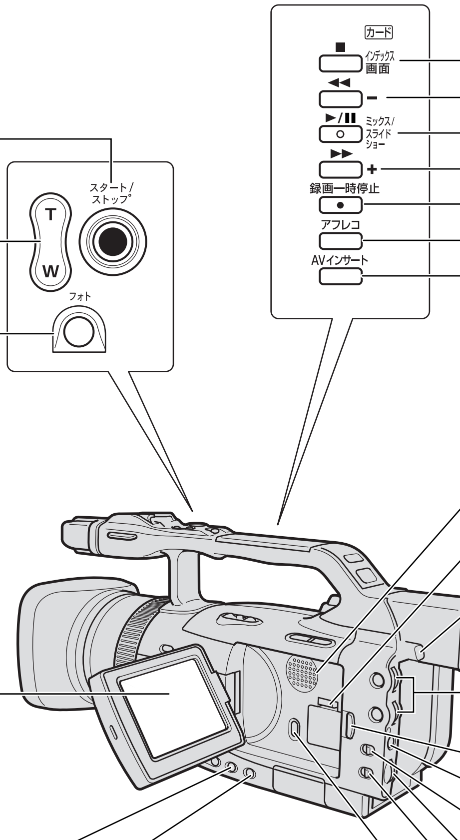
液晶画面やビューファインダーをつかんで本機を持ち上げないでください。

●本機の主な機能を一覧できる「デモモード」があります。（📖 39）

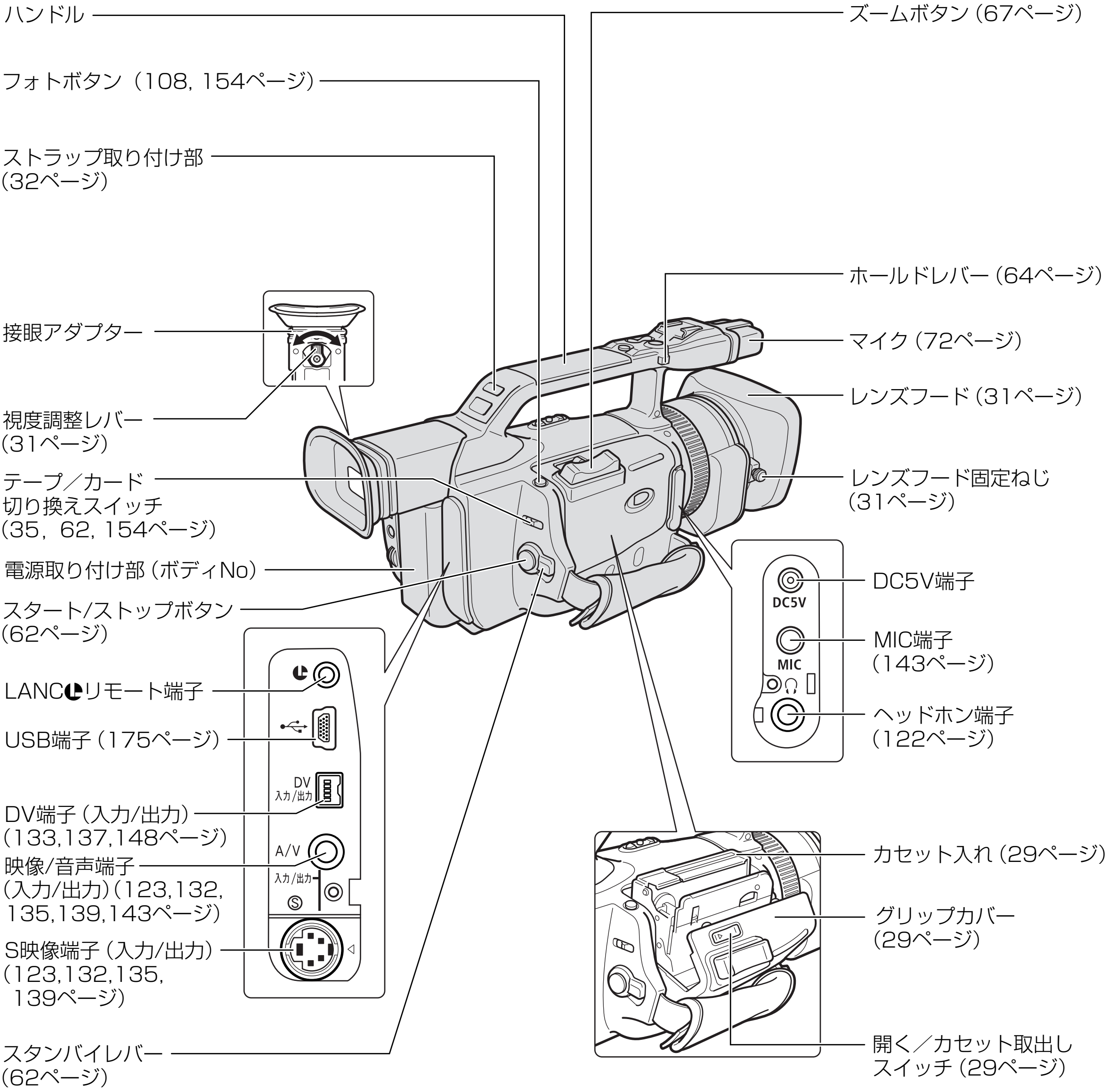
# 各部の名称

使い方の説明は（　　）内のページにあります。

## 本体

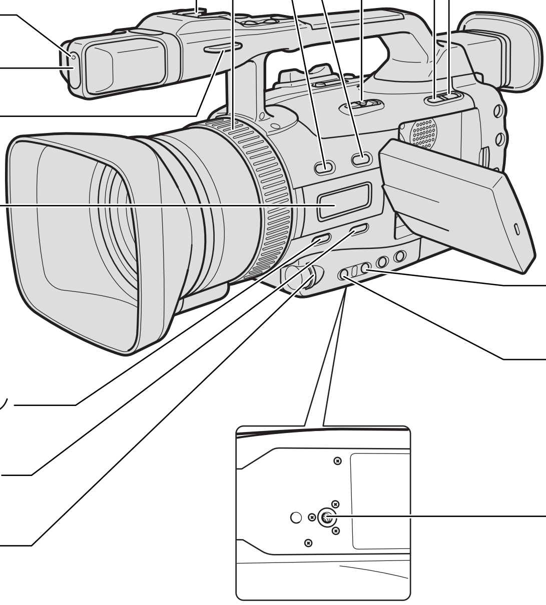


# 各部の名称－つづき



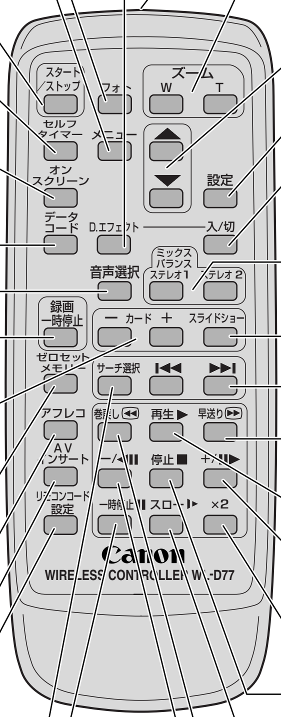

**マークについて**

● は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。
● マークが表示されている機器と接続してください。
●「LANC」ロゴおよび「LANC」マークは、商標です。
● LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
● マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。


NDフィルター入/切ボタン（71ページ）
フォーカスA/Mボタン（69ページ）
フォーカスリング（69ページ）
アドバンストアクセサリーシュー（116-118ページ）
録画ランプ（34, 39ページ）
リモコン受光部（34ページ）
ストラップ取り付け部（32ページ）
オーディオレベルメーター（73, 77ページ）
デジタルエフェクト入/切ボタン（101,103,105-106ページ）
デジタルエフェクト選択ボタン（101,103,105-106ページ）
露出ボタン（88ページ）
電源スイッチ（35, 62, 119ページ）
録画サーチ/録画チェックボタン（74ページ）
ホワイトバランス（セット）ボタン（89ページ）
ホワイトバランス選択ボタン（89ページ）
三脚ねじ穴（66ページ）

# 各部の名称ーつづき

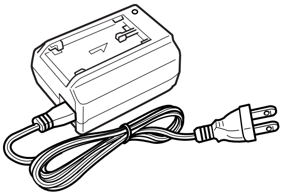
## リモコン　WL-D77（34ページ）



# 家庭用コンセントで使う

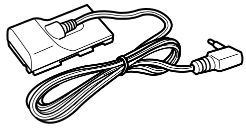
## コンパクトパワーアダプター　CA-920

家庭用コンセントに接続して使います
（入力電圧はAC100〜240Vまでに全世界対応）。



## 電源カプラー　DC-920

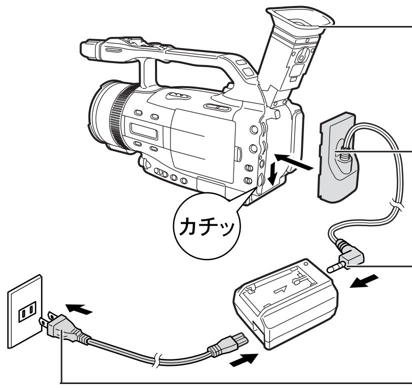
コンパクトパワーアダプターやカーバッテリーアダプターに接続して使います。



## 使いかた



### 付けかた




❶ ビューファインダーを引き出して、
**上げる**

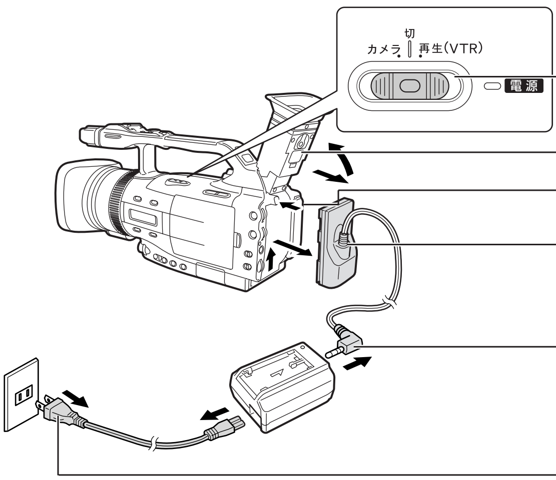
❷ ガイドラインに電源カプラーの先端を合わせて、押し付けながらカチッとロックされるまで、
**スライドさせて入れる**

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに
**差し込む**

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに
**接続する**

❺ ビューファインダーを元の位置に
**下げる**

### はずしかた




❶ ビデオカメラの電源を
**切る**

❷ ビューファインダーを引き出して、
**上げる**

❸ バッテリー取りはずしボタンを
**押しながら**

❹ 電源カプラーをスライドさせて
**はずす**

❺ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターから
**抜く**

❻ ACプラグをコンセントから抜き、ACコードを
**抜く**

**テレビの近くで使うときは**

● テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナから離してください。

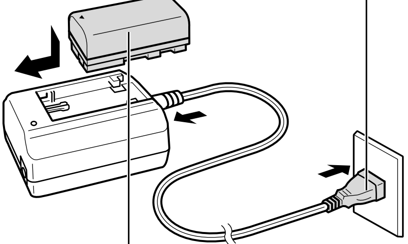
# バッテリーパックで使う

## バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電にはコンパクトパワーアダプターCA-920を使用します。
別売のデュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。
また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより､本機への給電ができ、しかも本機を使用したままバッテリーパックを交換できます。

### 充電のしかた

● バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターから抜いてください。



**1 充電する**

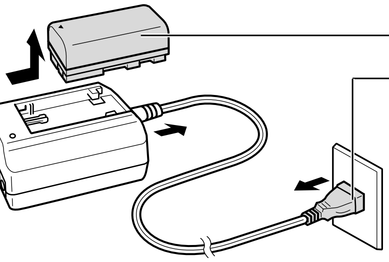
❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し､電源プラグをコンセントに
**差し込む**

❷ ガイドラインにバッテリーパックの先端を合わせて､押し付けながらカチッとロックされるまで､
**スライドさせる**
● 「充電」ランプが点滅して、充電が始まる。

ランプの点滅/点灯が充電した量を示します。

| | |
|---|---|
| 0〜50% | ：約1秒間隔で1回ずつ点滅 |
| 50〜75% | ：約1秒間隔で2回ずつ点滅 |
| 75%以上 | ：約1秒間隔で3回ずつ点滅 |
| 100% | ：点灯 |

※表示は目安です。



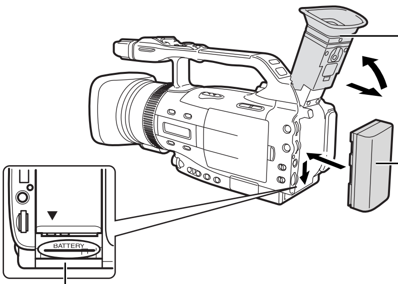
**2 「充電」ランプが点灯したら充電終了**

❶ **スライドさせて取りはずす**

❷ 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコンパクトパワーアダプターから
**抜く**

**バッテリーパックの残量を知りたいときは**
● コンパクトパワーアダプターに取り付けたときの「充電」ランプの点滅のしかたでバッテリーパックの残量を確認できます。

## バッテリーパックの付けかた/はずしかた

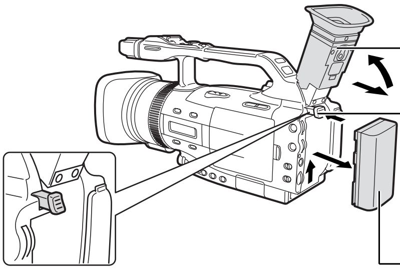


ガイドライン

### 付けかた

❶ ビューファインダーを引き出して、
**上げる**

❷ ガイドラインにバッテリーパックの先端を合わせて、押し付けながらカチッとロックされるまで、
**スライドさせて入れる**



### はずしかた

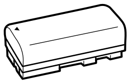
❶ ビデオカメラの電源を
**切る**

❷ ビューファインダーを引き出して、
**上げる**

❸ バッテリー取りはずしボタンを
**押しながら**

❹ バッテリーパックをスライドさせて
**はずす**

## バッテリーパック　BP-915



**主な仕様**

| | |
|---|---|
| 使用電池 | リチウムイオン電池 |
| 使用温度 | 0℃～+40℃ |
| 公称電圧 | DC7.2V |
| 容量 | 1500mAh |
| 外形寸法<br>（幅×高さ×奥行き） | 38.2×20.5×70.5mm |
| 質量 | 約96g |

※仕様および外観は予告なく変更することがありますがご了承ください。

### バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。

ビデオカメラの消費電流は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。

また、温度の低い場所で撮影する場合も、使用時間が短くなります。

撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意していただくことをおすすめします。

撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。カメラスタンバイレバーでこまめに電源を切ることが使用を長くさせるコツです。

# バッテリーパックで使う ー つづき

## コンパクトパワーアダプター　CA-920

### 主な仕様

| | |
|---|---|
| 電源 | AC 100-240V、50/60Hz |
| 出力電力／消費電力 | アダプターモード時　　公称DC7.2V、2.0A |
| | 35VA(AC 100V)〜47VA(AC 240V) |
| | チャージモード時　　公称DC8.4V、1.5A |
| | 29VA(AC 100V)〜40VA(AC 240V) |
| 使用温度 | 0℃〜+40℃ |
| 外形寸法（幅×高さ×奥行き） | 約75×51×99mm |
| 本体質量 | 約215g |

●ACパワーアダプターCA-920とカーバッテリーアダプターCB-920（近日発売）を使用したときのバッテリーパックの充電時間は次のとおりです。

| バッテリーパック | 充電時間 |
|---|---|
| BP-915 | 約85分 |
| BP-930 | 約145分 |
| BP-945 | 約220分 |

●フル充電したバッテリーパックの使用時間は次のとおりです。

| バッテリーパック | 連続撮影時間 | | 実撮影時間＊ | | 再生時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ビューファインダー使用時 | 液晶画面使用時 | ビューファインダー使用時 | 液晶画面使用時 | 液晶画面使用時 |
| BP-915 | 約120分 | 約95分 | 約65分 | 約55分 | 約105分 |
| BP-930 | 約280分 | 約235分 | 約155分 | 約135分 | 約255分 |
| BP-945 | 約420分 | 約355分 | 約235分 | 約205分 | 約385分 |

＊実撮影時間：撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間の目安です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

● この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
● リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
● 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにショート防止用端子カバーを取り付け､テープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
● リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
・ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
・(社)電池工業会小型二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

Li-ion

「(社)電池工業会 小型二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ」については、以下にお問合せください。

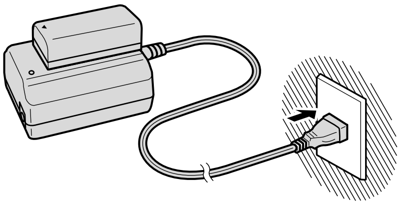
(社)電池工業会　ホームページ http://www.baj.or.jp/
電話番号 03-3434-0261

# バッテリーパックの上手な使いかた

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

必ず

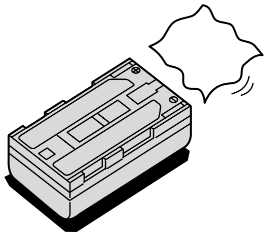
## 充電してから、お使いください



- バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。
  長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。
- 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

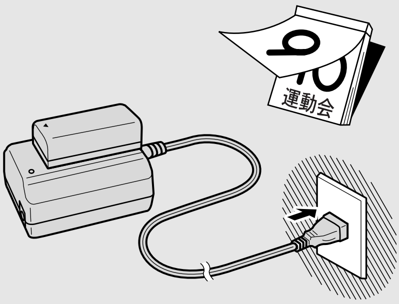
## 端子はいつもきれいに

していてください



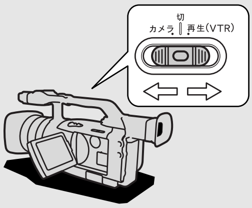
- バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。汚れていると接触不良の原因となります。充電や使用する前にティッシュペーパーなどで乾拭きしてください。

## 充電は使用直前に




- 充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
  充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
  長い間ビデオカメラを使用しないときは、液晶画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

## こまめに電源を切って使う

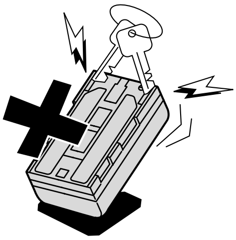



- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

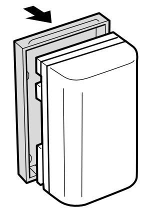
# バッテリーパックの取り扱いについて

## 次のことを守ってください

● キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図A）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください（図B）。



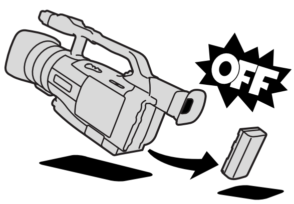
（図A）



（図B）

使用しないときは
## 取りはずして
ください

● ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。




充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

● 常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために次のことをおすすめします。

● １年に１回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、液晶画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。
● 湿度の低い室温で保管する。
● 複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

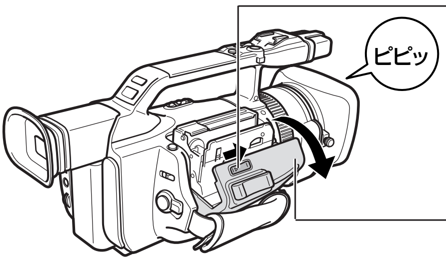
# カセットの入れかた/出しかた

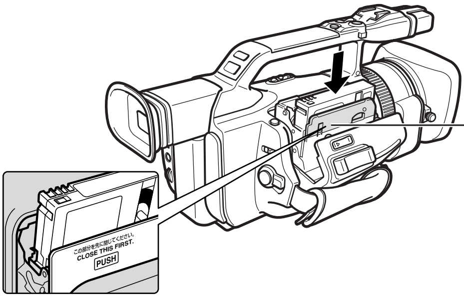
ビデオカセットは MiniDV マークの付いたものをお使いください。

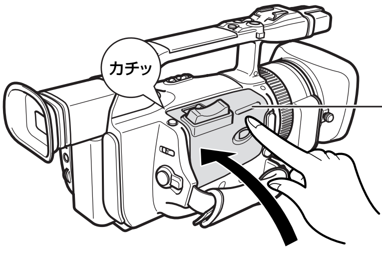
● バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源は切れます。
　カセットが入っていないと「マーク」が液晶画面/ビューファインダーで点滅します。

● "MiniDV" ロゴは商標です。

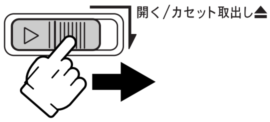
## カセットを入れる/出す




❶ 開く／カセット取出しスイッチを
**押しながら**
グリップカバーを止まるところまで
**開く**




● カセット入れが自動的に開く。

❷ カセットを
**入れる/出す**
● カセットの透明な窓を外側に向け、誤消去防止つまみを側を上にして入れる。

❸ PUSH マークを
**押す**
● カセット入れが自動的に収納される。

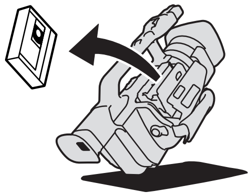
❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを
**閉める**

**カセットを出し入れするときは**
● カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
● 指をはさまないようにご注意ください。

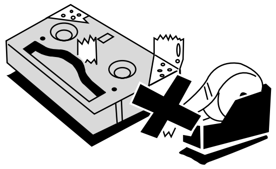
## ビデオカセットについて

### 取り扱い上のご注意

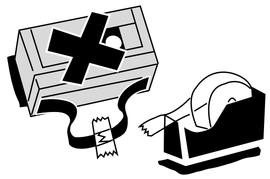
● カセットとヘッドを保護するためにカセットを本体に入れたまま放置しないでください。



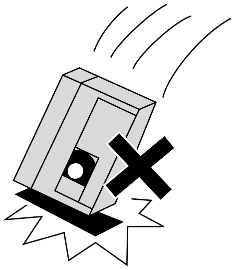
● カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。セロハンテープなどで穴をふさがないでください。



● テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは、故障の原因となりますので、使用しないでください。



● カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えないでください。内部のテープがたるみ故障の原因となります。



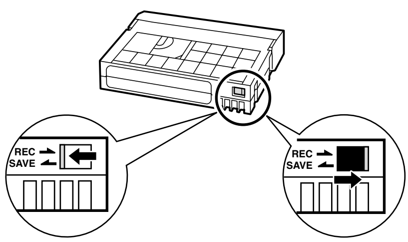
● カセットを長期間保管するときは、時々巻き直してください。

● カセットメモリー機能付きのカセットの場合、カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着すると、カセットメモリーの機能が正しく動作しないことがあります。カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにしてください。

### 間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換えSAVEにしてください。
誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。

● カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、液晶画面／ビューファインダーに「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後 が点滅します。

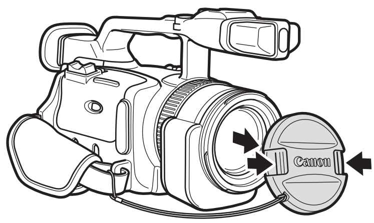


SAVE (録画できない)　　REC (録画できる)

# カメラの準備

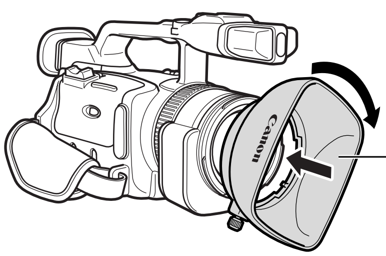
## レンズキャップの取り付け/取りはずし

レンズキャップを取り付け/取りはずしするときは、
キャップのボタンを押します。




## レンズフードの取り付け

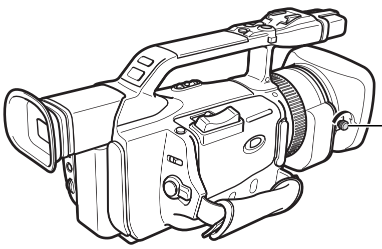





**1** レンズキャップを
**取りはずす**

**2** レンズ先端部にフードをはめ込み、Canonの文字が上にくるように時計方向に
**回す**

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して取り付け/取りはずしにくくなります。



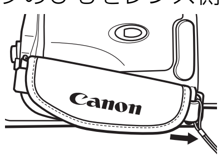
**3** 固定ねじでフードを
**固定する**

**ご注意**

- 撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。
- レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

**レンズフードを取り付けるときは**

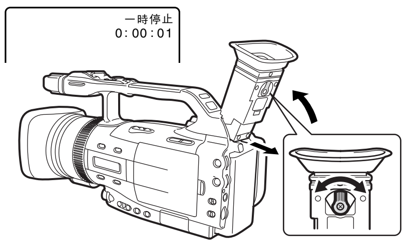
- ご購入時は、レンズキャップのひもはグリップベルト中央部に固定されています。グリップベルトを一度はずして、レンズキャップのひもをレンズ側に移動してください。




## ビューファインダーの調整

### 視度調整

電源を入れ、ビューファインダーを止まるところまで水平に引き出し、ビューファインダーの表示がはっきり見えるように、レバーを動かして調整します。
ビューファインダーを収納するときは、水平に押し込んでください。

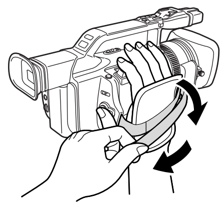



- ビューファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音のするまで、しっかりと閉じてください。
- 直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるため、ファインダーが溶けてしまうことがあります。このような場合は、ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

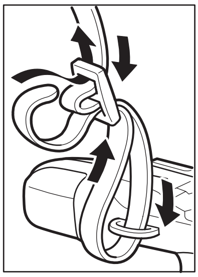
# カメラの準備 ー つづき

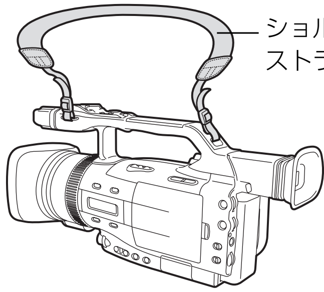
## グリップベルトの調整

右手で本体を持ちながら、親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームボタンが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。



## ストラップの取り付けかた

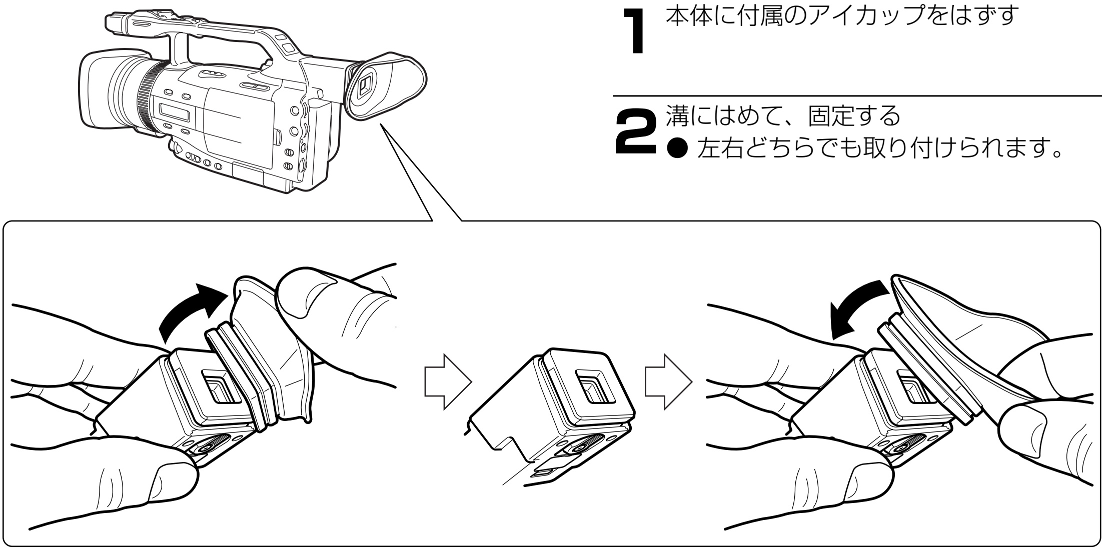





● 直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるため、ファインダーが溶けてしまうことがあります。このような場合は、ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

## 大型アイカップの取り付け

周囲が明るすぎるときや、メガネをかけて撮影するときなど、付属のアイカップを使うと便利です。

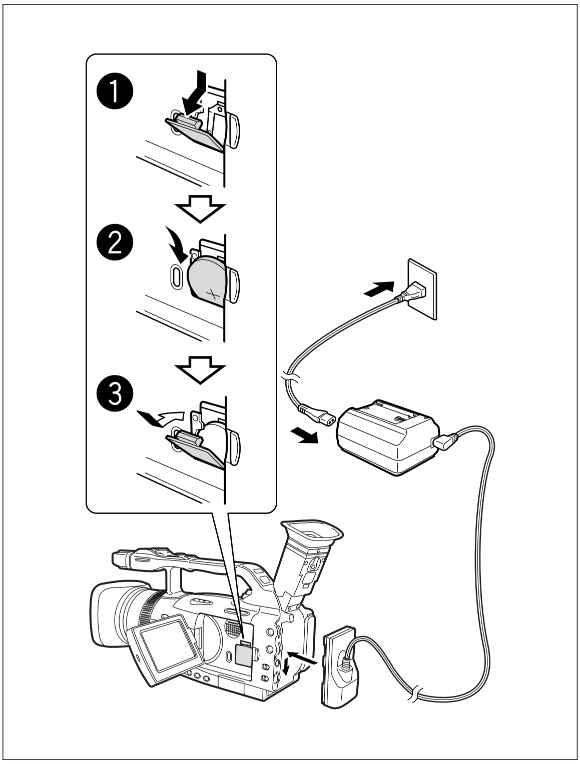


**1** 本体に付属のアイカップをはずす

**2** 溝にはめて、固定する
● 左右どちらでも取り付けられます。

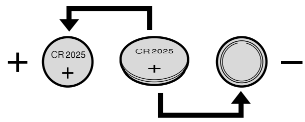
# コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリア（□54）や日付、時刻（□58）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR2025をお求めください。
● コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておいてください。



**1** 電池カバーを
**取りはずす**

**2** 電池の＋側を上にして、スライドさせて
**入れる**




**3** 電池カバーを
**取り付ける**



### コイン型リチウム電池の交換時期

● コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「 」の表示が点滅し、電池の交換時期を知らせます。

### コイン型リチウム電池について　取り扱い上のご注意

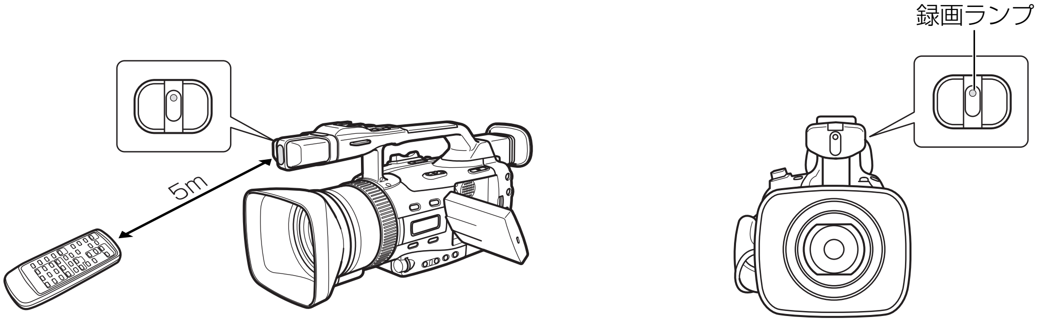
● プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れてください。
● 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れてください。
● 金属のピンセットなどでつかまないでください。ショートします。
● 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください。（地域によって異なります。）

# リモコン

リモコンを使うと、離れたところから本体を操作できます。

## 操作のしかた

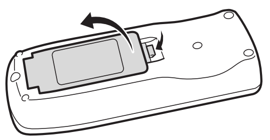
リモコン受光部に向けて操作ボタンを押します。本体がリモコンの信号を受光すると、録画ランプが点灯します。本体には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください（□61）。



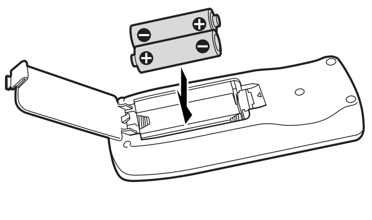

リモコンは2本の単3（R6）電池で動作します。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押しても、動作しない、録画ランプが点灯しない、本体に近づかないと動作しない、ときは電池を交換してください。

## 電池の入れかた

**1** つまみを押しながら電池カバーを
**開ける**

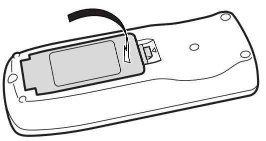


**2** +、−を表示に合わせて
**正しく入れる**



● 電池は2本とも新しいものと交換してください。

**3** 電池カバーを
**閉める**

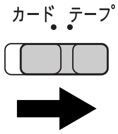
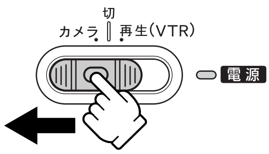
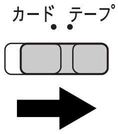
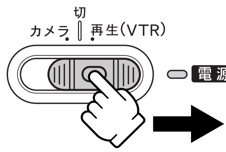
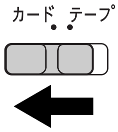
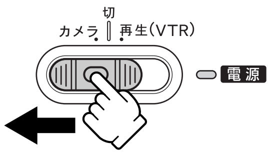
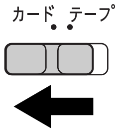
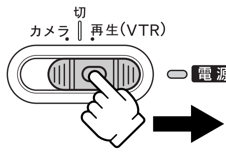


**リモコンを使うときに**

● 直射日光の下や蛍光灯に近いとき、またはリモコンが本体に近すぎるときには、正常に動作しないことがあります。
● 屋外などリモコンの受光部に強い光が当たるような場所では、受光範囲が狭くなることがあります（逆光撮影時など）。

# ご購入時の設定を変える（メニュー）

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更することができます。
メニューは、4種類あります。
メニュー項目の一覧（🕮 36〜51）、設定内容の変更のしかた（🕮 52）は、各参照ページをご覧ください。

| メインメニュー | メインメニューの画面表示 | テープ／カード切り換えスイッチ | 電源スイッチ |
|---|---|---|---|
| カメラメニュー（🕮 36） | カメラ　メニュー　▲▼選択　設定設定<br>メニュー終了<br>▶カメラ設定<br>カスタムプリセット<br>VTR設定<br>表示設定<br>システム設定<br>カスタムキー設定<br>➔タイトル　ミックス<br>⬅戻る | カメラモード<br> |  |
| VTRメニュー（🕮 41） | VTR　メニュー　▲▼選択　設定設定<br>メニュー終了<br>▶VTR設定<br>表示設定<br>システム設定<br>カスタムキー設定<br>⬅戻る | 再生（VTR）モード<br> |  |
| カード／カメラメニュー（🕮 44） | カード/カメラ　メニュー▲▼選択　設定設定<br>メニュー終了<br>▶カメラ設定<br>カスタムプリセット<br>カード設定<br>表示設定<br>システム設定<br>カスタムキー設定<br>⬅戻る | カードカメラモード<br> |  |
| カード再生メニュー（🕮 48） | カード再生　メニュー　▲▼選択　設定設定<br>メニュー終了<br>▶カード実行<br>VTR設定<br>表示設定<br>システム設定<br>カスタムキー設定<br>⬅戻る | カード再生モード<br> |  |

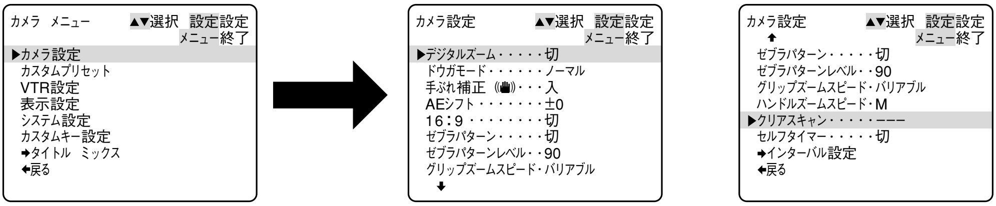
**メニュー一覧について（🕮 36〜51）**

- メニュー一覧の設定内容について、ご購入時には、太文字の内容に設定されています。（例： **入** ）
- 各メニューで「⬅ 戻る」を選ぶと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

準備編

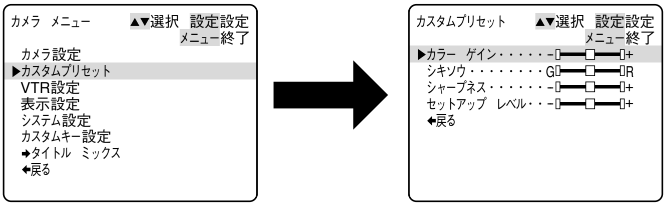
# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

**カメラメニュー ①　「カメラ設定」サブメニュー**



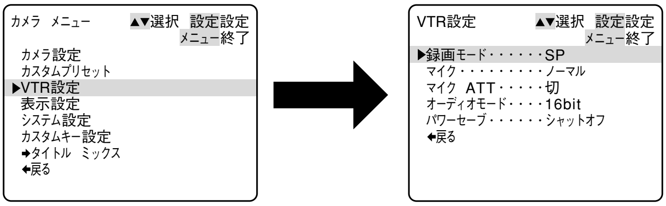

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| デジタルズーム | **切** | デジタルズームを使わない。 | 68 |
| | 40× | 40倍のデジタルズームを使う。 | |
| | 100× | 100倍のデジタルズームを使う。 | |
| ドウガモード | **ノーマル** | 動画をフィールド記録する。 | 107 |
| | フレーム | 動画をフレーム記録する。 | |
| 手ぶれ補正 | **入** | 手ぶれを補正する。 | 75 |
| | 切 | 手ぶれ補正を解除する。 | |
| AEシフト | | AEシフトする値を選ぶ。 | 88 |
| 16：9 | 入 | ワイドテレビ用に撮影する。<br>● 横長画面（画面の横、縦の比が16:9）のワイドテレビ用に撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくはテレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比が4:3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式に対応しているテレビに接続すると、自動的にワイドテレビ用の画面に切り換わります。 | |
| | **切** | 通常の4：3のテレビ用に撮影する。 | |
| ゼブラパターン | 入 | ゼブラパターンを表示する。 | 91 |
| | **切** | ゼブラパターンを表示しない。 | |
| ゼブラパターンレベル | | ゼブラパターンの表示レベル調整をする。 | 91 |
| グリップズーム<br>スピード | **バリアブル** | グリップにあるズームボタンのズーム<br>スピードの調整。バリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。 | 67 |
| | L | | |
| | M | | |
| | H | | |
| ハンドルズーム<br>スピード | L | ハンドルにあるズームボタンのズーム<br>スピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）<br>から選択する。 | 67 |
| | **M** | | |
| | H | | |
| クリアスキャン | | パソコンの画面を撮影するときに選択する。 | 92 |
| セルフタイマー | 入 | セルフタイマーを使う。 | 114 |
| | **切** | セルフタイマーを使わない。 | |
| ➡インターバル設定 | | インターバルタイマー設定画面へ | 112 |

## カメラメニュー ②　カスタムプリセットサブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| カラー　ゲイン | | カラーゲインを変更して撮影する。 | 97 |
| シキソウ | | 色相を変更して撮影する。 | |
| シャープネス | | シャープさを変更して撮影する。 | |
| セットアップレベル | | セットアップレベルを変更して撮影する。 | |

## カメラメニュー ③　VTR設定サブメニュー

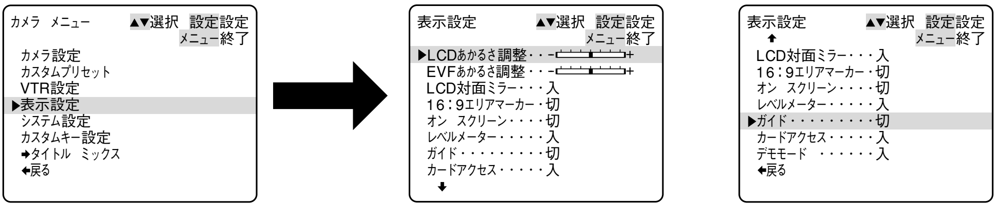


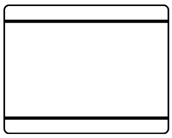

| | | | |
|---|---|---|---|
| 録画モード | **SP** | SP(標準）モードで録画する。 | |
| | LP | LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。<br>カメラモード、VTRモードで設定できます。<br>LPモードについて　　LPモードでの録画/再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。<br>● LPモードでつなぎ撮りしたときに画像が乱れることがあります。<br>● 本機でLPモードで記録したテープを他のデジタルビデオ機器で再生すると画像が乱れることがあります。 | |
| マイク | **ノーマル** | 一般的な音を録音するときに選択する。 | 72 |
| | ボイス | 人の声を中心に録音するときに選択する。 | |
| | W(ウィンド)カット | 風の音が強いときに風音を低減して録音するときに選択する。 | |

# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| マイクATT | 入 | マイク入力レベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。 | 73 |
| | **切** | | |
| オーディオモード | **16bit** | 1つのステレオ音声を高音質で記録する。<br>● 高音質で音声を録音するときに使います。 | |
| | 12bit | 2つのステレオ音声が記録できる。<br>● アフレコをするときなどに使います。 | |
| パワーセーブ | **シャットオフ** | 撮影一時停止5分後に電源が切れる。 | 63 |
| | VTRストップ | 撮影一時停止5分後にレコーダー部が停止する。 | |

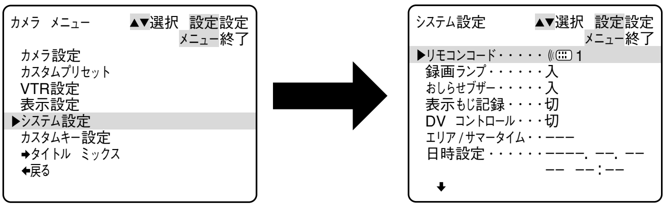
**カメラメニュー ④　「表示設定」サブメニュー**




| | | | |
|---|---|---|---|
| LCD明るさ調整 | | 液晶画面の明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の＋にいくほど明るくなる。<br>● 液晶画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● 画面の明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。 | |
| EVFあかるさ調整 | | ビューファインダーの明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して,明るさ表示の＋にいくほど明るくなる。<br>● ビューファインダーの画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● ビューファインダーの明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、液晶画面の明るさは変わりません。 | |
| LCD対面ミラー | **入** | 対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。 | 76 |
| | 切 | ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。 | |
| 16：9エリアマーカー | 入 | 16：9ワイドテレビで再生するときに、テレビ画面に映るエリア表示をするかどうかを選択する。  | |
| | **切** | | |
| オンスクリーン | 入 | 液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示するかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| レベルメーター | **入** | 液晶画面にオーディオの入力レベルを表示する。 | 73 |
| | 切 | 液晶画面にオーディオの入力レベルを表示しない。 | |

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| ガイド | **切** | ガイド情報を液晶画面/ビューファインダーに表示しない。 | 60, 93 |
| | カスタムキー | カスタムキーのガイド（設定）情報を液晶画面/ビューファインダーに表示する。 | |
| | 日時表示 | 日時情報を液晶画面/ビューファインダーに表示する。 | |
| カードアクセス | **入** | 画面中央にメモリーカードの動作状況がわかるお知らせ表示が出る。 | 155 |
| | 切 | お知らせ表示を出さない。 | |
| デモモード | **入** | デモンストレーション（機能紹介）を行う。<br>● カセットとメモリーカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとメモリーカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。<br>● デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す/電源を切る/カセットまたはメモリーカードを入れます。 | |
| | 切 | デモンストレーションを行わない。デモモードを「切」にすると、電源を入れたときに出るCanonのロゴのアニメーションも出なくなります。 | |

**カメラメニュー ⑤　「システム設定」サブメニュー**

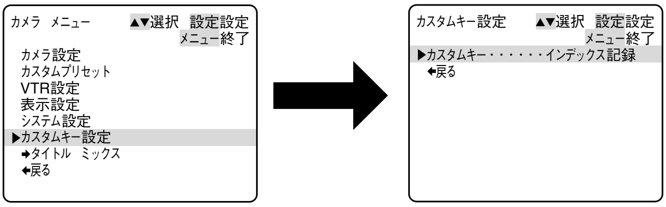



| | | | |
|---|---|---|---|
| リモコンコード | **1** | リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | 61 |
| | 2 | コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | |
| | 切 | リモコンの信号を受付けない。 | |
| 録画ランプ | **入** | 撮影中に録画ランプを点滅させるかどうかを選択する。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときにガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止めることができます。<br>● 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。 | 63 |
| | 切 | | |
| おしらせブザー | **入** | 電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | ブザーが鳴らない。<br>● ブザー音を消すときに設定します。 | |

# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 表示もじ記録 | 入 | 液晶画面/ビューファインダーに表示される文字を映像に重ねて記録する。 | |
| | **切** | 液晶画面/ビューファインダーに表示される文字を記録しない。 | |
| DVコントロール | 入 | DVコントロール機能を使用する。 | 111 |
| | **切** | DVコントロール機能を使用しない。 | |
| エリア/サマータイム | | 世界時計のエリアを設定する。 | 54 |
| 日時設定 | | 日時を設定する。 | 58 |

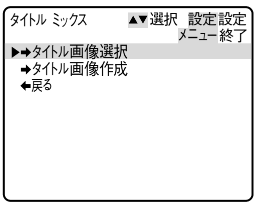
**カメラメニュー ⑥　カスタムキー設定サブメニュー**



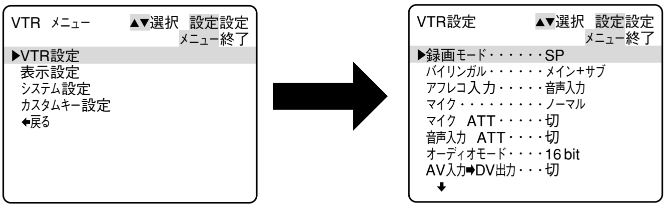

| | | | |
|---|---|---|---|
| カスタムキー | **インデックス記録** | カスタムキーで使用する機能を選択する。<br>カスタムキーを使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 93 |
| | ゼブラパターン | | |
| | VTR ストップ | | |
| | オン スクリーン | | |
| | マイク | | |
| | マイク ATT | | |
| | グリップズームスピード | | |
| | ハンドルズームスピード | | |
| | レベルメーター | | |
| | AEシフト | | |
| | 手ぶれ補正 | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |

**カメラメニュー ⑦　タイトルミックス**

タイトルミックス画面へ（📖 167）



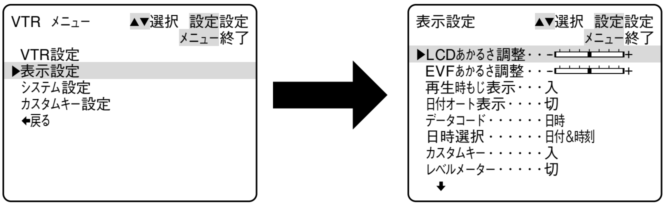
## VTRメニュー ①　「VTR設定」サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| 録画モード | **SP** | SP(標準）モードで録画する。 | |
| | LP | LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。<br>カメラモード、VTRモードで設定できます。<br>LPモードについて LPモードでの録画/再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。<br>● LPモードでつなぎ撮りしたときに画像が乱れることがあります。<br>● 本機でLPモードで記録したテープを他のデジタルビデオ機器で再生すると画像が乱れることがあります。 | |
| バイリンガル | **メイン+サブ** | ステレオ音声または主+副音声を再生する。 | 146 |
| | メイン | 左音声または主音声を再生する。 | |
| | サブ | 右音声または副音声を再生する。 | |
| アフレコ入力 | **音声入力** | オーディオ機器を使ってアフレコする。 | 143 |
| | マイク入力 | 内蔵/外部マイクを使ってアフレコする。 | |
| マイク | **ノーマル** | 一般的な音を録音するときに選択する。 | 72 |
| | ボイス | 人の声を中心に録音するときに選択する。 | |
| | W(ウィンド)カット | 風の音が強いときに風音を低減して録音するときに選択する。 | |
| マイクATT | 入 | マイク入力レベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。 | 73 |
| | **切** | | |
| 音声入力 ATT | 入 | 音声入力（ライン）信号のレベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。 | 143 |
| | **切** | | |
| オーディオモード | **16bit** | 1つのステレオ音声を高音質で記録する。<br>● 高音質で音声と録音するときに使います。 | |
| | 12bit | 2つのステレオ音声が記録できる。<br>● アフレコするときなどに使います。 | |
| AV入力→DV出力 | 入 | アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。 | 139 |
| | **切** | アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。 | |

# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

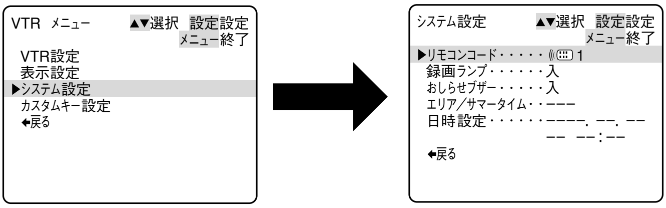
## VTRメニュー ②　「表示設定」サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| LCDあかるさ調整 | | 液晶画面の明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。<br>● 液晶画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● 画面の明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。 | |
| EVFあかるさ調整 | | ビューファインダーの明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の＋にいくほど明るくなる。<br>● ビューファインダーの画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● ビューファインダーの明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、液晶画面の明るさは変わりません。 | |
| 再生時もじ表示 | **入** | 再生時に画面に文字が出る。 | |
| | 切 | ●「切」にすると、再生中の文字表示を消すことができます。<br>● 操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。液晶画面/ビューファインダーのデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。 | |
| 日付オート表示 | 入 | テープの再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。<br>●「入」のとき、「再生時もじ表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。 | |
| | **切** | (約6秒間の)日付表示をしない。 | |
| データコード | **日時** | データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。 | 130 |
| | カメラデータ | カメラデータを表示する。 | |
| | 日時&カメラデータ | 日時とカメラデータを表示する。 | |
| 日時選択 | 日付 | 「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。 | 129 |
| | 時刻 | 「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。 | |
| | **日付&時刻** | 「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。 | |

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| カスタムキー | **入** | 設定したカスタムキーを表示するかどうかを選択する。 | 93 |
| | 切 | | |
| レベルメーター | 入 | 液晶画面にオーディオの入力レベルを表示する。 | 73 |
| | **切** | 液晶画面にオーディオの入力レベルを表示しない。 | |

### VTRメニュー ③　「システム設定」サブメニュー

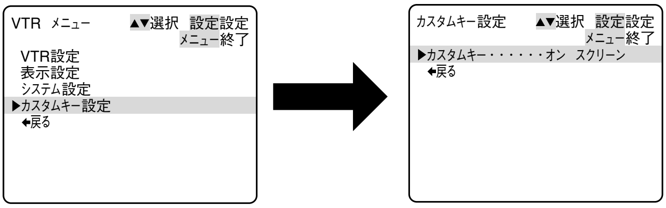



| | | | |
|---|---|---|---|
| リモコンコード | **1** | リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | 61 |
| | 2 | コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | |
| | 切 | リモコンの信号を受付けない。 | |
| 録画ランプ | **入** | 撮影中に録画ランプを点滅させるかどうかを選択する。<br>録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。 | 63 |
| | 切 | | |
| おしらせブザー | **入** | 電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | ブザーが鳴らない。<br>● ブザー音を消すときに設定します。 | |
| エリア／サマータイム | | 世界時計のエリアを設定する。 | 54 |
| 日時設定 | | 日時を設定する。 | 58 |

準備編

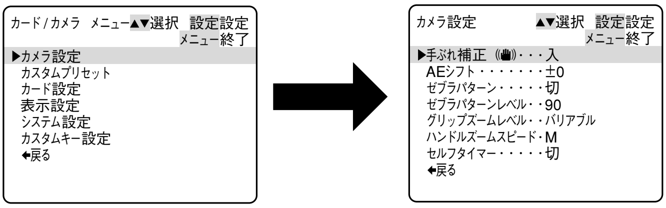
# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

## VTRメニュー ④　カスタムキー設定サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| カスタムキー | **オン スクリーン** | カスタムキーで使用する機能を選択する。<br>カスタムキーを使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 93 |
| | マイク | | |
| | マイク ATT | | |
| | 音声入力 ATT | | |
| | レベルメーター | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |

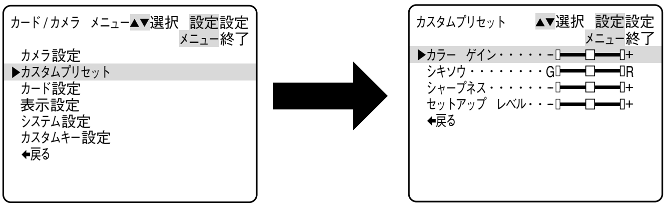
## カードカメラメニュー ①　「カメラ設定」サブメニュー




| | | | |
|---|---|---|---|
| 手ぶれ補正 | **入** | 手ぶれ補正をする。 | 75 |
| | 切 | 手ぶれ補正を解除する。 | |
| AEシフト | | AEシフトする値を選ぶ。 | 88 |
| ゼブラパターン | 入 | ゼブラパターンを表示する。 | 91 |
| | **切** | ゼブラパターンを表示しない。 | |
| ゼブラパターンレベル | | ゼブラパターンの表示レベル調整をする。 | 91 |
| グリップズームスピード | **バリアブル** | グリップにあるズームボタンのズームスピードの調整。バリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。 | 67 |
| | L | | |
| | M | | |
| | H | | |
| ハンドルズームスピード | L | ハンドルにあるズームボタンのズームスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。 | 67 |
| | **M** | | |
| | H | | |

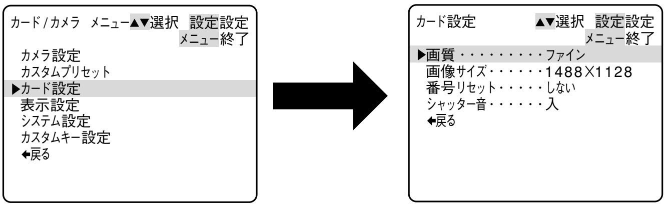
| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| セルフタイマー | 入 | セルフタイマーを使う。 | 114 |
| | **切** | セルフタイマーを使わない。 | |

**カードカメラメニュー ② カスタムプリセットサブメニュー**



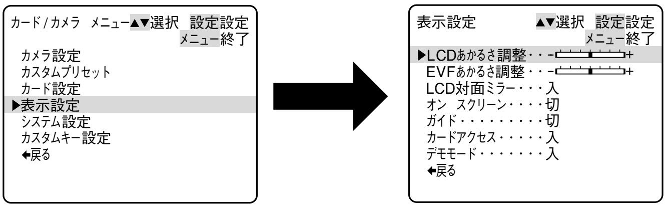

| | | |
|---|---|---|
| カラー ゲイン | カラーゲインを変更して撮影する。 | 97 |
| シキソウ | 画像の色相を変更して撮影する。 | |
| シャープネス | 画像のシャープさを変更して撮影する。 | |
| セットアップレベル | セットアップレベルを変更して撮影する。 | |

**カードカメラメニュー ③ 「カード設定」サブメニュー**



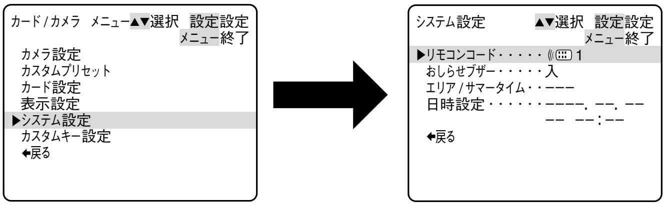

| | | | |
|---|---|---|---|
| 画質 | **ファイン** | メモリーカードに静止画を高画質で記録する。 | 151 |
| | スタンダード | メモリーカードに静止画を標準画質で記録する。 | |
| 画像サイズ | **1488×1128** | メモリーカードに静止画を1488X1128ピクセルのサイズで記録する。 | 152 |
| | 640×480 | メモリーカードに静止画を640X480ピクセルのサイズで記録する。 | |
| 番号リセット | する | ファイル番号をリセットする。 | 153 |
| | **しない** | ファイル番号をリセットしない。 | |
| シャッター音 | **入** | 静止画を記録するときに確認のためにシャッターの音を出す。 | |
| | 切 | 静止画を記録するときに確認のためにシャッターの音を出さない。 | |

### カードカメラメニュー ④　「表示設定」サブメニュー



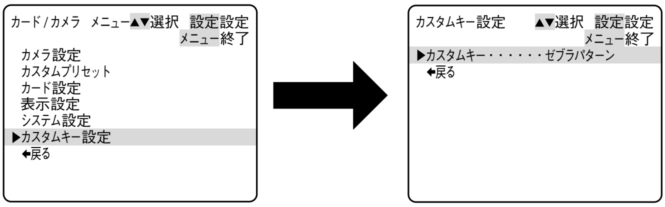

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| LCDあかるさ調整 | | 液晶画面の明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。<br>● 液晶画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● 画面の明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。 | |
| EVFあかるさ調整 | | ビューファインダーの明るさ調整をする。選択／設定ボタンを上に押して明るさ表示の＋にいくほど明るくなる。<br>●ビューファインダーの画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>●ビューファインダーの明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、液晶画面の明るさは変わりません。 | |
| LCD対面ミラー | **入** | 対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。 | 76 |
| | 切 | ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。 | |
| オン スクリーン | 入 | 液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示するかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| ガイド | **切** | ガイド情報を液晶画面/ビューファインダーに表示しない。 | |
| | カスタムキー | カスタムキーのガイド（設定）情報を液晶画面/ビューファインダーに表示する。 | |
| | 日時表示 | 日時情報を液晶画面/ビューファインダーに表示する。 | |
| カードアクセス | **入** | 画面中央にメモリーカードの動作状況がわかるお知らせ表示が出る。 | 155 |
| | 切 | お知らせ表示を出さない。 | |
| デモモード | **入** | デモンストレーション（機能紹介）を行う。<br>●カセットとメモリーカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとメモリーカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。<br>● デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはメモリーカードを入れます。 | |
| | 切 | デモンストレーションを行わない。デモモードを「切」にすると、電源を入れたときに出るCanonのロゴのアニメーションも出なくなります。 | |

## カードカメラメニュー ⑤　「システム設定」サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| リモコンコード | 1 | リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | 61 |
| | 2 | コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | |
| | 切 | リモコンの信号を受付けない。 | |
| お知らせブザー | 入 | 電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | ブザーが鳴らない。<br>● ブザー音を消すときに設定します。 | |
| エリア／サマータイム | | 世界時計のエリアを設定する。 | 54 |
| 日時設定 | | 日時を設定する。 | 58 |

## カードカメラメニュー ⑥　カスタムキー設定サブメニュー

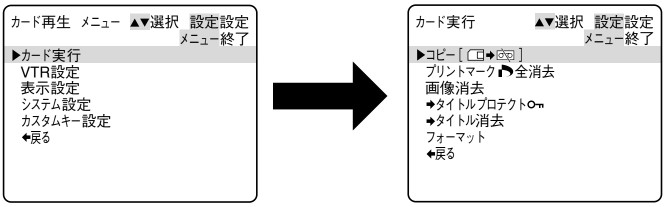



| | | | |
|---|---|---|---|
| カスタムキー | ゼブラパターン | カスタムキーで使用する機能を選択する。<br>カスタムキーを使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 93 |
| | オン スクリーン | | |
| | グリップズームスピード | | |
| | ハンドルズームスピード | | |
| | AEシフト | | |
| | 手ぶれ補正 | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |

準備編

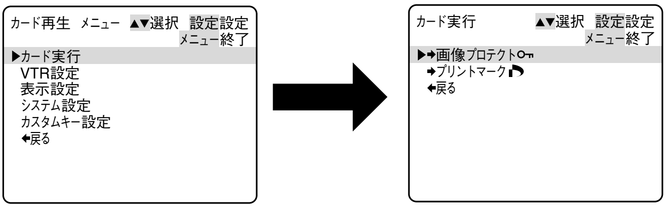
# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

### カード再生メニュー ①-1「カード実行」サブメニュー(静止画を1枚表示しているとき)



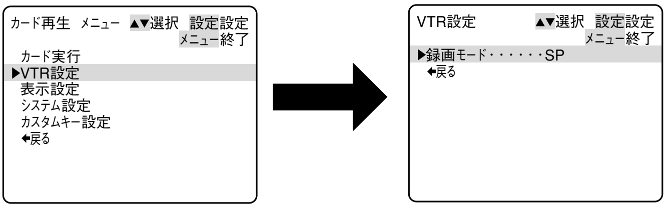

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| コピー[カード→テープ] | **キャンセル** | 静止画のコピーを行わない。 | 173 |
| | 実行 | メモリーカードの静止画をテープに順次コピーする。 | |
| プリントマーク 全消去 | **いいえ** | プリントマークの消去を行わない。 | 164 |
| | はい | プリントマークをすべて消去する。 | |
| 画像消去 | **キャンセル** | 静止画の消去を行わない。 | 165 |
| | 1枚消去 | 1枚の静止画を消去する。 | |
| | 全消去 | メモリーカードにあるすべての静止画を消去する（プロテクト設定した静止画を除く）。 | |
| ➡タイトル プロテクト | タイトルプロテクト設定画面へ | | 171 |
| ➡タイトル消去 | タイトル消去作成画面へ | | 172 |
| フォーマット | **キャンセル** | メモリーカードのフォーマット(初期化）を行わない。 | 174 |
| | 実行 | メモリーカードをフォーマット(初期化）する。 | |

### カード再生メニュー ①-2「カード実行」サブメニュー(インデックス画面を表示しているとき)




| | | |
|---|---|---|
| ➡画像プロテクト | 画像プロテクト設定画面へ | 162 |
| ➡プリントマーク | プリントマーク設定画面へ | 163 |

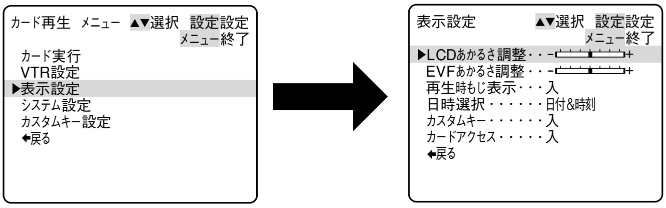
### カード再生メニュー ② 「VTR設定」サブメニュー



| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 録画モード | SP | SP(標準) モードで録画する。 | |
| | LP | LPモード(標準の1.5倍の録画時間) で録画する。<br>カメラモード、VTRモードで設定できます。<br>LPモードについて LPモードでの録画/再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。<br>● LPモードでつなぎ撮りしたときに画像が乱れることがあります。<br>● 本機でLPモードで記録したテープを他のデジタルビデオ機器で再生すると画像が乱れることがあります。 | |



### カード再生メニュー ③ 「表示設定」サブメニュー

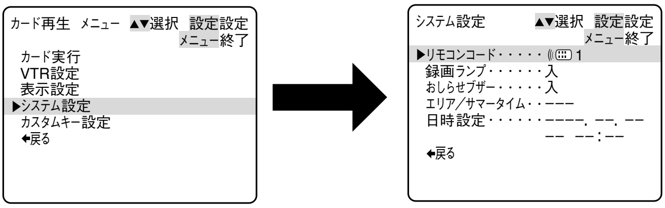



| | | | |
|---|---|---|---|
| LCDあかるさ調整 | | 液晶画面の明るさ調整をする。選択/設定ボタンを上に押して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。<br>●液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>●画面の明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。 | |
| EVFあかるさ調整 | | ビューファインダーの明るさ調整をする。選択/設定ボタンを上に押して明るさ表示の+にいくほど明るくなる。<br>● ビューファインダーの画面が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。<br>● ビューファインダーの明るさ調整は、撮影する映像の明るさとは関係ありません。また、液晶画面の明るさは変わりません。 | |
| 再生時もじ表示 | 入 | 再生時に画面に文字が出る。 | |
| | 切 | 再生時に画面の文字を消す。<br>●「切」にすると、再生中の文字表示を消すことができます。<br>●操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。液晶画面/ビューファインダーの文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。 | |

# ご購入時の設定を変える（メニュー）ー つづき

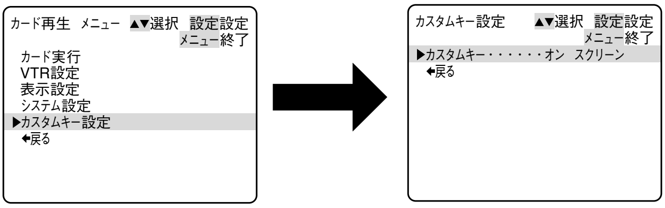
| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | |
|---|---|---|---|
| 日時選択 | 日付 | 画面表示／データコードボタンを押すと、日付を表示する。 | 129 |
| | 時刻 | 画面表示／データコードボタンを押すと、時刻を表示する。 | |
| | **日付＆時刻** | 画面表示／データコードボタンを押すと、日付と時刻を表示する。 | |
| カスタムキー | **入** | 設定したカスタムキーを表示するかどうかを選択する。 | 93 |
| | 切 | | |
| カードアクセス | **入** | 画面中央にメモリーカードの動作状況がわかるお知らせ表示が出る。 | 155 |
| | 切 | お知らせ表示を出さない。 | |

**カード再生メニュー ④　「システム設定」サブメニュー**




| | | | |
|---|---|---|---|
| リモコンコード | **1** | リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | 61 |
| | 2 | コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受付ける。 | |
| | 切 | リモコンの信号を受付けない。 | |
| 録画ランプ | **入** | 撮影中に録画ランプを点滅させるかどうかを選択する。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。 | 63 |
| | 切 | | |
| おしらせブザー | **入** | 電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | ブザーが鳴らない。<br>● ブザー音を消すときに設定します。 | |
| エリア／サマータイム | | 世界時計のエリアを設定する。 | 54 |
| 日時設定 | | 日時を設定する。 | 58 |

**カード再生メニュー ⑤　カスタムキー設定サブメニュー**




| | | | |
|---|---|---|---|
| カスタムキー | **オン スクリーン**<br>(表示なし：カスタムキーを選ばない) | カスタムキーで使用する機能を選択する。<br>カスタムキーを使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 93 |

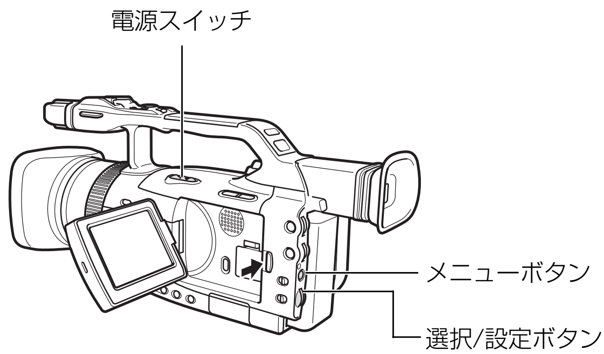
＊オーディオモード：DV端子からの入力には設定できません。

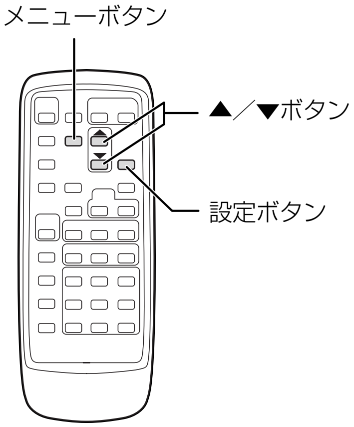
＊日付オート表示：「入」になっていると、「再生時もじ表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。

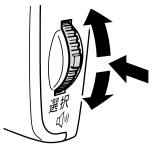
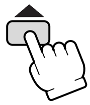
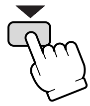
準備編

# メニューの使いかた

本体の選択/設定ボタンとリモコンの▲、▼、設定ボタンは、同じ操作になります。

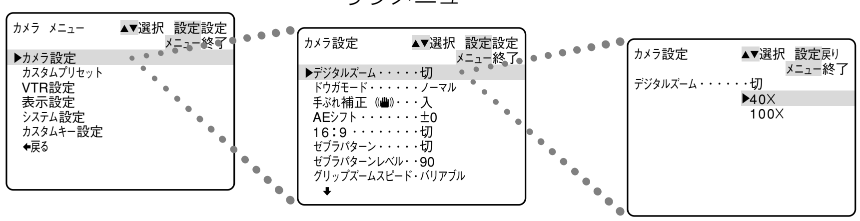



| 本体の選択/設定ボタン | | リモコン | | |
|---|---|---|---|---|
|  | 上に押す |  | 押す | メニュー項目や機能の設定内容を選びます。 |
| | まっすぐ押す | 設定 | 押す | 選んだ項目や設定内容を決定したり、次の画面に移ったりします。 |
| | 下に押す |  | 押す | メニュー項目や機能の設定内容を選びます。 |

● メニューで設定を変えるときは、順番に項目を選んでいきます。
例：カメラメニュー

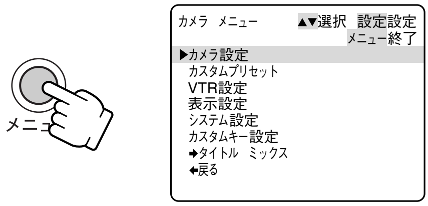
メインメニュー　　　サブメニュー



●テープやカードの状態、他の機能の設定などにより設定できない項目は、紫色で「 ーーー 」と表示されます。

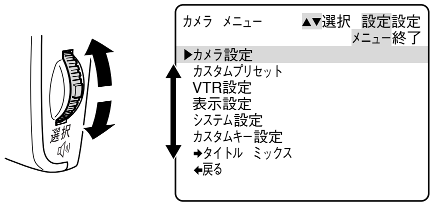
ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「デジタルズーム」を「40×」にする

## 1 メニューボタンを **押す**



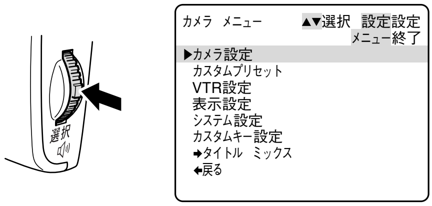

● メインメニューが出る。

## 2 選択/設定ボタンを **上または下に押す**



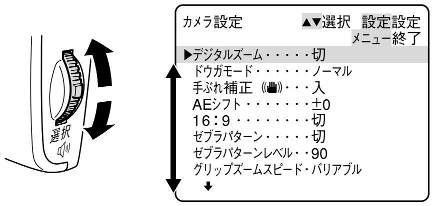

● 項目を選ぶ。

## 3 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**



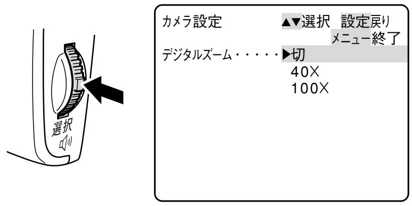

● 選んだ項目のサブメニューが出る。

## 4 選択/設定ボタンを **上または下に押す**



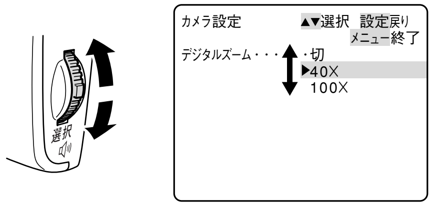

● 機能を選ぶ。

## 5 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**



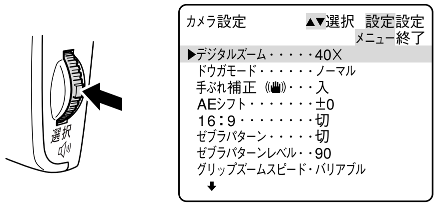

● 選んだ機能だけが表示される。

## 6 選択/設定ボタンを **上または下に押す**



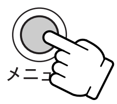

● 機能の設定を選ぶ。

## 7 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**




● 機能を設定する。
● サブメニューに戻る。

## 8 メニューボタンを **押す**




● メニューが消える。

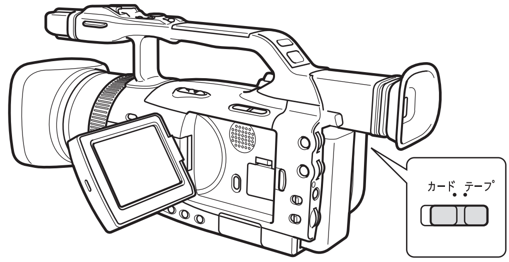
● メニュー中の「⬅戻る」を選択すると、ひとつ前のメニューに戻ります。メインメニューのときは、メニューを終了します。
● メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

# 世界時計のエリアを選ぶ

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」が表示されます。日付／時刻を設定する前に世界時計のエリアを設定してください。

**世界時計のエリアについて：**
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます。都市名（エリア）を選ぶと、日付などを設定し直すことなく、旅行先の現地の時刻を記録できます。

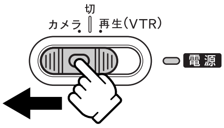
また、旅行先が夏時間（summer time（サマー タイム）または daylight saving time（デイライト セイビング タイム））のときは、世界時計表示を夏時間に変更できます。
● 撮影を行う前に、変更してください。



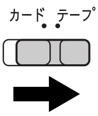

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

ここでは、テープ／カード切り換えスイッチが「テープ」で、はじめてお使いになるときの画面表示で説明しています。

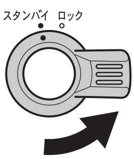
**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**「カメラ」にする**



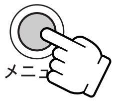

**2** テープ／カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**

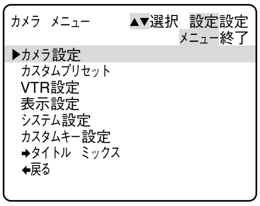



**3** スタンバイレバーを
**スタンバイにする**



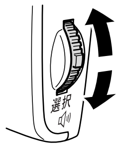

**4** メニューボタンを
**押す**

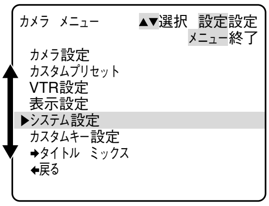



● 「カメラメニュー」が出る。

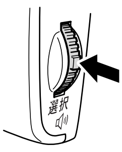
**5** 選択/設定ボタンを上または下に
**押す**

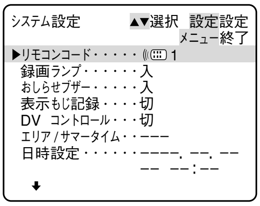



● ▶を「システム設定」に合わせる。

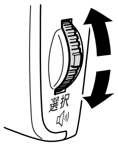
**6** 選択/設定ボタンを
**まっすぐ押す**

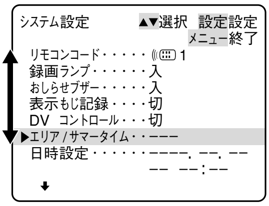



● 「システム設定サブメニュー」が出る。

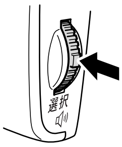
## 7 選択/設定ボタンを上または下に **押す**

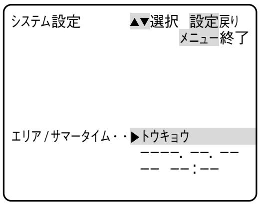



● ▶を「エリア/サマータイム」に合わせる

## 8 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**

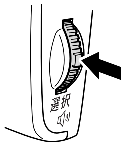



●「エリア/サマータイム」だけの表示になる。

● はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

## 9 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**




● 「システム設定サブメニュー」に戻る。

● 「日付/時刻を設定する」操作5に進んでください（📖58）。

準備編

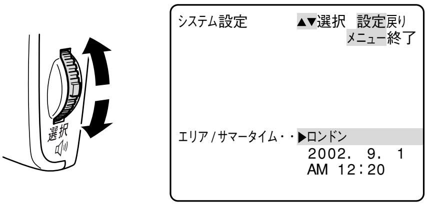
# 世界時計のエリアを選ぶ — つづき

## 旅行先のエリアを選ぶ

あらかじめ日時を設定しておくと、海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

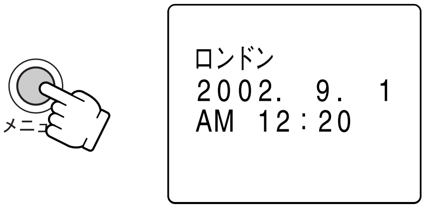
**操作6のあと**

**1** 選択/設定ボタンを
**上または下に押す**



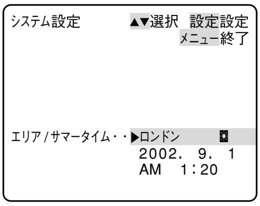

- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付/時刻になります。

**2** メニューボタンを
**押す**



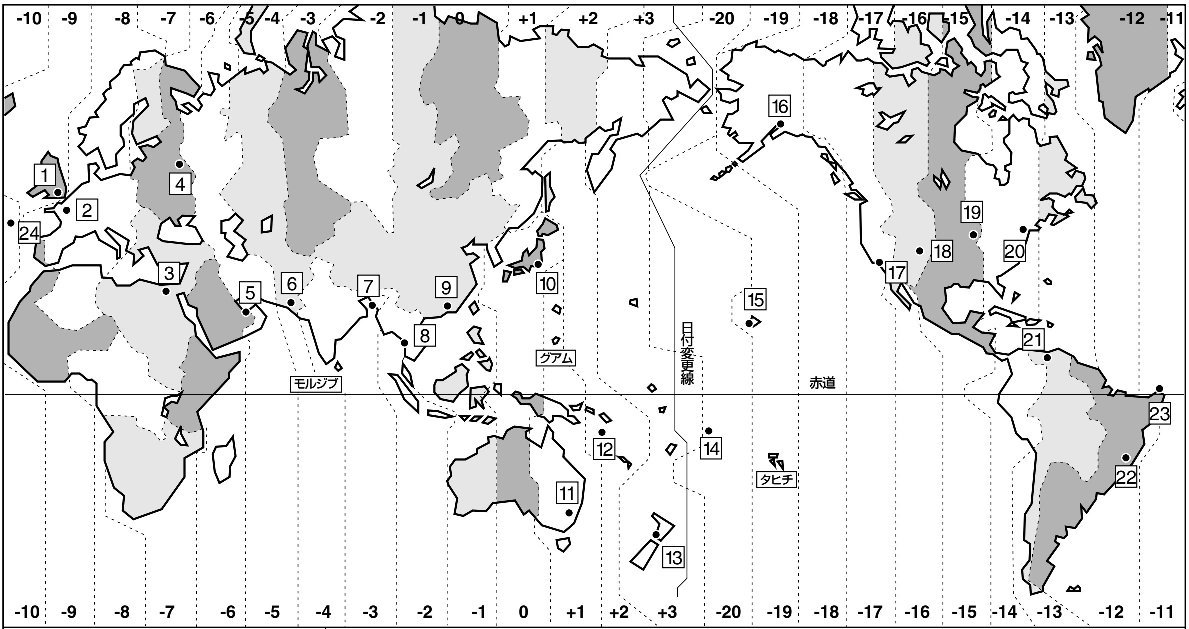

- メニュー表示が消える。

**夏時間を設定するときは**




● 都市名の右に☀マークの付くものを選んでください。

## 世界時計の都市と代表国

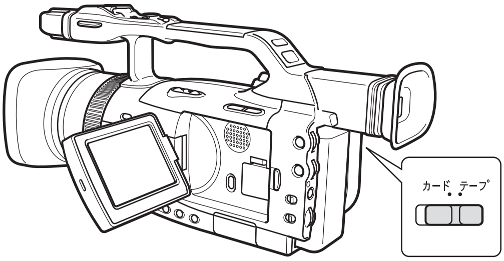



| 都市番号と都市名と日本との時差 | | | 代表国/代表地域 |
|---|---|---|---|
| 1 | ロンドン | グリニッチ標準時 -9 | イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル |
| 2 | パリ | -8 | イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET） |
| 3 | カイロ | -7 | エジプト、ギリシャ、トルコ |
| 4 | モスクワ | -6 | イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア |
| 5 | ドバイ | -5 | アラブ首長国連邦 |
| 6 | カラチ | -4 | パキスタン、モルジブ |
| 7 | ダッカ | -3 | インド、バングラデシュ、ミャンマー |
| 8 | バンコク | -2 | カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ島、バリ島 |
| 9 | ホンコン | -1 | オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島 |
| 10 | トウキョウ | 日本標準時(JST) | 日本、韓国 |
| 11 | シドニー | +1 | オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン |
| 12 | ソロモン | +2 | ニューカレドニア |
| 13 | ウェリントン | +3 | ニュージーランド、フィジー |
| 14 | サモア | -20 | 西サモア |
| 15 | ホノルル | -19 | タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST） |
| 16 | アンカレジ | -18 | アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST） |
| 17 | ロサンゼルス | -17 | サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸 |
| 18 | デンバー | -16 | デンバー/米国山地標準時（MST） |
| 19 | シカゴ | -15 | シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ |
| 20 | ニューヨーク | -14 | ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー |
| 21 | カラカス | -13 | チリ、ベネズエラ |
| 22 | リオ | -12 | アルゼンチン、ブラジル |
| 23 | フェルナンド | -11 | フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル） |
| 24 | アゾレス | -10 | アゾレス諸島（ポルトガル） |

# 日付／時刻を設定する

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、世界時計のエリアを選んでから、日付／時刻を設定します。

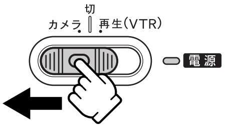
● はじめて日時を設定するときは、世界時計のエリア（□ 54）を設定したあと、操作4からはじめてください。
● 各月の日数やうるう年は自動的に判別します。



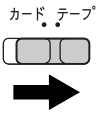

**カメラモード**　**再生(VTR)モード**　**カードカメラモード**　**カード再生(VTR)モード**

ここでは、テープ／カード切り換えスイッチが「テープ」で、はじめてお使いになるときの画面表示で説明しています。

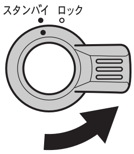
## 1 ボタンを押しながら電源スイッチを **カメラにする**



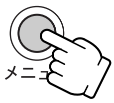

## 2 テープカード切り換えスイッチを **「テープ」にする**

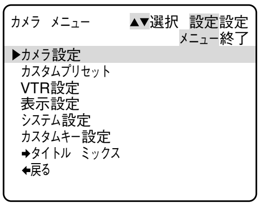



## 3 スタンバイレバーを **スタンバイにする**



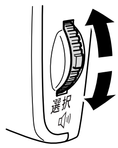

## 4 メニューボタンを **押す**

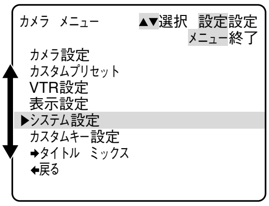



● 「カメラメニュー」が出る

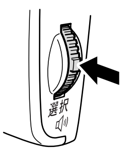
## 5 選択/設定ボタンを上または下に **押す**

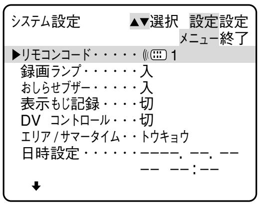



● ▶を「システム設定」に合わせる。

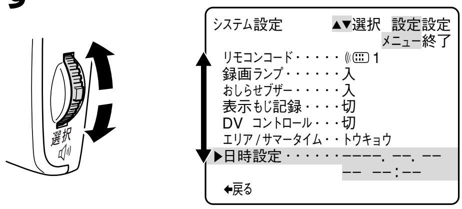
## 6 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**



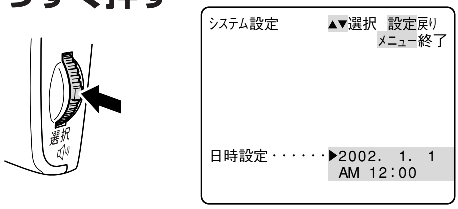

● 「システム設定サブメニュー」が出る。

## 7 選択/設定ボタンを上または下に **押す**




● ▶を「日時設定」に合わせる

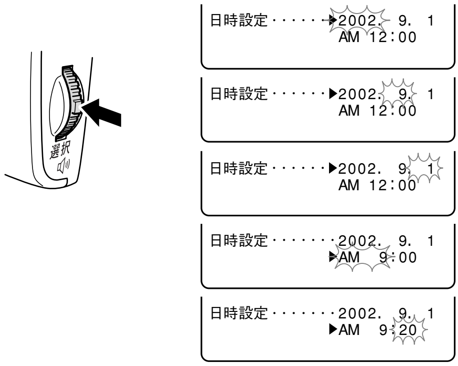
## 8 選択/設定ボタンを **まっすぐ押す**




●「日時」だけの表示になる。

## 9 年/月/日/時/分を **設定する**

① 選択/設定ボタンをまっすぐ押して
**項目を選ぶ**



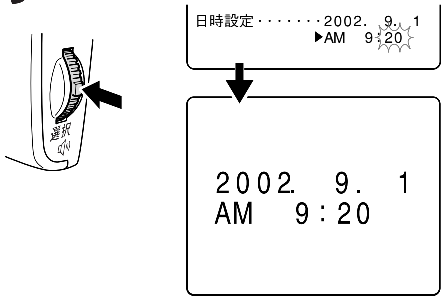

② 選択/設定ボタンを上または下に押して
**数字を選ぶ**

日付・時刻は次のように変わります
（選択／設定ボタンを上に押した場合）

| | |
|---|---|
| 年： | →2002 →2003→…2010…→2030 |
| 月： | →1→ 2→ 3→…………→12 |
| 日： | →1→ 2→ 3→…………→31 |
| 時： | →AM12→AM1→AM2→………→AM11<br>PM11←………←PM2←PM1←PM12 |
| 分： | →00→ 01→ 02→…………→59 |

● 下に押した場合には、矢印と逆方向に変わります。

## 10 時報などに合わせてメニューボタンを **押す**




● 日付／時刻を設定すると、カメラモード/カードカメラモードでは、電源を入れるたびに約4秒間エリア（トウキョウ以外に設定したとき）と日付／時刻が表示されます。

# 日付／時刻を設定する ー つづき

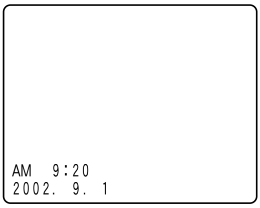
## 日付や時刻の一部を変更する

① 9の操作で、選択/設定ボタンをまっすぐ押して、変更したい項目を選ぶ。
② 選択/設定ボタンを上または下に押して、数字を変更する。
③ メニューボタンを押して、メニューを閉じる。

## 撮影時に日時を表示する

撮影時の日時は、通常画面に表示されませんが、テープやメモリーカードには記録されます。本機では撮影中に現在の日時を画面の左下に表示することができます。表示される日時は、撮影している画面中には録画されません。（再生時に撮影したときの日時を表示したいとき 129）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード




「表示設定」サブメニューから「ガイド」を選び、「日時表示」を選びます。（39）

● 「日時表示」を選んだときには、日時設定後にメニューを終了したときや電源を入れても画面にエリアと日時を表示しません。

# 2台のキヤノンビデオカメラを操作する（リモコンコード）

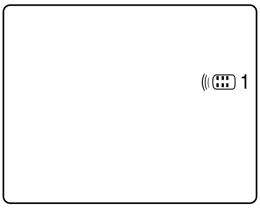
キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。

- ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
- 本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

## 本機の受信コードを変更する

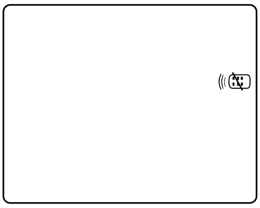
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

**撮影一時停止中／再生停止中**




「システム設定」サブメニューで「リモコンコード」を「1」（または「2」）にします。（39）

- 「1」（または「2」）表示が約 4 秒間出ます。



「システム設定」サブメニューで「リモコンコード」を「切」にします。（39）

- 「切」を選ぶと、「」の表示が出ます。

## リモコンの送信コードを変更する

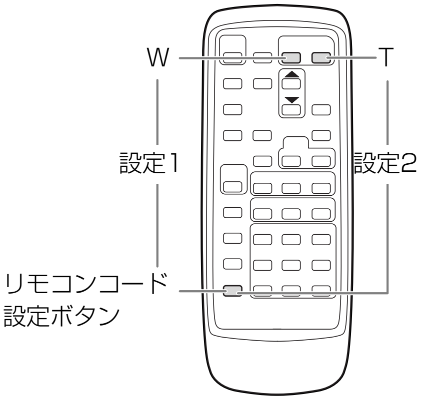
本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

**設定 1 にする**

リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

**設定 2 にする**

リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Ｔボタンを約2秒間押します。



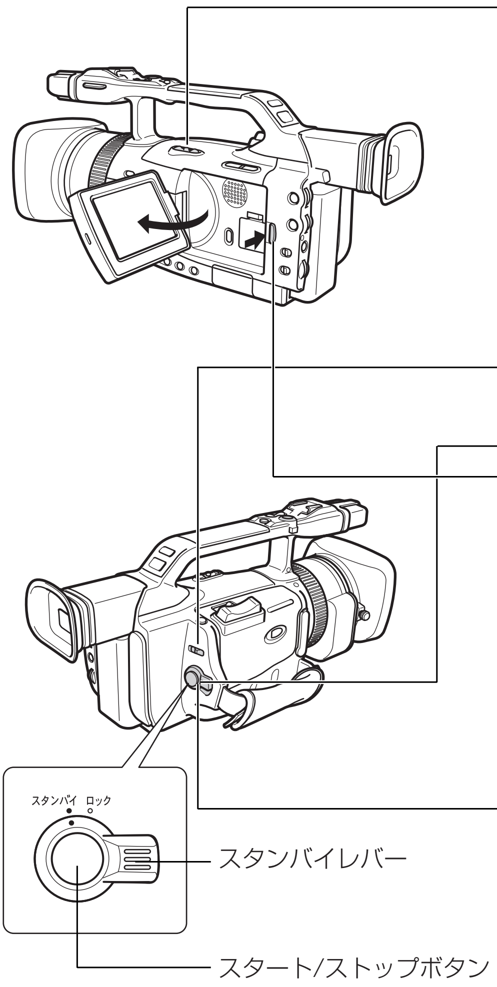

- リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
- 電池を交換すると、リモコンは設定1に戻ります。必要に応じて再度設定し直してください。

# 撮影する

撮影する前に
●必ず試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

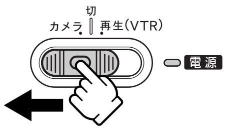
● 液晶画面またはビューファインダーで映像を見ながら撮影できます。屋外など周囲が明るい場所での撮影で液晶画面が見にくいときはビューファインダーを見ながら撮影してください。
● 液晶画面を開くとビューファインダーは自動的に消灯します。

## 液晶画面を見ながら撮影する

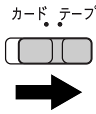



**準備**
● レンズフードを取り付ける。
● バッテリーパックなどの電源を取り付ける。
● カセットを入れる。

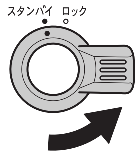
**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**「カメラ」にする**




**2** テープカード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**



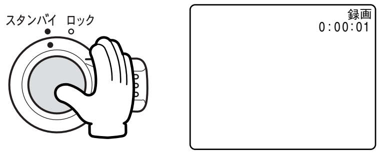

**3** スタンバイレバーを
**「スタンバイ」にする**




● 電源ランプが赤く点灯する。
● フォト撮影（テープに記録：🕮 108）（カードに記録：🕮 154）については、参照ページをご覧ください。

**4** OPENボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に
**調整する**

**5** スタート/ストップボタンを
**押す**

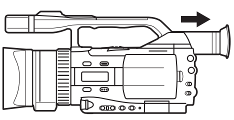



● 撮影が始まる。
● 録画ランプが点滅する。

● 市販のヘッドホンを接続することで、撮影中の音声をモニターできます。

**ビューファインダーで撮影するときは**

ビューファインダーをカチッと音がするまで、水平に引き出してください。



## 撮影をちょっと止める（撮影一時停止）

スタート/ストップボタンを

**押す**

- 撮影を再開するときは、もう1回押す。

## 撮影を止めて液晶画面/ビューファインダーを消すとき

スタート/ストップボタンを

**押す**

↓

スタンバイレバーを

**ロックにする**

●ロック（スタンバイレバー）
撮影するときの省電スイッチです。

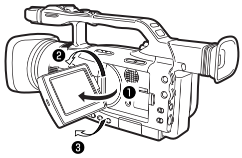
## 5分タイマー

通常、撮影一時停止が約5分間続くと、テープとヘッドの保護のために電源が切れます。
本機では、この「5分タイマー」について、カメラメニューの「VTR設定」サブメニューの「パワーセーブ」で、電源を切るか（シャットオフ）、レコーダー部だけを停止させるか（VTRストップ）が選択できます。
「VTRストップ」では、カメラ部は電源が入っていますので、絞り、シャッタースピードなどのカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。
この状態から撮影するときは、スタート／ストップボタンを押してください。録画一時停止にするときは、カスタムキーの「VTRストップ」ボタンを押してください（🕮 93）。
「シャットオフ」を選んでいて電源が切れた場合は、スタンバイレバーを一度「ロック」にしてから再び「スタンバイ」にして、電源を入れなおしてください。

## VTRストップ

カメラメニューの「カスタムキー設定」サブメニューで、カスタムキーボタンを「VTRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（🕮 93）。
「VTRストップ」ボタンを押すことで、5分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。
撮影するときは、「VTRストップ」ボタンをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

## 液晶画面は




液晶画面は
❶ 90°まで開きます。
❷ 180°まで回転します。
❸ 90°まで回転します。

- 液晶画面の角度を変えるときは、必ず90°開いてから行ってください。
- 液晶画面を閉じるときは、必ず画面を垂直にしてから行ってください。
- 液晶画面は、カチッと音がするまでしっかり閉じてください。

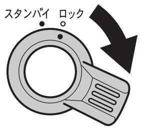
**液晶画面について**

液晶画面は、非常に精度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

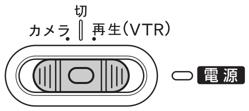
- 長時間使用しないときは、電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
- 明るい光や反射する光を撮影すると縦の帯状の線が出ることがあります。
- 屋外で撮影する際、日差しの加減で液晶画面が見えにくくなることがあります。
- ビデオカメラを窓際に置いたり、屋外で使用するときは、液晶画面やビューファインダー、レンズを太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 長時間録画したいときには、メニューの「録画モード」を「LP」にしてください（🕮 37）。
- 被写体に接近して撮影するときは、録画ランプを「切」することをおすすめします（🕮 39）。録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。

## 撮影が終わったら

**1** スタンバイレバーを
**ロックにする**




**2** 電源スイッチを
**切にする**




**3** 液晶画面を垂直にしてから
**閉じる**

## ビデオカメラをしまうときは

**1** カセットを
**取り出す**

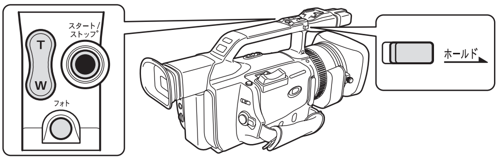
**2** バッテリーパックを
**取りはずす**

### ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用にハンドル上部にスタート/ストップボタン、ズームボタン、フォトボタンがあります。

ホールドレバーをホールド位置にすると、この3つのボタンは無効になりますので、誤操作を防止できます。

●ハンドルにあるズームボタンのズームスピードはメニューで3段階から選択できます（🕮 36）。

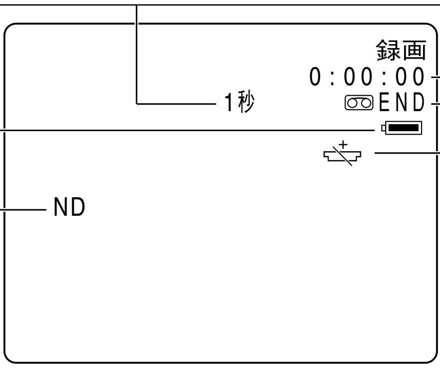


# 撮影中の液晶画面の表示について

## お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。

● 1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影することをおすすめします。




## タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。

●再生時には30フレーム/秒でカウントするタイムコードとフレーム周期が29.97/秒のNTSC映像信号の間に生じるズレを自動的に補正し、高精度な編集ができるドロップフレーム方式を採用しています。

●タイムコードは録画サーチ中、再生中にも表示します。

## テープ残量と「 END」の点灯

テープ残量時間を「分」単位で表示します。
撮影中／再生中にテープがなくなると **END** が点灯し、停止状態になります。なお15秒以下の撮影または再生のときは残量表示がでないことがあります。

●テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

## 「」の点滅

次の場合に が点滅します。
1. カセットが入っていないとき。
2. カメラモードで、録画できない状態のカセットが入っているとき。

## バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

● バッテリーパックが消耗すると「」が点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。

● 消耗したバッテリーパックを装着すると、「」が出ずに、電源が入らなかったり、切れたりすることがあります。

● 残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

## 「」の点滅

コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。

● 交換用のコイン型リチウム電池は、CR2025タイプをお使いください。

## NDの表示

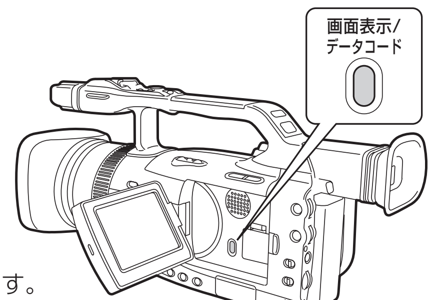
晴れた日の屋外などで撮影するときにNDフィルターの使用について表示します。（□ 71）

### 画面表示/データコードボタン

撮影時の液晶画面/ビューファインダー表示は画面表示/データコードボタンを押すたびに右のように変わります。

＊カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」にすると、日時も表示します。

通常の表示
↓
録画モード、録画などの動作モード、カウンター、警告表示
日時＊
↓
日時＊
↓
表示なし




●電源スイッチ、スタンバイレバーで電源を切ると通常の表示に戻ります。
●接続したテレビなどに出る表示も同じになります（オン　スクリーン機能）
●液晶画面/ビューファインダーのオーディオレベルメーター表示は、画面表示/データコードボタンとは関係なく、メニューで表示を入/切できます。

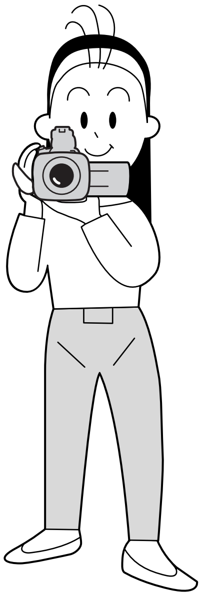
# よりよいビデオ撮影のために

## ビデオカメラ本体の持ちかた

- ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構えかた

- 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
- 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。

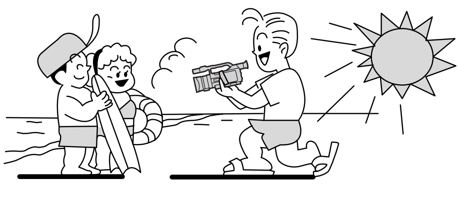


- ハイアングルで撮る

- ローアングルで撮る

## ライティング

戸外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

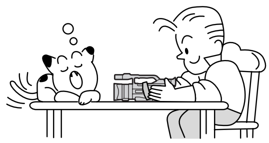


## 安定した撮影をするためには

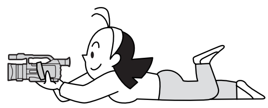
状況に合わせて構え方を変えましょう。
液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

- 壁に寄りかかる

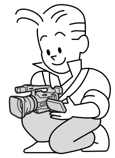
- テーブルなどを利用して本体を置く



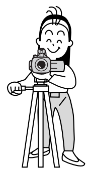
- ひじをたてて地面に伏せる



- 片膝立ちになる

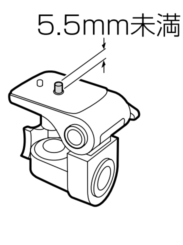


- 三脚を使う



### 三脚を使うときには

- 直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ビューファインダーを押し込んで直射日光が入らないようにしてください。
- 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものをご使用になると、本体を破損することがあります。

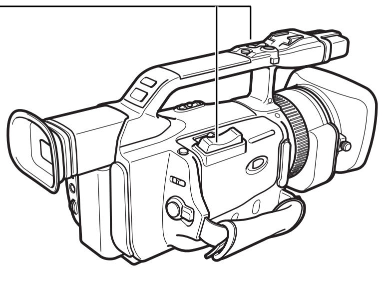


# ズーム

本機は20倍までの光学ズームに加え、100倍までのデジタルズームを装備しています*（40倍、100倍選択可能）。光学ズーム、デジタルズームともに、本体（グリップカバー、ハンドル）とリモコンで操作できます。
＊カードカメラモードでは、デジタルズームは使用できません。

- グリップカバーのズームボタンはカメラメニューの「カメラ設定」サブメニューでバリアブル（可変）、H（高速）、M（中速）、L（低速）が選択できます。バリアブルを選んだときには、軽く押すと低速ズームに、深く押すと高速ズームになります。
- ハンドルにあるズームボタンはカメラメニューの「カメラ設定」サブメニューで、H（高速）、M（中速）、L（低速）が選択できます。
- リモコンではズームスピードは一定です。

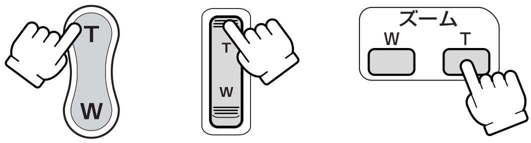
ズームボタン



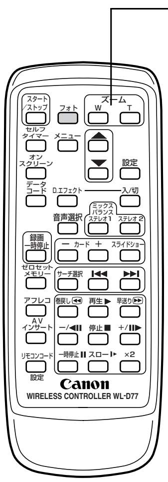
## ズームインするとき

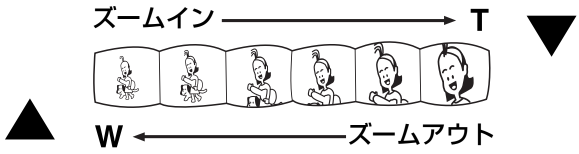
ズームボタンを **押す**（本体）

ズームボタンを **押す**（リモコン）




ズームボタン

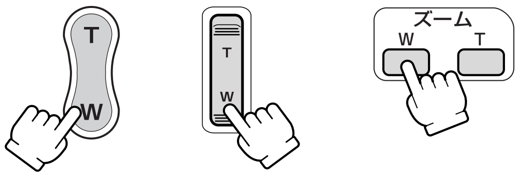



## ズームアウトするとき

ズームボタンを **押す**（本体）

ズームボタンを **押す**（リモコン）




撮影編

# ズーム ー つづき

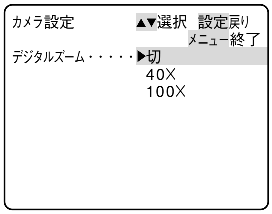
## デジタルズームについて（カメラモード）

光学20倍を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタルエリアでは映像をデジタル処理するため画質が低下します。

**カメラモード** 再生(VTR)モード カードカメラモード カード再生(VTR)モード

デジタルズームの設定を変えるときは、「カメラ設定」サブメニューから「デジタルズーム」を選び、「40×」または「100×」にします（📖36）。

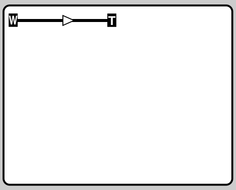
● ご購入時は、デジタルズームは「切」に設定されています。



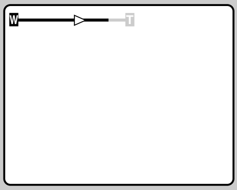

### 液晶画面／ビューファインダーの表示

ズームボタンを操作するとズームのおよその位置を表示します。
離すと約4秒後に消えます。

●デジタルズームになると、ズーム表示の長さが伸び、デジタルズーム領域の表示が40倍までは水色、40倍から100倍までは青色になります。




光学ズームのとき

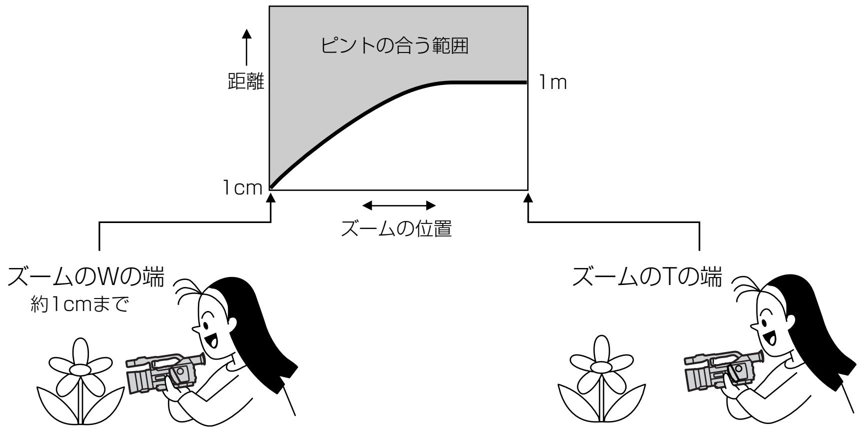



デジタルズームのとき

### ズームを使ったとき、どこまで近づいて撮影できるの？

ズームの位置によって、被写体にどこまで近づけるかが変わります。

ビデオカメラが近づける距離の変化(光学ズームのとき)*




●近くのものにピントが合わないときには、ズームレバーをW側に動かして広角にします。

＊デジタルズームでは光学ズームのTの端と同じ距離になります。

### ズームを使うときは

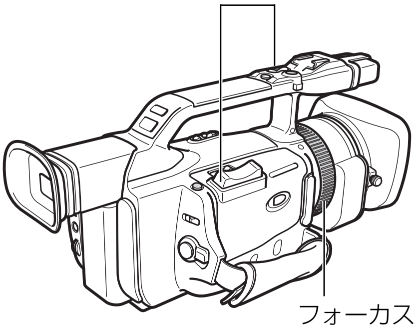
●撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。

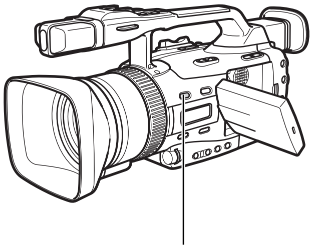
●ズームをしながら撮影するときは、広角～望遠までの全域で被写体との距離を1m以上保ってください。

# ピント合わせ（フォーカス）

本機のピント合わせには、自動でピントを合わせるオートフォーカスとマニュアルでピントを合わせるマニュアルフォーカスの2種類があります。

●Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく(F1.6)設定します。
被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8）設定します。




**ご注意**

●暗い室内などで撮影するときは、全体にぼけた映像に見えることがあります。

●マニュアルフォーカス時にズームを操作するときは、T側でピントを合わせてからW側にズームしてください。W側でピントを合わせてからT側にズームすると、ピントがぼけることがあります。
W側からT側へズームして撮影するときは、オートフォーカスでの撮影をおすすめします。

**オートフォーカスでは**

●市販のUV、ND以外のフィルターを取り付けたときには、オートフォーカスが合いにくくなることがあります。

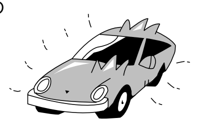
# ピント合わせ（フォーカス） ー つづき

## マニュアルフォーカス

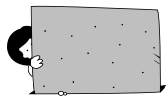
ごくまれにオートフォーカスではピントの合いにくい場合がありますので、そのときはマニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

**オートではピントの合いにくい被写体**

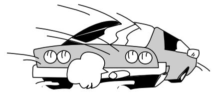
● 輝いたり、強い光が反射している



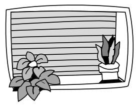
● 白い壁など、明暗の差がない



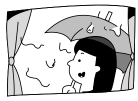
● 動きが速い



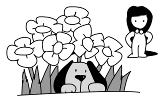
● 横じまがある



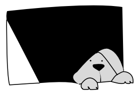
● 水滴や汚れのついたガラス越し



● 被写体が遠くと近くにある



● 暗い

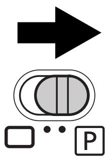


● 夜景

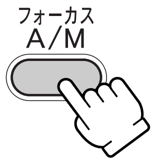
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

## 撮影のしかた

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
**P にする**



**2** フォーカスA/Mボタンを
**押す**

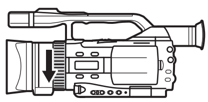


● MF表示が出る。

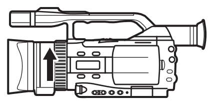
**3** ズームを操作して
**T（望遠）側いっぱいにする**

**4** フォーカスリングを回して
**ピントを合わせる**

-無限遠方向にピントを合わせる-
**下に回す**



-近距離方向にピントを合わせる-
**上に回す**

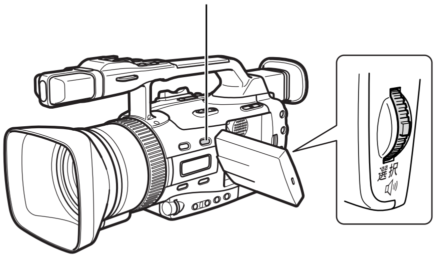


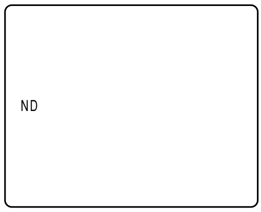
**5** ズームを操作して
**被写体を撮りたい大きさにする**

●T側でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。

# NDフィルターを使う

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み小絞りによるぼけが生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このぼけを防ぐことができます。
以下の表示にしたがって、NDフィルターボタンで入/切してください。






| 表示 | 表示内容 |
|---|---|
| 表示なし | 内蔵NDフィルターが入っていない |
| ND ON 点滅* | 内蔵NDフィルターが必要 |
| "ND" 点灯 | 内蔵NDフィルターが入っている |
| ND ON 点滅 | 外付けのNDフィルターが必要 |
| ND OFF 点滅* | 内蔵NDフィルターは不要 |

＊マニュアルモード、露出ロック中は表示は出ません。

●露出ロック中はNDフィルターの入/切はできません。

### 小絞りによるぼけとは

屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ぼけが生じることがあり、この現象を小絞りによるぼけと呼びます。

●NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ぼけを防ぐことができます。

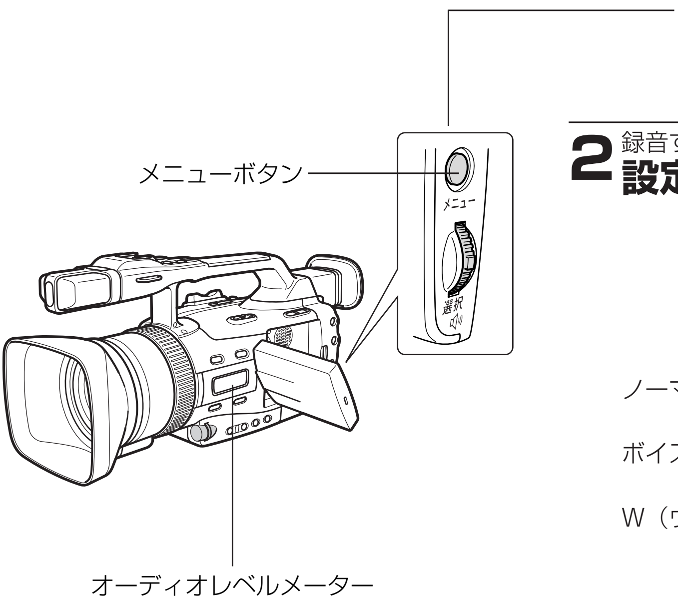
# 音声の記録

本機では、音量と内蔵マイクの音質を調整して録音できます。

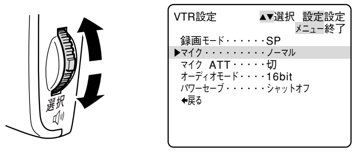
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

＊VTRモードでは、アフレコでマイク入力を選んだときのみ設定できます。ここではカメラモードで説明しています。

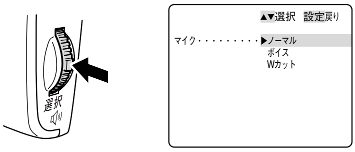
## 内蔵マイクの音質を設定する




**1** カメラメニューの「VTR設定」サブメニューで
**「マイク」を選ぶ**




**2** 録音する対象に合わせ
**設定を選ぶ**




| | |
|---|---|
| ノーマル | 一般的な音を記録するとき |
| ボイス | 人の声を中心に録音するとき |
| W（ウィンド）カット | 海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減できます* |

＊ウィンドカットを使用すると、収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。

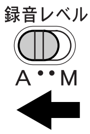
＊VTRモードでは、アフレコでマイク入力を選んだときのみ設定できます。ここではカメラモードで説明しています。

## 録音レベルの調整

録音レベルは、内蔵マイク、外部マイク端子に接続したマイク、アドバンストアクセサリーシューに接続したマイク（マイクアダプターMA-300（別売）に接続したマイクも含む）でオーディオレベルつまみを使って調整できます。オーディオレベルメーターは本体側面にあります。また、液晶画面/ビューファインダーにも表示できます（「表示設定」サブメニューの「レベルメーター」を「入」にする）。

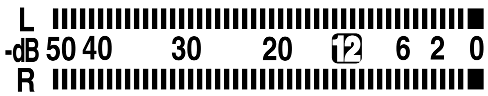
### レベル調整をオート（自動）で行う

**1** 録音レベルスイッチを
**「A」にする**

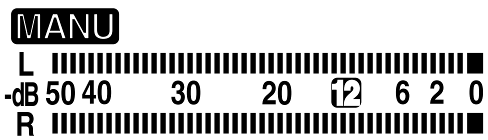



本体側面のオーディオレベルメーター

オート

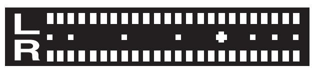



マニュアル

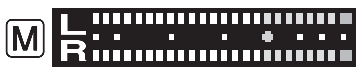



液晶画面/ビューファインダーのオーディオレベルメーター

オート

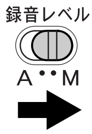



マニュアル

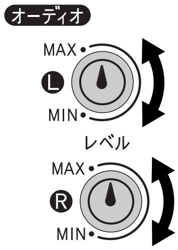



### レベル調整をマニュアル（手動）で行う

**1** 録音レベルスイッチを
**「M」にする**




**2** オーディオレベルつまみを回し
**オーディオレベルメーターの12より右（液晶画面/ビューファインダーでは大きな✚より右）が時々点灯するようにする**



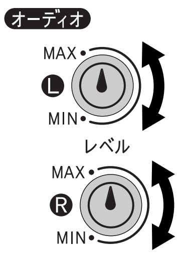

- 録音レベルツマミでレベルを下げても、入力レベルが高すぎる場合には、音声が歪むことがあります。

**音声が歪むときは**

カメラメニューの「VTR設定」サブメニューで「マイクATT」*を「入」にしてください。

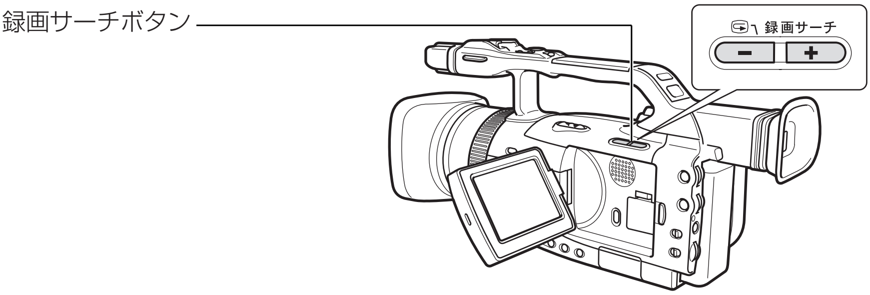
＊ATTはAttenuator（アッテネーター）の略で信号を小さくする減衰器のことです。

**3** 必要に応じてオーディオレベル「L」、「R」つまみで
**「L」、「R」のバランスを調整する**



# 撮影内容を確認する（録画チェック）/つなぎ撮り（録画サーチ）

●音声は聞こえません。



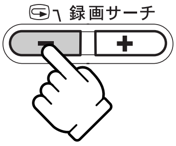

## 録画チェック

最後に撮影した場面（約3秒間）を再生して、液晶画面/ビューファインダーで確認できます。

**撮影一時停止中**

録画チェックボタン を

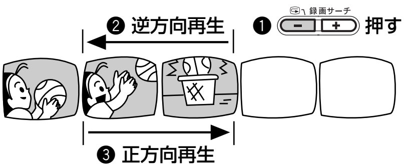
**ポンと押す**




● 最後に撮影した場面が約3秒間再生され、一時停止に戻る。

### 録画チェックとは

撮影一時停止状態で、撮影した最後の場面（3秒間）を❷、❸の順番で再生する機能です。




## 録画サーチ

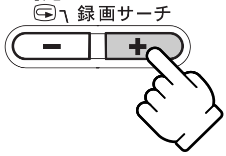
撮影した場面を正方向、逆方向に再生して撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

**撮影一時停止中**

**ー正方向の再生ー**

録画サーチ＋ボタンを

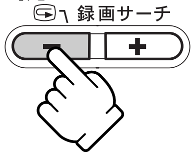
**押し続ける**




**ー逆方向の再生ー**

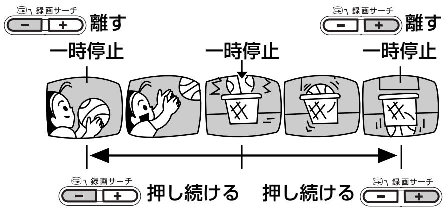
録画サーチ－ボタンを

**押し続ける**




### 録画サーチとは

一時停止状態で、続けて撮影したい場面などを探す機能です。



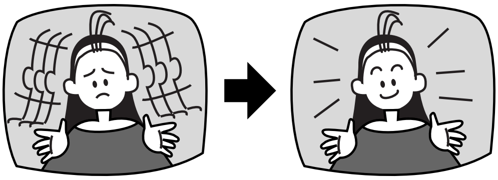

### 逆方向の再生中は

●画面が多少乱れます。

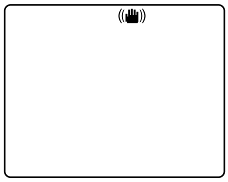
# 手ぶれ補正機能を解除する（手ぶれ補正機能）

手ぶれ補正機能が動作していると、ズームの望遠側で撮影するときなど手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

手ぶれしている画　安定した画



●手ぶれが大きすぎると、十分に補正できないことがあります。



手ぶれ補正表示

通常の撮影では、手ぶれ補正を解除する必要はありませんが、必要に応じて解除することもできます。ビデオカメラを左右に動かして撮影するときなどには、その動きを補正しようとしてしまいます。手ぶれ補正を解除するとその補正を防ぐことができます。プログラムAEが □（全自動）モードのときは、手ぶれ補正は解除できません。

●ご購入時の設定は「入」です。
●手ぶれ補正の「入」「切」はカスタムキーでも操作できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

「カメラ設定」サブメニューから「手ぶれ補正 」を選び、「切」にします（ 36)。

- 手ぶれ補正の表示 が液晶画面/ビューファインダーから消える。

**三脚などを使用して撮影するときは**

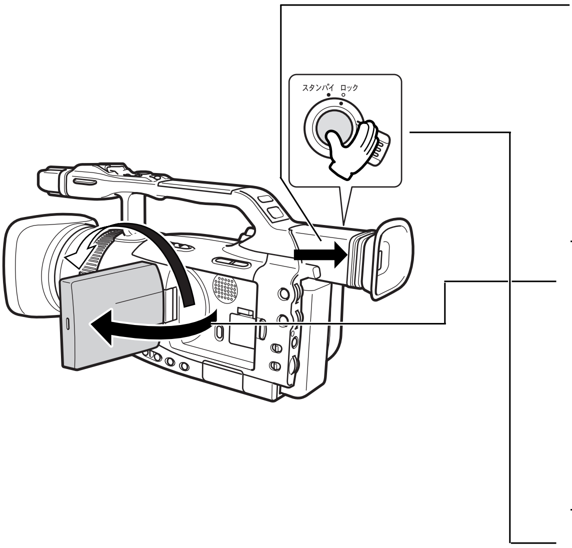
●手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

撮影編

# 液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ビューファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（📖 114）などでビデオカメラを固定して撮影するときなどにも便利です。

## 撮影のしかた




**撮影一時停止中**

**1** ビューファインダーを
**引き出す**

**2** 液晶画面を
**回転させる**

**3** スタート/ストップボタンを
**押す**

### LCD対面ミラーの設定を変える

液晶画面を回転させると、画面に映る映像は左右逆になります。ご購入時の設定を変えて、記録される映像と同じ状態で映すことができます。

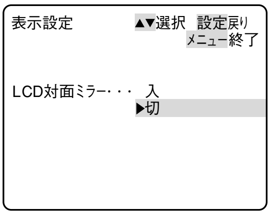
入：液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

切：記録される映像と同じ状態で液晶画面に映ります。液晶画面に映る文字などを読むことができます。

● ご購入時の設定は「入」です。

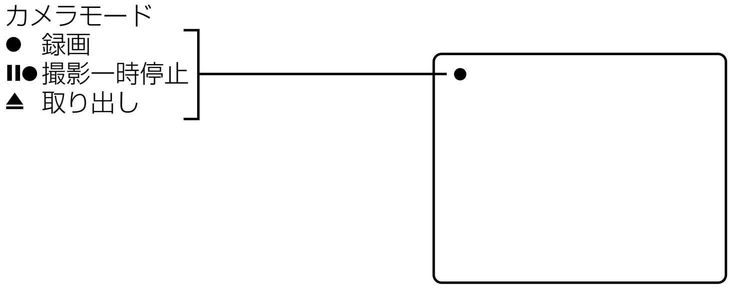
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

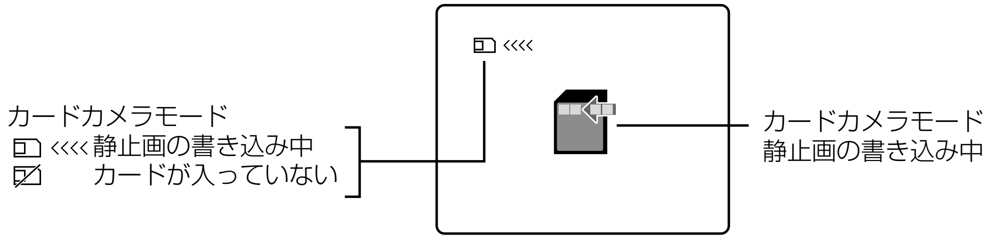
「表示設定」サブメニューから「LCD対面ミラー」を選び、「切」にします（📖 38）。



## LCD対面ミラー「入」のときに液晶画面に出る表示

ビューファインダーではすべての表示が出ます。

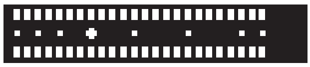


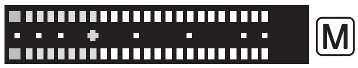

●オーディオレベルメーター表示は下記のようになります。

液晶画面

オーディオレベル　オート

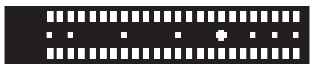


オーディオレベル　マニュアル

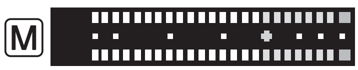



ビューファインダー

オーディオレベル　オート



オーディオレベル　マニュアル

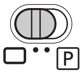
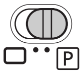


# 撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

## 撮影モードの選択

□（全自動）モード、スポットライトモード、サーフ&スノーモードでは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。オートモード、Tvモード、Avモード、マニュアルモードでは撮影の状況に合わせて細かく設定できます。

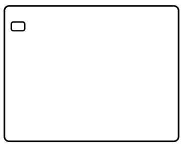
●撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

| 撮影モード切り替えスイッチの位置 |  |  | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 撮影モード | □（全自動）モード | オートモード | Tvモード | Avモード | マニュアルモード | スポットライトモード | サーフ&スノー |
| 露出ボタン 露出ロック | × | ○ | | | × | ○ | ○ |
| 露出ボタン 絞り調整 | × | × | × ＊1 | ○ | ○ | × ＊1 | × ＊1 |
| 露出ボタン シャッタースピード | × | × | ○ | × ＊1 | ○ | × | × ＊1 |
| 露出ボタン ゲイン調整 | × | × ＊1 | | | ○ | × | × ＊1 |
| ホワイトバランス選択ボタン | ×（オートに固定） | ○ | | | | | |
| ホワイトバランスセットボタン | × | ○ | | | | | |
| カスタムプリセットの設定 | × | ○ | | | | | |
| カスタムプリセットボタン | × | ○ | | | | | |
| フォーカスA/Mボタン | × | ○ | | | | | |
| フォーカスリング | × | ○ | | | | | |
| カスタムキーボタン | ○ | ○ | | | | | |
| 動画モード | ×（ノーマルに固定） | ○ | | | | | |
| 16：9 | ×（切に固定） | ○ | | | | | |
| クリアスキャンの周波数選択 | × | × | ○ ＊2 | × | ○ ＊2 | × | × |
| クリアスキャンの実行 | × | × | ○ ＊3 | × | ○ | × | × |
| カラーバーを除くデジタルエフェクト | × | ○ | | | | | |
| カラーバー | ○ | ○ | | | | | |
| デジタルズーム（カメラモードのみ） | ○ | | | | | | |

＊1：露出ロックをすると使用できます。
＊2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。
＊3：Tvモードでクリアスキャン実行中に露出ロックすると、シャッタースピードは変更できません。
○＝操作できます。　×＝操作できません。

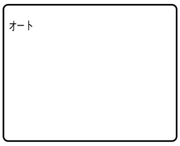
### □（全自動）モード

すべてをカメラまかせで撮影できます。ズームとスタート／ストップボタンを押すだけで簡単に撮影できるモードです。



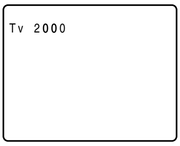
## オートモード

すべてをカメラまかせで撮影できるモードですが、細かく設定できます。



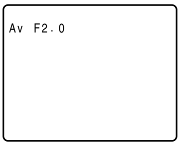
## Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードを任意に設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます（高速シャッター）。
Tvモードでは絞り、ゲインは自動で調整されます。



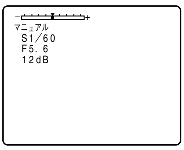
## Av（絞り優先：Aperture Value）モード

絞りを任意に設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。
Avモードではシャッタースピード、ゲインは自動で調整されます。



## マニュアルモード

シャッタースピード、絞り、ゲインがマニュアルで設定できます。ねらい通りの画創りに最適です。

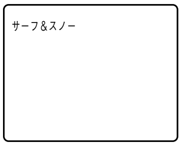


撮影編

# 撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード） ー つづき

## サーフ&スノーモード

夏の海岸や冬の雪一面のスキー場など、周囲全体が明るい場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。



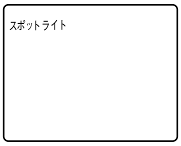
### こんなときに使います

反射光がまぶしい海辺やスキー場などで撮影する場合

- 曇りや日陰など周囲が暗いときには被写体が明るくなりすぎることがあります。液晶画面/ビューファインダーで映像を確認してください。
- シャッタースピードが速めに設定されるため、被写体の動きが多少ぎこちない場合があります。

## スポットライトモード

スポットライトなど範囲の狭い照明が当たっている被写体を鮮明に撮影できます。

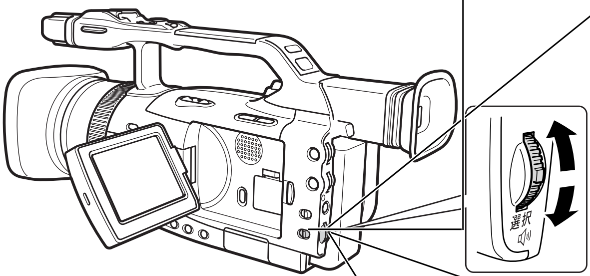


### こんなときに使います

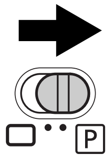
結婚式のスポットライトで照明されたシーンや、発表会の舞台などを撮影する場合

## 操作のしかた

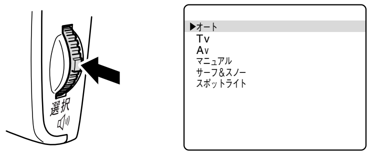
□（全自動）以外の撮影モードの選びかた




**1** 撮影モード切り換えスイッチを
### [P]にする

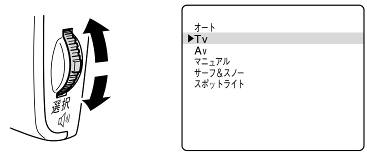



**2** 選択/設定ボタンを
### まっすぐ押す



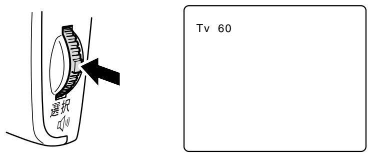

● プログラムAEメニューが出る。

**3** 選択/設定ボタンを上または下に押し
### 撮影モードを選ぶ




● ▶を撮影したいモードに合わせる

**4** 選択/設定ボタンを
### まっすぐ押す




● 選んだモード表示が出る。

●キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体（一部に高輝度な部分を含む被写体）を撮影すると、縦に光の帯が出ることがあります。

**撮影モードを使うときは**

●撮影中は撮影モードを変えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

# Tv（シャッター優先）モードによる撮影

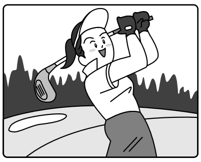
シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。
12段階のシャッタースピード（1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒）*がありますので、下記の目安を参考にして選んでください。

- 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

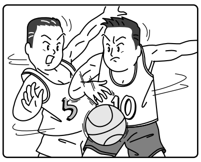
＊カードカメラモードのとき、シャッタースピードは1/60秒から1/500秒までしか使用できません。そのため、カメラモードからカードカメラモードに切り変えたときには、下記のシャッタースピードに自動的になります。
カメラモードで1/1000秒以上の高速シャッターに設定している場合→1/500秒
カメラモードで1/30秒以下のスローシャッターに設定している場合→1/60秒

### 高速シャッターで撮影するときの目安

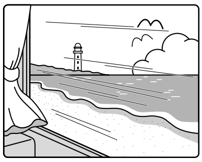
- 晴天下で、テニスやゴルフなどのスポーツをしている人を撮影するとき
  ～1／4000秒
  （さらに、瞬間を鮮明に撮影するときは1/8000秒、1/15000秒）



- 屋内でスポーツをしている人を撮影するとき
  1／100秒



- 自動車や列車などから外を撮影するとき
- ジェットコースターなどの動きの速い乗り物などを撮影するとき
  1／1000秒、1／500秒、1／250秒



- 高速シャッターのときは、映像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。

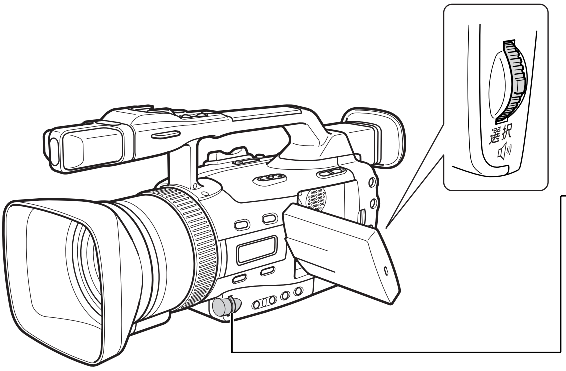
### 蛍光灯下での撮影について

カメラモードの □（全自動）モードと撮影モードのオートモードでは、蛍光灯のちらつきを自動的に検出し、自動的にシャッタースピードが切り換わりますので、通常ちらつきは出ませんが、液晶画面/ビューファインダーの明るさがちらつくときは、Tvモードを選び1/100秒の高速シャッターを選んでください。

### スローシャッターによる撮影

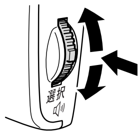
1/8秒、1/15秒、1/30秒のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

- スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ピントはオートのままでは合いにくいことがあります。
- スローシャッターを選んでいるときはデジタルエフェクトのワイプ、オーバーラップ、ストロボモーション、トレイルは使用できません。

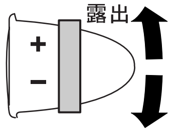


**撮影一時停止中**

## 1 Tvモードを選ぶ



## 2 露出ボタンを上または下に押す




- 選んだシャッタースピード表示が出る。
- ＋側に押すとシャッタースピードが遅くなる。（画面が明るくなる）
- −側に押すとシャッタースピードが速くなる。（画面が暗くなる）

露出ボタンを上または下に押すとシャッタースピードは次のように変わります。

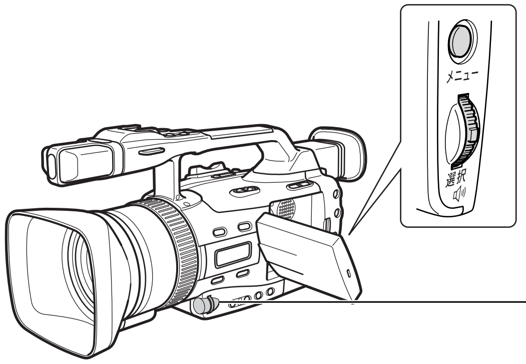
1/8秒 ↔ 1/15秒 ↔ 1/30秒 ↔ $\underset{\text{カードカメラモード時}}{\boxed{\text{1/60秒 ↔ 1/100秒 ↔ 1/250秒 ↔ 1/500秒}}}$ ↔ 1/1000秒 ↔ 1/2000秒 ↔ 1/4000秒 ↔ 1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS*

＊CS（クリアスキャン）については、92ページをご覧ください。

●露出ボタンで調整したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調整されます。
●設定したシャッタースピードは露出ロックを操作して露出を変更すると、設定した値はバックアップされません。
●選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるように露出ボタンで設定を変えてください。

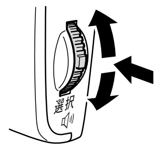
# Av(絞り優先)モードによる撮影

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。10段階の絞り*（F1.6、F2.0、F2.4、F2.8、F3.4、F4.0、F4.8、F5.6、F6.7、F8.0）がありますので、場面に応じて選んでください。
＊カードカメラモード時は9段階（F2.0、F2.4、F2.8、F3.4、F4.0、F4.8、F5.6、F6.7、F8.0）

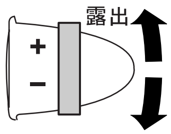



**撮影一時停止中**

## 1 Avモードを選ぶ




## 2 露出ボタンを 上または下に押す




- 選んだ絞り値表示が出る。
- ＋側に押すと絞りが開き（Fの数字が小さくなる)、被写界深度（ピントの合う範囲）が狭くなる。
- −側に押すと絞りが閉じ（Fの数字が大きくなる）､被写界深度（ピントの合う範囲）が広くなる。

露出ボタンを上または下に押すと絞りは次のように変わります。

F1.6* ↔ [F2.0* ↔ F2.4* ↔ F2.8* ↔ F3.4 ↔ F4.0 ↔ F4.8 ↔ F5.6 ↔ F6.7 ↔ F8.0]

**カードカメラモード時**

＊ズームの位置により、選べないことがあります。

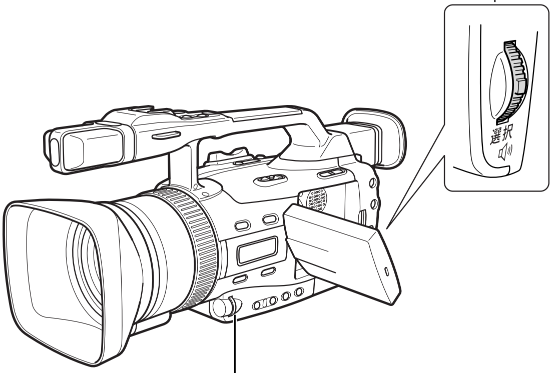
- 露出ボタンで調整した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調整されます。
- 設定した絞り値は露出ロックを操作して露出を変更すると、設定した値はバックアップされません。
- 選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは、選んだ絞り値が適切でないことを示しています。このようなときは、表示が点灯になるように露出ボタンで設定を変えてください。
- 絞り値をF8などに設定することにより被写界深度を深く、開放F1.6（カードカメラモード時：F2.0）にすることにより、被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
- レンズ内蔵のNDフィルターが「入」になっているときに、絞り込んでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、レンズ内蔵のNDフィルターを「切」にして、再設定してください。
- 晴れた日の屋外などで撮影中（□（全自動）モード、オートモード）に"ND ON"の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6～F8などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。

# マニュアルモードによる撮影

マニュアルモードではシャッタースピード（30段階）（カメラモード時）、絞り（19段階）（カメラモード時）とゲイン（4段階）（カメラモード時）が自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりなど、クリエイティブな画創りができます。
調整は下記の順序で行います。

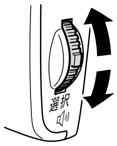
→（調整しない）→ シャッタースピード → 絞り値 → ゲイン →（調整しない）

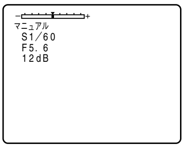
## 操作のしかた




**撮影一時停止中**

### 1 マニュアルモードを選ぶ




- 液晶画面/ビューファインダーに露出メーターとシャッタースピード、絞り値、ゲインが表示される。

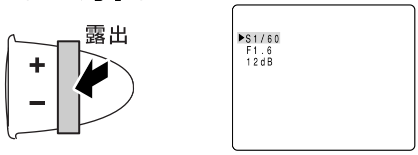
① 標準露出レベル指標：▼
　標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：■
　現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方とも、約2段まで表示し、約2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

# マニュアルモードによる撮影 ー つづき

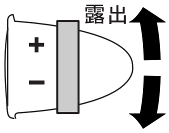
## シャッタースピードを調整する

**1** 露出ボタンを
### まっすぐ押す




- ▶がシャッタースピード表示に出る。

**2** 露出ボタンを
### ＋または−側に押す




- 選んだシャッタースピード表示が出る。
- ＋側に押すとシャッタースピードが遅くなる。
- −側に押すとシャッタースピードが速くなる。

ボタンを押すとシャッタースピードは次のように変わります。

**カメラモード時**

1/8秒 ↔ 1/15秒 ↔ 1/30秒 ↔ 1/60秒
1/120秒 ↔ 1/100秒 ↔ 1/90秒 ↔ 1/75秒
1/150秒 ↔ 1/180秒 ↔ 1/210秒 ↔ 1/250秒
1/500秒 ↔ 1/420秒 ↔ 1/360秒 ↔ 1/300秒
1/600秒 ↔ 1/720秒 ↔ 1/840秒 ↔ 1/1000秒
1/2000秒 ↔ 1/1700秒 ↔ 1/1400秒 ↔ 1/1200秒
1/2300秒 ↔ 1/2600秒 ↔ 1/3000秒 ↔ 1/4000秒
CS* ↔ 1/15000秒 ↔ 1/8000秒

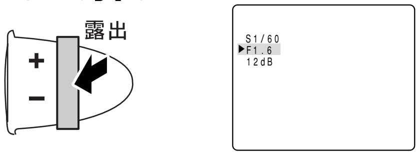
**カードカメラモード時**

1/60秒 ↔ 1/75秒 ↔ 1/90秒 ↔ 1/100秒
1/210秒 ↔ 1/180秒 ↔ 1/150秒 ↔ 1/120秒
1/250秒 ↔ 1/300秒 ↔ 1/360秒 ↔ 1/420秒
1/720秒 ↔ 1/600秒 ↔ 1/500秒

＊CS（クリアスキャン）については92ページをご覧ください。

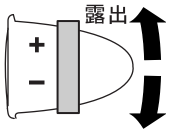
## 絞りを調整する

**1** 露出ボタンを
### まっすぐ押す




- ▶が絞り値表示に出る。

**2** 露出ボタンを
### ＋または−側に押す




- 選んだ絞り値表示が出る。
- ＋側に押すと絞りが開き（Fの数字が小さくなる）、被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなる。
- −側に押すと絞りが閉じ（Fの数字が大きくなる）、被写界深度（ピントの合う範囲）が深くなる。

ボタンを押すと絞りは次のように変わります。

**カメラモード時**

F1.6* ↔ F1.8* ↔ F2* ↔ F2.2*
F3.2 ↔ F2.8 ↔ F2.6* ↔ F2.4*
F3.4 ↔ F3.7 ↔ F4 ↔ F4.4
F6.2 ↔ F5.6 ↔ F5.2 ↔ F4.8
F6.7 ↔ F7.3 ↔ F8 ↔ CLOSE

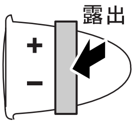
**カードカメラモード時**

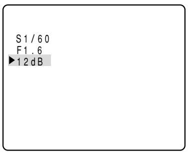
F2* ↔ F2.2* ↔ F2.4* ↔ F2.6*
F3.7 ↔ F3.4 ↔ F3.2 ↔ F2.8
F4 ↔ F4.4 ↔ F4.8 ↔ F5.2
F7.3 ↔ F6.7 ↔ F6.2 ↔ F5.6
F8 ↔ CLOSE

＊ズーム位置により、選べないことがあります。

## ゲインを調整する

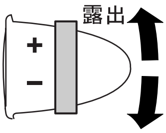
**1** 露出ボタンを
# まっすぐ押す




- ▶がゲイン表示に出る

**2** 露出ボタンを
# ＋または－側に押す




- 選んだゲイン表示が出る。
- ＋側に押すとゲインが上がる。
- －側に押すとゲインが下がる。

ボタンを押すとゲインは次のように変わります。

### カメラモード時

0 dB ←→ 6 dB ←→ 12 dB ←→ 18 dB

### カードカメラモード時

0 dB ←→ 6 dB ←→ 12 dB

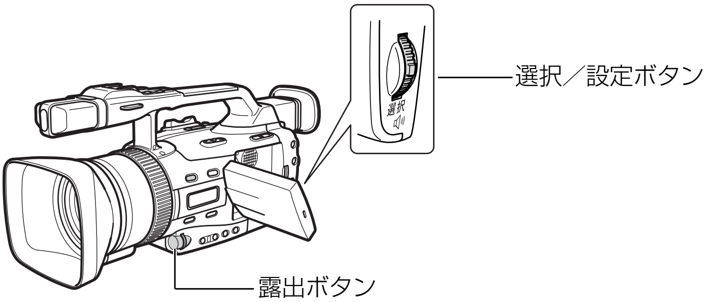
### ゲイン値を上げすぎると

●画面が多少ざらつくことがあります。

撮影編

# 手動で露出を調整する（露出ロック/露出補正）

被写体が太陽を背にしていたり、逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整ができます。
また、明るさを固定することで、画面の明るさを変えずに晴れた屋外などを撮影できます。
●撮影モードの □（全自動）とマニュアルモード以外で使用できます。

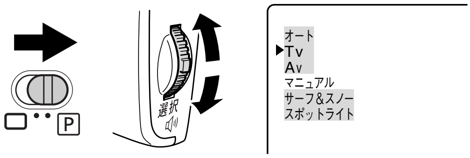



## 撮影のしかた

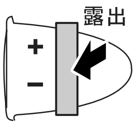
### 露出ロックを使う

**1** 撮影一時停止中

撮影モードを
**□（全自動）とマニュアルモード以外にする**




**2** 露出ボタンを
**まっすぐ押す**

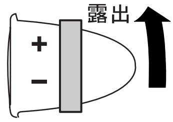



- 画面の明るさが固定される。
- 「EXPロック±0」表示が出る。

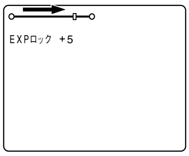
●露出ロック中にズーム操作をすると、画面の明るさが変わることがあります。

### さらに露出補正をするには

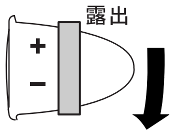
露出ボタンを
**＋側に押す**



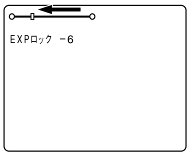

- 画面が明るくなる。




露出ボタンを
**－側に押す**




- 画面が暗くなる。




●露出ボタンを＋または－側に押すと、露出ロック時からどれくらい補正されたかを示します。

**自動調整に戻すときは**

●露出ボタンを押すか、他のプログラムAEモードにします。「EXPロック」表示が消えます。

**露出ロック機能は**

●露出の補正だけでなく、意図的に画面を明るくしたり、暗くしたりすることで、効果的な画創りができます。

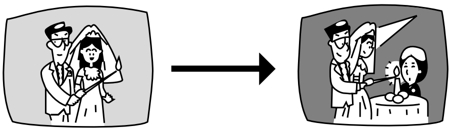
# AEシフト

撮影するときのAEレベルを明るめにしたり、暗めにしたりできます。
カメラメニューのカメラ設定サブメニューの「AEシフト」で－2.0、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、0.25、0.5、0.75、1.0、1.25、1.5、2.0の15段階から選択できます。
●撮影モードのオート、Tv（シャッター優先）、Av（絞り優先）モードで使用できます。それ以外の撮影モードではカメラメニューのカメラ設定サブメニューの「AEシフト」は「- - -」になり、使用できなくなります。

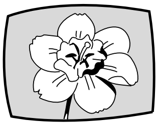
# 色合いを調整する（ホワイトバランス）

白い紙は、いつも白く見えているようですが、蛍光灯、太陽光など光が変わると色は微妙に変わっています。人の目は順応性がありますので、その微妙な色の違いを同じ色として見ています。ビデオカメラではこのような順応性がないため、そのままでは光によって、画面が青くなったり、赤くなってしまいます。そこで、白い紙が白く映るように調整するのが、ホワイトバランスの調整です。
本機では、自動的に自然な色合いに調整するオートホワイトバランスのほかに、手動で調整するホワイトバランスセット、さらに屋内 ☼ と屋外 ☀ を選択することができます。

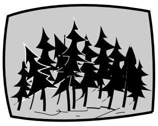
**自動では色合いの調整がしにくい場合**
次のような場合は自動では色合いを調整できないことがあります。液晶画面／ビューファインダーで色が不自然に見えるときは、手動で調整をしてください。



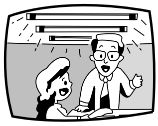
●照明条件が急に変わるとき



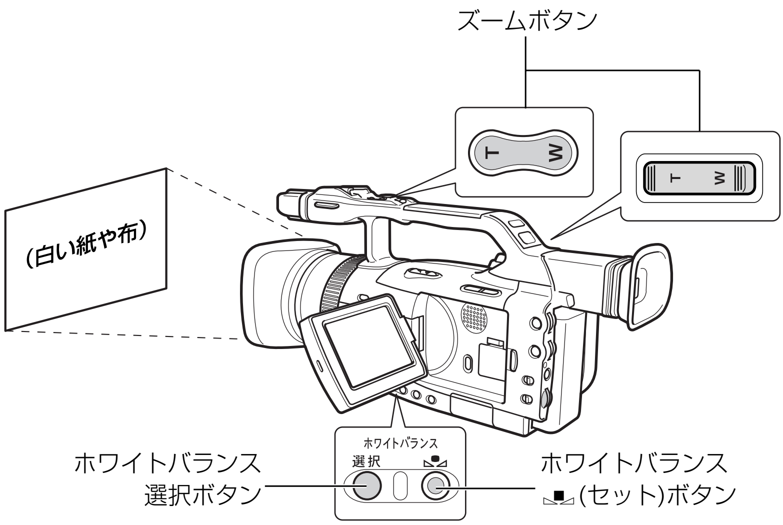
● クローズアップ撮影をするとき



● 単一の被写体（空、海、森など）を撮影するとき



● 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき



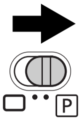

撮影編

# 色合いを調整する（ホワイトバランス） ー つづき

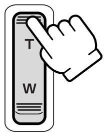
## ホワイトバランスセット

**撮影一時停止中**

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
**Ⓟにする**

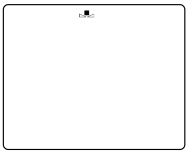



**2** ズームなどを使って白い紙や布を液晶画面/ビューファインダーいっぱいに写す



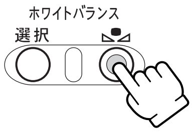

●セットの作業が終わるまで、写し続けてください。

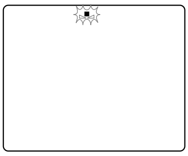
**3** ホワイトバランス選択ボタンを
**押す**



● を表示させる。

**4** ホワイトバランス （セット）ボタンを
**押す**



● が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わる。
●ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ごくゆっくりした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。

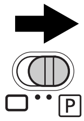
### ホワイトバランスセットをするときは

●照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときはセットし直してください。
●「デジタルズーム」は「切」にしてください。
●撮影モード切り換えスイッチを ▢（全自動）にしたときは、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。

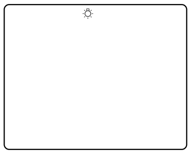
## 屋内、屋外用の設定をする

**撮影一時停止中**

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
**Ⓟにする**




**2** ホワイトバランス選択ボタンを
**押す**



● ☼ または ☀ を表示させる。
● 撮影する場所に合わせて選ぶ。

### ☼（屋内）/ ☀（屋外）はこんなときに使います

**☼（屋内）**

●パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
●スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき
●ナトリウムランプの照明で撮るとき

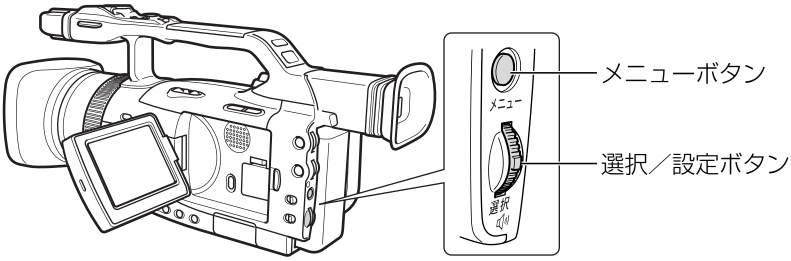
**☀（屋外）**

●夜景や花火などを撮るとき
●朝日や夕焼けなどを撮るとき

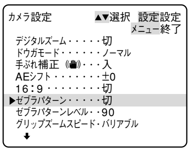
＊通常の屋外では「オート」を使った方がきれいに撮影できます。

# ゼブラパターン

ゼブラパターンは、撮影している映像のなかで輝度が一定のレベルを超えて部分に出る斜めの縞模様のことです。ゼブラパターンが出ている部分は白とびすることがありますので、絞り、シャッタースピード、ゲイン、AEシフトなどを調整して被写体にパターンが出ないようにしてください。
本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを5段階の%（80、85、90、95、100）から選択できます。
● ゼブラパターンは液晶画面/ビューファインダーのみに表示されます。




ご購入時には、ゼブラパターンは「切」、ゼブラパターンレベルは「90」に設定されています。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ゼブラパターン」と「ゼブラパターンレベル」で設定してください（📖 36）。



# パソコンなどの画面を撮影する（クリアスキャン）

クリアスキャン機能では、パソコンなどを撮影するときに出る黒い帯*を出ないようにして撮影できます。

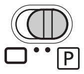
＊パソコンのモニターとビデオカメラのフィールド周期の違いにより、ビデオカメラでそのまま撮影すると黒い帯が出ます。

●設定できる周波数は60.5Hz～201.5Hzです。

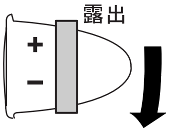
## 撮影のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

### 1 プログラムAEで **Tvまたはマニュアルを選ぶ**

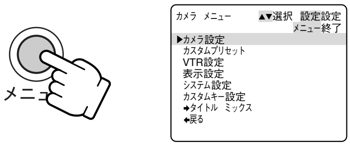



### 2 露出ボタンで **「CS」を表示させる**



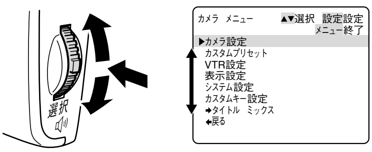

・・・1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）

### 3 メニューボタンを **押す**



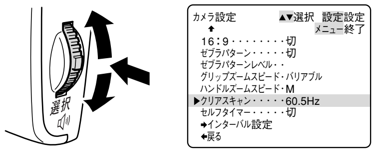

● メインメニューが出る。

### 4 メインメニューから **「カメラ設定」を選ぶ**



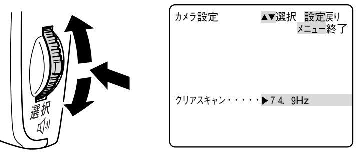

●「カメラ設定」サブメニューが出る。

### 5 「カメラ設定」サブメニューから **「クリアスキャン」を選ぶ**



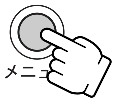

●「クリアスキャン」だけの表示になる。

### 6 画面を見ながら黒い帯が出ないように周波数を **選ぶ**




● 120段階から選べます。

### 7 メニューボタンを **押す**



# カスタムキー

本機ではメニューで設定する機能の中から使用頻度の高い機能をカスタムキー（専用ボタン）にカメラモード、再生（VTR）モード、カードカメラモード、カード再生モードそれぞれ独立して設定できます。
ご購入時は、下記のように設定されています。

カメラモード：　インデックス記録
再生（VTR）モード：　オン　スクリーン
カードカメラモード：　ゼブラパターン
カード再生モード：　オン　スクリーン

カスタムキーの設定を液晶画面/ビューファインダーに表示するときは

- カメラモード、カードカメラモード：メニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選びます。
- 再生（VTR）モード､カード再生（VTR）モード：メニューの「表示設定」サブメニューの「カスタムキー」で「入」を選びます。

## 設定のしかた

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
＊の機能はカスタムキーのみで操作可能です。

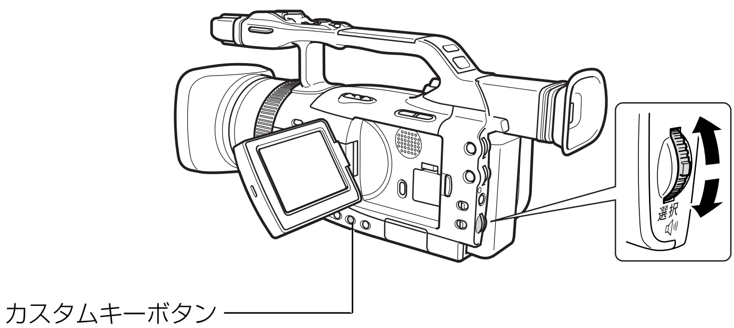
**カメラモード**
インデックス記録＊
ゼブラパターン
VTRストップ＊
オン　スクリーン
マイク
マイク　ATT
グリップズームスピード
ハンドルズームスピード
レベルメーター
AEシフト
手ぶれ補正

**VTRモード**
オン　スクリーン
マイク
マイク　ATT
音声入力　ATT
レベルメーター

**カードカメラモード**
ゼブラパターン
オン　スクリーン
グリップズームスピード
ハンドルズームスピード
AEシフト
手ぶれ補正

**カード再生モード**
オン　スクリーン

カスタムキーの設定を変えるときは、メニューの「カスタムキー設定」サブメニューで機能を選択してください。




撮影編

# カスタムキー ー つづき

## 操作のしかた

ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス記録」ボタン>のように表記しています。

### インデックス記録　カメラモード

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です。

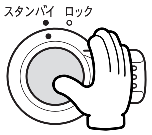
●カスタムキーだけで操作できます。

#### 撮影一時停止中

**1** 「インデックス記録」ボタンを
**押す**

● 「インデックス」表示が出る。

**2** スタート/ストップボタンを
**押す**




● 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

#### 撮影中

**1** 「インデックス記録」ボタンを
**押す**

● インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

●インデックス信号をあとから記録することはできません。

### ゼブラパターン　カメラモード　カードカメラモード

ゼブラパターン表示の入/切を行います。
「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

### VTRストップ　カメラモード

通常撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のため、約5分で電源が切れますが（5分タイマー)、「VTRストップ」ボタンを押すと、ヘッドドラムが回転を止め、5分タイマーが解除されます。
撮影準備などを行う場合に便利です。
もう一度「VTRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VTRストップ状態でスタート/ストップボタンを押しても、撮影は始まります。

●カスタムキーだけで操作できます。

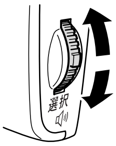
### オンスクリーン　カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

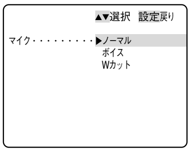
液晶画面/ビューファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

## マイク　カメラモード　再生(VTR)モード*

＊再生(VTR)モードでは、アフレコでマイク入力を選んだときのみ設定可能です。
「マイク」ボタンを押すと内蔵マイクの音質選択メニュー画面になります。

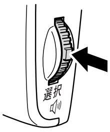
**1** 選択/設定ボタンを
**上または下に押す**




● ノーマル、ボイス、W（ウィンド）カットから選ぶ。

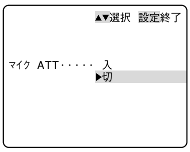
**2** 選択/設定ボタンを
**まっすぐ押す**




● 音質を設定する。
● メニュー表示が消える。

## マイク　ATT　カメラモード　再生(VTR)モード*

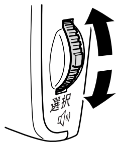
＊再生(VTR)モードでは、アフレコでマイク入力を選んだときのみ設定可能です。
マイクからの音声レベルが高すぎて、音声が歪むときに使用するAttenuator（減衰器）を入/切します。
「マイク　ATT」ボタンを押すとマイク　ATT選択画面になります。

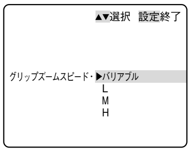



## グリップズームスピード　カメラモード　カードカメラモード

「グリップズームスピード」ボタンを押すとグリップズームスピード選択メニュー画面になります。

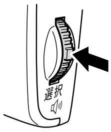
**1** 選択/設定ボタンを
**上または下に押す**




● バリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）から選ぶ。
バリアブルではズームボタンの押しかたでズームスピードが変わります（📖67）。

**2** 選択/設定ボタンを
**まっすぐ押す**

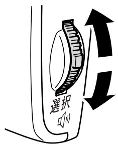


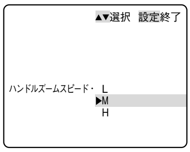

● 機能を設定する。
● メニュー表示が消える。

## ハンドルズームスピード　カメラモード　カードカメラモード

「ハンドルズームスピード」ボタンを押すとハンドルズームスピード選択メニュー画面になります。

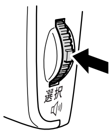
**1** 選択/設定ボタンを
**上または下に押す**




● L（低速）、M（中速）、H（高速）から選ぶ。

**2** 選択/設定ボタンを
**まっすぐ押す**




● 機能を設定する。
● メニュー表示が消える。

# カスタムキー ー つづき

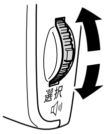
## レベルメーター　カメラモード　再生(VTR)モード

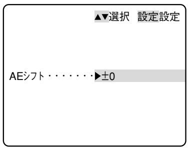
液晶画面/ビューファインダーのオーディオレベルメーター表示の入/切を行います。
「レベルメーター」ボタンを押すたびに切り換わります。

## AEシフト　カメラモード　カードカメラモード

「AEシフト」ボタンを押すとAEシフト選択メニュー画面になります。
●撮影モードがオート、Tv、Avのときのみ設定可能です。

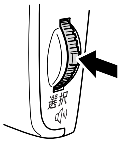
### 1 選択/設定ボタンを 上または下に押す




● −2.0〜+2.0から選ぶ。

### 2 選択/設定ボタンを まっすぐ押す




● 機能を設定する。
● メニュー表示が消える。

## 手ぶれ補正　カメラモード　カードカメラモード

手ぶれ補正の入／切を行います。
「手ぶれ補正」ボタンを押すたびに切り換わります。

## 音声入力 ATT　再生(VTR)モード

映像/音声端子から入力した音声信号のレベルが高すぎて、音声が歪むときに使用するAttenuator（減衰器）を入/切します。
「音声入力　ATT」ボタンを押すと音声入力　ATT選択メニュー画面になります。

# カスタムプリセット/画質を調整して撮影する
## （カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベル）

本機では、カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベルを変えて撮影できますので、よりクリエイティブな画創りができます。変更した内容はカスタムプリセットボタンを押すことで撮影時にいつでも再現できます。

**カラーゲイン**
－側にすると色が薄くなり、＋側にすると色が濃くなります。

**色相**
R側にすると画面全体の赤が強くなり、G側にすると緑が強くなります。

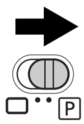
**シャープネス**
－側にすると輪郭がやわらかくなり、＋側にするとシャープになります。
「＋」側にするとノイズが目立つ場合があります。

**セットアップレベル**
－側にすると画面が暗くなり、＋側にすると影の部分などが明るくなります。

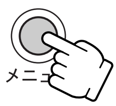


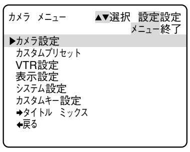
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

**1** メインダイヤルを
**□（全自動）以外のカメラモードにする**



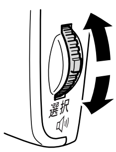

**2** メニューボタンを
**押す**

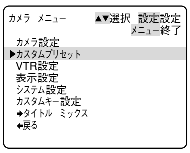


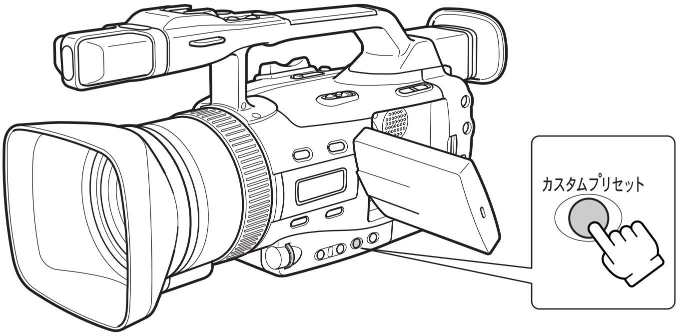

- メインメニューが出る。

**3** メインメニューから
**「カスタムプリセット」を選ぶ**



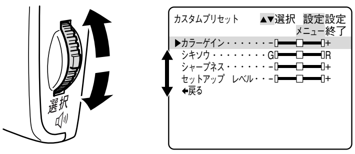

- 「カスタムプリセット」サブメニューが出る。




## 設定する項目を選ぶ

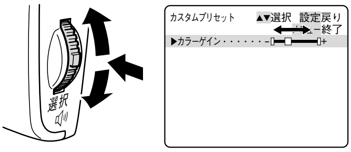
●液晶画面/ビューファインダーで効果を確認しながら設定してください。

**1** 「カスタムプリセット」サブメニューから
**設定する項目を選ぶ**



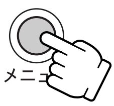

- 選んだ項目だけの表示になる。

**2** 選んだ項目を
**設定する**




- 複数の項目を設定するときは、1、2の操作を繰り返す。

**3** メニューボタンを
**押す**

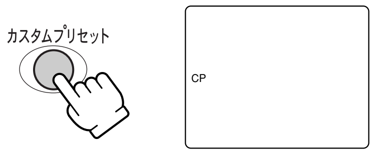



- 一度設定した内容はあらたに設定し直すまで憶えています。

## カスタムプリセットを使って撮影する

●液晶画面/ビューファインダーで効果を確認しながら撮影してください。

**1** カスタムプリセットボタンを
**押す**




- 設定した画質になる。
- 液晶画面/ビューファインダーに「CP」（カスタムプリセット）が出る。

# 場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

デジタルエフェクトには、フェーダーとエフェクトの2種類があり、カラーバーもデジタルエフェクトから選びます。

●フェーダー： テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます。（□ 100）
オートフェード、ワイプ*、オーバーラップ*

●エフェクト： 色を変えたり、特殊効果を加えることができます。（□ 104）
シロクロ、セピア、アート、ミラー、モザイク、ストロボモーション*、トレイル*

●カラーバー： SMPTEカラーバーを出力、録画できます。（□ 106）

| | カメラモード | | カードカメラモード |
|---|---|---|---|
| | 動画 | 静止画（フォト） | 静止画（フォト） |
| **フェーダー** | ○ | × | × |
| **エフェクト** | ○ | ○ | × |
| **カラーバー** | ○ | ○ | × |

○＝使用できます
×＝使用できません
＊スローシャッター、フレームモードを選んでいるときは使用できません。

●デジタルエフェクトを使用しないときは「OFF」に設定します。
①D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを押して、デジタルエフェクトメニューを出す。
②「D.エフェクト OFF」を選んで、D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンを押す。

●一度設定したデジタルエフェクトは、電源スイッチを切っても憶えています。

●デジタルエフェクトの設定は、リモコンでもできます。

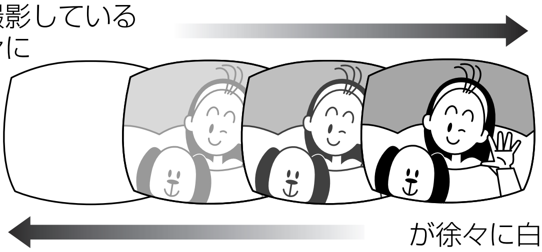
リモコンの▲は選択/設定ボタンを上に押す、▼は下に押す、設定ボタンは選択/設定ボタンをまっすぐ押すことと同じです。

撮影編

# フェーダー

## オートフェード

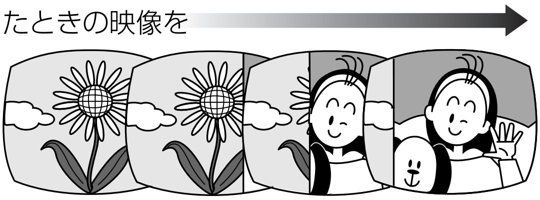
白い画面から、撮影している映像と音声が徐々にあらわれます。



撮影している映像が徐々に白くなり、映像と音声が消えます。

## ワイプ

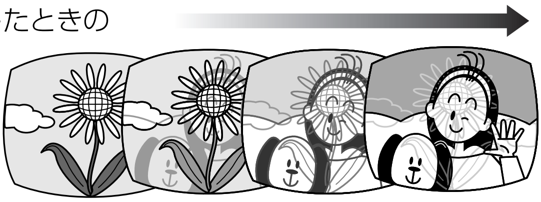
撮影一時停止にしたときの映像を静止画で記憶し、撮影を開始すると動画がカーテンを開けるように右からあらわれます。



● 音声はフェードしません。

## オーバーラップ

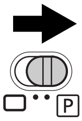
撮影一時停止にしたときの映像を静止画で記憶し､撮影を開始すると動画が少しずつ浮かび上がります。



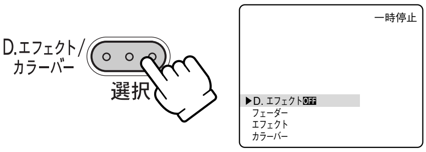
● 音声はフェードしません。

## オートフェードの操作のしかた

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
### Ⓟにする

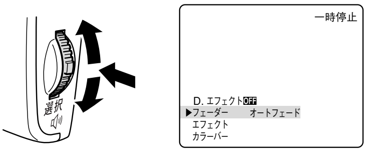



**2** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
### 押す



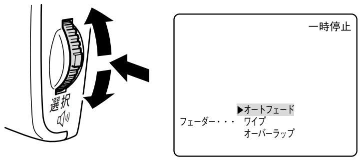

- デジタルエフェクトメニューが出る。

**3** 「フェーダー」を選び、選択/設定ボタンを
### 押す

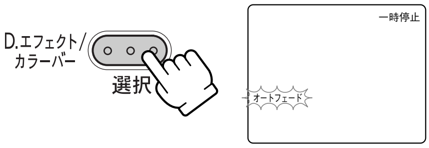



- 選択/設定ボタンをまっすぐ押すと、フェーダーだけの画面になる。

**4** 選択/設定ボタンを上または下に押して
### オートフェードを選ぶ

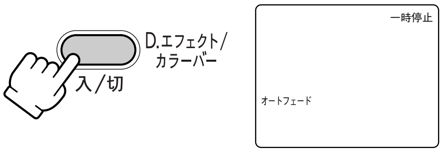



**5** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
### 押す




- メニューが消え、「オートフェード」が点滅する。

**6** D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンを
### 押す




- オートフェードの表示が点灯する。
- D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンをもう一度押すと、オートフェードは解除されます。

**7** **撮影一時停止中**

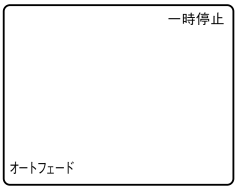
フェードイン：スタート／ストップボタンを押す

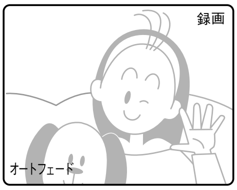
**撮影中**

フェードアウト：スタート／ストップボタンを押す

# 場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト） ー つづき

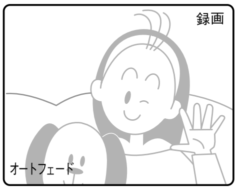
## フェードイン




撮影が始まり、映像が徐々にあらわれる。

## フェードアウト

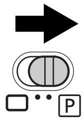


映像が消えて、撮影一時停止中になる。

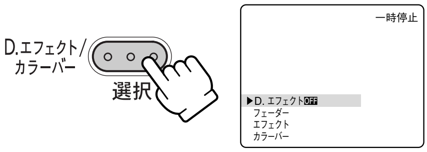
## ワイプ、オーバーラップの操作のしかた

### 撮影一時停止中

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
**Ⓟにする**

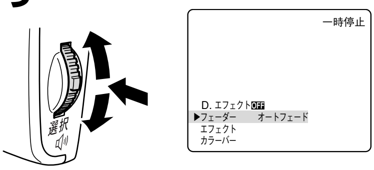



**2** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
**押す**



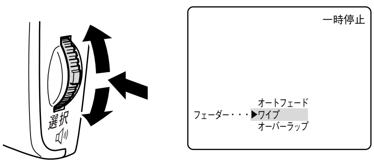

- デジタルエフェクトメニューが出る。

**3** 「フェーダー」を選び、選択/設定ボタンを
**押す**

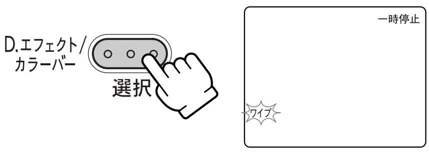



- 選択/設定ボタンをまっすぐ押すと､フェーダーだけの画面になる。

**4** 選択/設定ボタンを上または下に押して
**ワイプまたはオーバーラップを選ぶ**



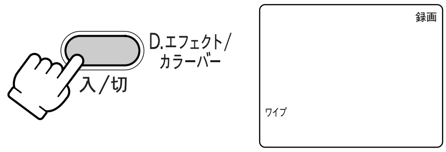

**5** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
**押す**




- メニューが消え､「ワイプ」または「オーバーラップ」が点滅する。

### 撮影中

**1** D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンを
**押す**




- ワイプまたはオーバーラップの表示が点灯する。
- ● D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンをもう一度押すと、解除されます。

**2** スタート/ストップボタンを
**押す**

- 撮影一時停止になる。
- 最後の場面が静止画で記憶される。

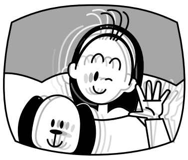
**3** スタート/ストップボタンを
**押す**

- 撮影を再開する。
- 記憶された静止画から、ワイプまたはオーバーラップしながら動画と入れ替わる。
- ●場面によってはなめらかに入れ替わらないことがあります。

## エフェクト

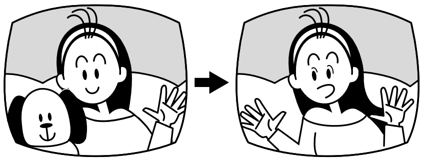
**トレイル**

カメラを動かしたり動きのある被写体では、尾を引いたような残像が出ます。



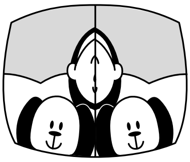
**ストロボモーション**

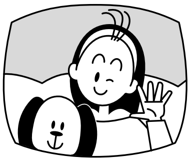
動画をコマ送りのように、連続的に記録します。

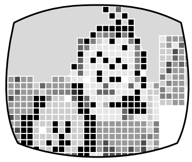


**ミラー**

画面の真中に鏡を立てたようになります。

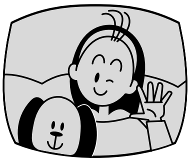






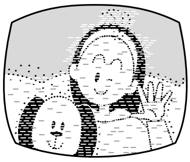
**セピア**

画面がセピアの色調になります。



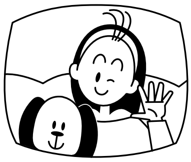
**アート**

映像に絵画調の着色効果を加えます。



**シロクロ**

画面が白黒になります。



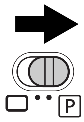
**モザイク**

画面全体がモザイクでおおわれたようになります。

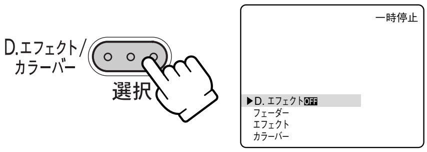
## エフェクトの操作のしかた

●音声はそのまま記録されます。

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
### Ⓟにする

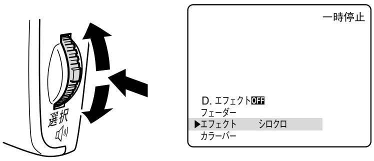


**2** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
### 押す



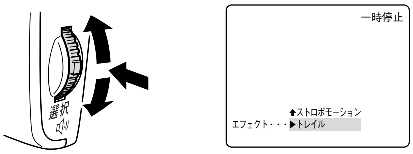

● デジタルエフェクトメニューが出る。

**3** 「エフェクト」を選び、選択/設定ボタンを
### 押す

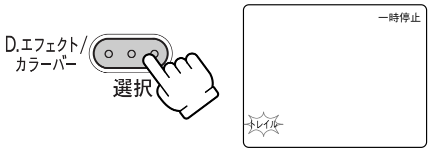



● エフェクトだけの画面になる。

**4** 選択/設定ボタンを上または下に押して
### エフェクトの種類を選ぶ

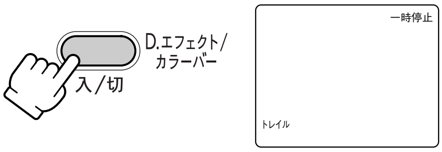



**5** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
### 押す




● メニューが消え、選んだエフェクトが点滅する。

**6** D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンを
### 押す

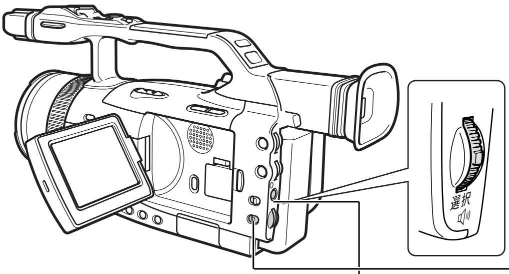



● 選んだエフェクトの表示が点灯に変わり、画面がその効果になる。

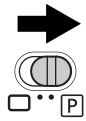
●D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

# カラーバー

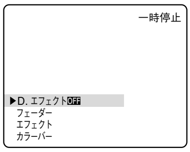
## カラーバーの操作のしかた




**1** 撮影モード切り換えスイッチを
**Ⓟにする**

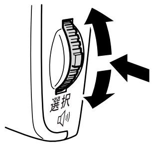


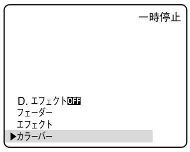

**2** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
**押す**



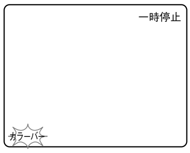

- デジタルエフェクトメニューが出る。

**3**「カラーバー」を選び、選択/設定ボタンを
**押す**

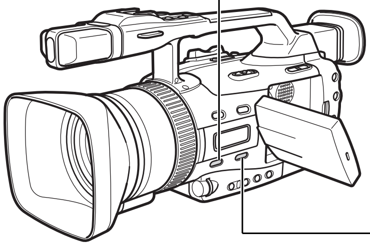



**4** D.エフェクト/カラーバー選択ボタンを
**押す**




- メニューが消え、選んだ「カラーバー」が点滅する。



**5** D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンを
**押す**

- 「カラーバー」表示が点灯に変わり、画面にカラーバーが表示される。

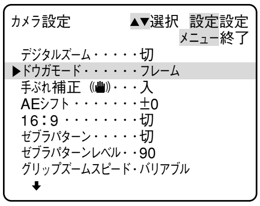
- D.エフェクト/カラーバー入/切ボタンをもう一度押すと、カラーバーは解除されます。

# フレームモードで撮影する

フレーム単位で記録するため、静止画再生時に垂直解像度が向上します。動画としては「コマ落とし」の映像になります。

**フレームモード**

フレームモードで記録すると、静止画再生時に垂直解像度がノーマル記録に比べ1.5倍になります。秒間30コマの連続静止画になりますので、パソコンに入力するときなどに最適です。
また、フィルムのコマ数に近いので、フィルムで撮影しているようなニュアンスを出すこともできます。




ご購入時には、「ノーマル」に設定されています。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ドウガモード」で「フレーム」に設定してください。

▭（全自動）モードではノーマルに固定され、表示は「- - -」になります。

● フレームモードを選んでいるときはデジタルエフェクトのワイプ、オーバーラップ、ストロボモーション、トレイルは使用できません。

撮影編

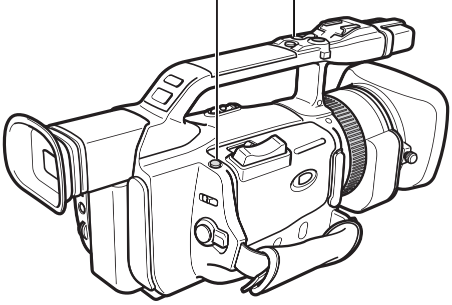
# 静止画撮影（フォト撮影）

フォト撮影では写真を撮るように静止画を撮影できます。パソコンに静止画を取り込んで加工したり、印刷するのに使います。また、旅行先の案内板や地図などの静止画を、場面の導入部に使うと効果的です。また、撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分をフォトサーチ機能で簡単に探し出せます（📖 127）。
本機では、撮影一時停止から静止画撮影する方法と、動画を撮影中に撮影を中断せず静止画撮影する方法の2種類があります。

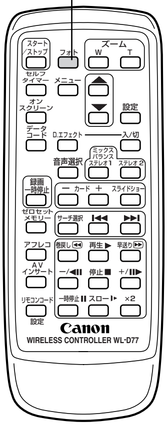
- 静止画1枚の記録時間は約6.5秒です。
- 撮影中の音声はそのまま記録されます。
- 動画撮影と同様に、シャッタースピード、絞り、ゲイン、AEシフトなどをマニュアル調整して撮影できます。

## 撮影一時停止から静止画撮影する

リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐ静止画撮影が始まります。

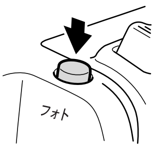


フォトボタン




### 撮影一時停止中

**1** フォトボタンを
**浅く押す**




- ⊙が白色に点滅したあと、ピント調整が終わると緑色の点灯に変わる。
- 露出がロックされます。

#### 静止画撮影時のピントと ⊙ 表示について

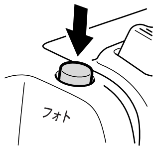
オートフォーカスのとき：

- ピントが合うと ⊙ は白色の点滅から、緑色の点灯に変わります。
- オートフォーカスが苦手な被写体など（📖 70）を撮影していて、白色の点滅のまま変わらないときがあります。このようなときは、オートフォーカスのままマニュアルフォーカスリングを回してピントを合わせてください（ ⊙ は緑色の点灯に変わります）。

マニュアルフォーカスのとき：

- 最初から緑色の点灯になります。マニュアルフォーカスリングでピントを合わせてください。

## 2 フォトボタンを **深く押す**

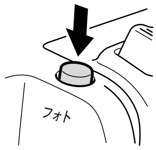



- ○が消える。
- 静止画撮影が始まる。
- 液晶画面／ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

### 動画を撮影中に静止画撮影する

**撮影中**

## 1 フォトボタンを **深く押す**




- 液晶画面／ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

**静止画撮影は**

- 約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。静止画撮影をしている約6.5秒間に電源スイッチを「切」にしても、撮影が終わるまで電源は切れません。
- 液晶画面／ビューファインダーで被写体が確認できる明るさで撮影してください。

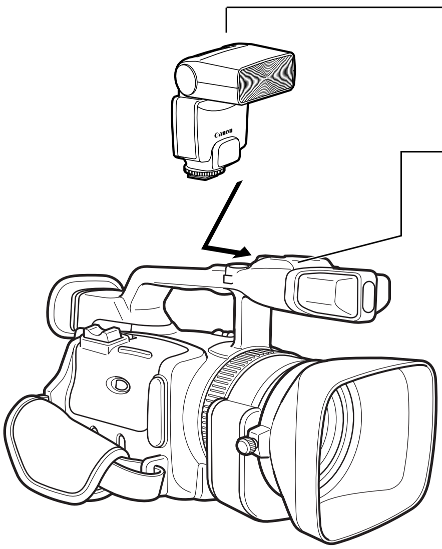
# 別売のストロボを使う

一眼レフカメラキヤノンEOS用のE-TTL自動調光システムに対応したスピードライト220EX／420EX／550EX により、低照度下でより自然で鮮明な静止画撮影ができます。

●スピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。
●カードカメラモードでも使用できます。

## スピードライトの取り付け

※EOS用オフカメラシュー、コネクティングコードは使用できません。
● ストロボを取り付け／取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。



**1** ストロボの取り付け脚部をアクセサリーシューに
**奥まで差し込む**

**2** 締め付けねじで
**固定する**

● 締め付けねじを回すと、ロックピンが出て、固定される。

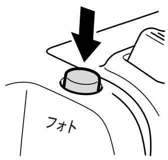
取りはずすときは、締め付けねじを反対方向へ最後まで回し、ロックピンが解除されたのを確認して、本機からはずします。

## 操作のしかた

**1** ビデオカメラの電源スイッチを「カメラ」にし、ストロボの電源を入れる

● ストロボ充電中は白色の ϟ が点滅する。
● 充電が完了すると、ϟ が緑色になり点灯する。
● 白色の ϟ が長時間点滅し続けているときは、ストロボの電池を交換してください。

**2** 本機のフォトボタンを押して
**静止画撮影する**




### 撮影するときは

●必ず充電が完了したのを確認してから撮影してください。充電中でも撮影はできますが、ストロボは発光しません。
●ストロボを使用しないときはストロボの電源を切ってください。
●マニュアルモードと露出ロック時はストロボは発光しません。
●Tvモード時で、ストロボ撮影時に設定可能なシャッタースピードは、カメラモード時：1／60秒〜1／1000秒とCS（クリアスキャン）、カードカメラモード時：1／60秒〜1／500秒です。
●スピードライト420EX／550EXのバウンス機能には対応していません。
●420EX／550EXのワイヤレス多灯ストロボには対応していません。
●スピードライトトランスミッターST-E2と420EX／550EXのワイヤレス制御には対応していません。
●暗い被写体では、本体のフォトボタンを浅く押すとスピードライトのフォーカス用の補助光が発光することがあります（オートフォーカス撮影時）。

# DVコントロール機能

本機のDV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のスタート/ストップボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。
●カメラモードで操作できます。

ご購入時には、「DVコントロール」は「切」に設定されています。
DVコントロール機能を使うときは、メニューの「システム設定」サブメニューで「DVコントロール」を「入」にしてください。

**① 本機が録画一時停止中**
スタート/ストップボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

**② 本機が録画中**
スタート/ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

**③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合**
スタート/ストップボタンを押す
接続した機器：録画と録画一時停止

**④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合**
スタート/ストップボタンを押す

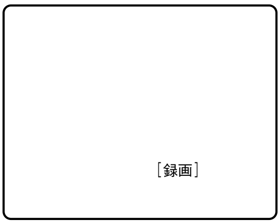
| 本機：録画一時停止<br>接続した機器：録画 | ➡ | 本機：録画<br>接続した機器：録画を継続 |
|---|---|---|

本機と接続した機器が録画中にスタート/ストップボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

●本機と接続した機器が録画中に、本機のスタート/ストップボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
●本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

| | |
|---|---|
| 接続した機器が録画中 | [録画] |
| 接続した機器が録画一停止または停止中 | [停止] |
| 接続した機器が録画、録画の一時停止、停止以外の場合 | [- - -] |

DVコントロール機能が「入」でDV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合
[DV IF ]（DV IFが点滅します）

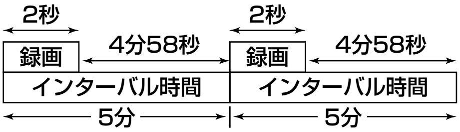



DVコントロール機能では
●DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（コイン型リチウム電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
●XV2を2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるXV2はかならずDVコントロールを「切」にしてください。
●DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め2台までです。
●接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。
●接続できるDVケーブルの長さは4.5mまでです。

# インターバルタイマーによる撮影

インターバルタイマーを使うと一定の間隔をおいて、一定の時間だけ撮影を繰り返します。草花の開花や動物の生態、自然観察などの撮影に便利です。
撮影間隔は30秒、1分、5分、10分の4段階から、撮影時間は0.5秒、1秒、1.5秒、2秒の4段階から選べます。

例：インターバル時間5分、記録時間2秒に設定した場合
（撮影している時間2秒と待機している時間の合計が5分になります）

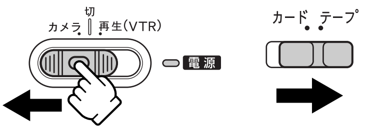



ご購入時には、インターバルタイマーは「切」、撮影間隔は「30秒」、撮影時間は「0.5秒」に設定されています。

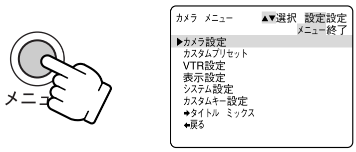
## 操作のしかた

●インターバルタイマーを設定するときはカセットを入れてください。

### 1 電源スイッチを「カメラ」に、テープカード切り換えスイッチを「テープ」にする

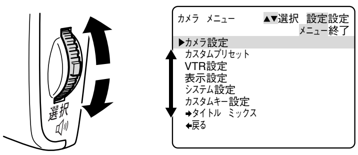



### 2 メニューボタンを押す



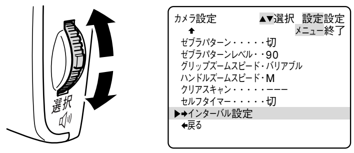

- メインメニューが出る。

### 3 メインメニューから「カメラ設定」を選ぶ



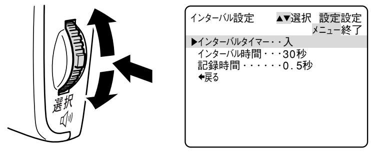

- 「カメラ設定」サブメニューが出る。

### 4 「カメラ設定」サブメニューから「インターバル設定」を選ぶ

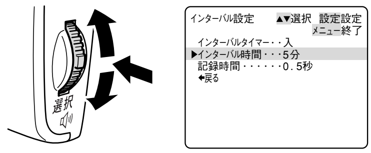



- 「インターバル設定」メニューが出る。

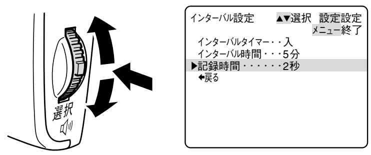
### 5 「インターバルタイマー」を選び、「入」に設定する




### 6 「インターバル時間」を選び撮影間隔を設定する




### 7 「記録時間」を選び記録時間を設定する



## 8 スタート／ストップボタンを押す

- インターバル撮影が始まり、「インターバル」が点灯する。
- 撮影間隔が30秒と1分のときは録画、録画一時停止を繰り返す。
  撮影間隔が5分と10分のときは録画、停止を繰り返す。

### インターバルタイマー撮影を一時停止するとき

スタート／ストップボタンを押す
●撮影が一時停止になり、「インターバル」が点滅する。
●もう一度スタート／ストップボタンを押すとインターバル撮影を再開する。

### インターバルタイマー撮影をやめるとき

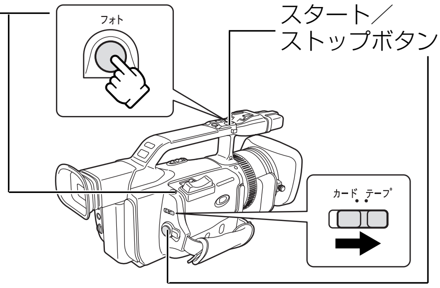
インターバルタイマー撮影を一時停止して、メニューで「切」にする。

●テープの残量表示が出ないことがあります。

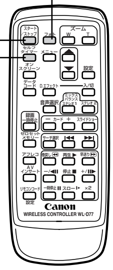
# セルフタイマーで撮る

動画、静止画のどちらでも使用できます。対面撮影などのときに便利です。

フォトボタン
スタート／
ストップボタン




フォトボタン
スタート/ストップボタン
セルフタイマーボタン



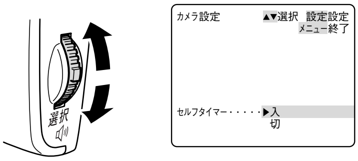

- 本体のスタート／ストップボタン、フォトボタンでは10秒後、リモコンでは2秒後に撮影を開始します。
- ここでは、テープ/カード切り換えスイッチが「テープ」の画面で説明しています。
  メモリーカードに記録するときは154ページを参照してください。

## 動画を撮影するとき

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

**撮影一時停止中**

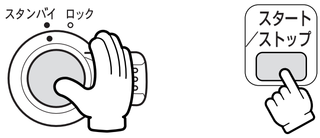
**1** 本体で操作するとき
カメラ設定サブメニューで
### セルフタイマーを「入」にする




**1** リモコンで操作するとき
セルフタイマーボタンを
### 押す

- 「セルフタイマー」の表示が出る。

**2** スタート/ストップボタンを
### 押す



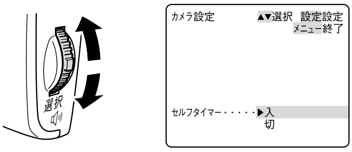

- 撮影開始までの時間が表示され、（10秒〜1秒）、録画ランプが点滅する。

## 静止画を撮影するとき

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

**撮影一時停止中**

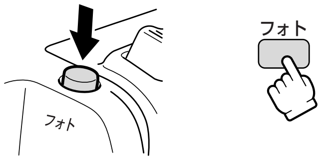
**1** 本体で操作するとき
「カメラ設定」サブメニューで
### セルフタイマーを「入」にする




**1** リモコンで操作するとき
セルフタイマーボタンを
### 押す

- 「セルフタイマー」の表示が出る。

**2** フォトボタンを
### 深く押す




- 撮影開始までの時間が表示され、（10秒〜1秒）、録画ランプが点滅する。
- 本体で操作したときは、撮影開始2秒前に ◘が白色で点滅し、緑色の点灯に変わる。
  リモコンの場合は、すぐに点灯する。撮影開始から約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる（カードカメラモードのときは、撮影している画面になる）

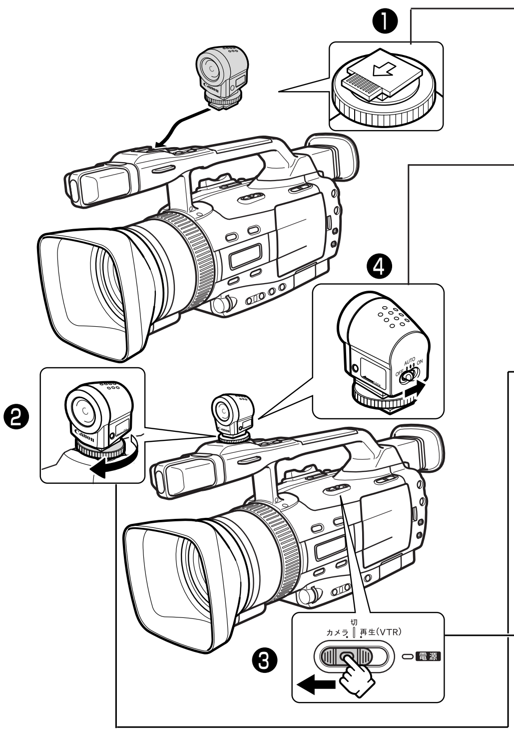
- セルフタイマーの動作を開始する前に解除するときは、セルフタイマーボタンを押してください。
- 撮影開始までの時間が表示されている間にセルフタイマーを解除するときは、スタート／ストップボタン（動画のとき）、フォトボタン（静止画のとき）、またはリモコンのセルフタイマーボタンを押してください。
- メニューで「おしらせブザー」が「入」のときは、撮影開始までブザーが鳴ります。

# 別売のビデオライトVL-3を使う

暗い室内などで撮影するときは、別売のビデオライトVL-3を本機のアドバンストアクセサリーシューに取り付けて使用すると、きれいに撮影できます。ビデオライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

## ビデオライトの取り付けかた

● ビデオライトを取り付け/取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。




**1** ビデオライトをアクセサリーシューに
**カチッと音がするまで差し込む**

**2** 締め付けねじで
**固定する**

● 締め付けねじを回しているときに、ビデオライトが抜けないように注意してください。

**3** ビデオカメラの電源スイッチを
**「カメラ」にする**

**4** ビデオライトの電源スイッチを
**「OFF」以外にする**

- 「 C (CONNECTION＝接続)」の表示が出る。
- ON：ビデオライトが点灯する。
- AUTO：暗くなると自動的に点灯し、明るくなると自動的に消灯する。
- 撮影モードがマニュアルのときは、撮影モードをマニュアルにする直前の状態のままで(消灯しているときは、消灯のまま)、自動的に点灯､消灯しません。

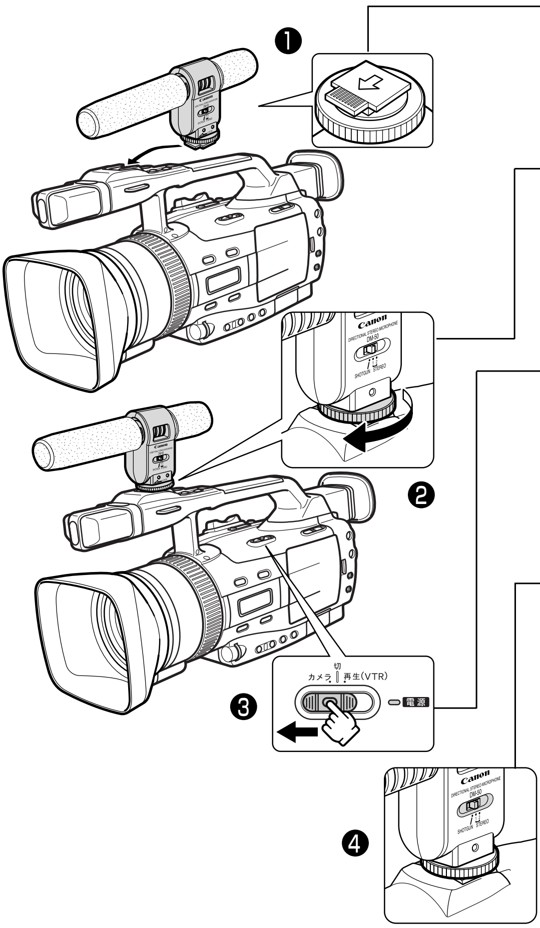
● ビデオライトの点灯中や消灯直後は、ランプの周辺は高温になっていますので、燃えやすいものを置いたり、手でさわったりしないでください。
● ビデオライトの点灯中、ランプを直接見ないでください。
● ビデオライトを取り付けたときに、ライトを持って本機を持ち運ばないでください。

# 別売のマイクDM-50を使う

本機のアドバンストアクセサリーシューに、別売の指向性　ステレオマイクロホンDM-50を取り付けると、撮影時だけでなく、アフレコをするときも効果的な録音ができます。
指向性　ステレオマイクロホンの使用説明書もあわせてご覧ください。

## マイクの取り付けかた

●マイクを取り付け/取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。




**1** マイクをアクセサリーシューに
**カチッと音がするまで差し込む**

**2** 締め付けねじで
**固定する**

●締め付けねじを回しているときに、マイクが抜けないように注意してください。

**3** ビデオカメラの電源スイッチを
**「カメラ」にする**

●「 C (CONNECTION＝接続)」の表示が出る。

**4** マイクの切り換えスイッチを
**切り換える**

● SHOTGUN（ショットガン）：正面の音を明瞭に録音する（モノラル記録）
● ステレオ1：正面の音と周囲の音を適度に録音する。
● ステレオ2：ステレオ1より広く周囲の音を録音する。

● 本機にDM-50を接続しているときは、マイク端子に他のマイクを接続しないでください。
● マイクを取り付けたときに、マイクを持って本機を持ち運ばないでください。

### 市販のマイクをマイク端子で使うときは

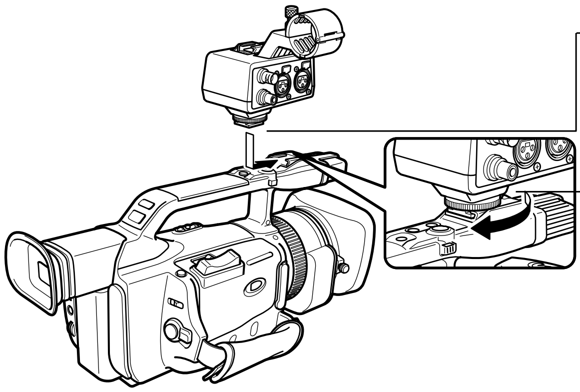
●電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をお使いください。
端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクが接続可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
●長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。

# 別売のマイクロホンアダプターMA-300を使う

本機のアドバンスアクセサリーシューに、別売のマイクロホンアダプターMA-300を取り付けると、音声をXLRタイプコネクターで入力でき、また、映像信号をBNCコネクターに変換できます。
● マイクロホン取り付け部には、市販の直径25mm以下のマイクが取り付けられます。

## マイクロホンアダプターの取り付けかた

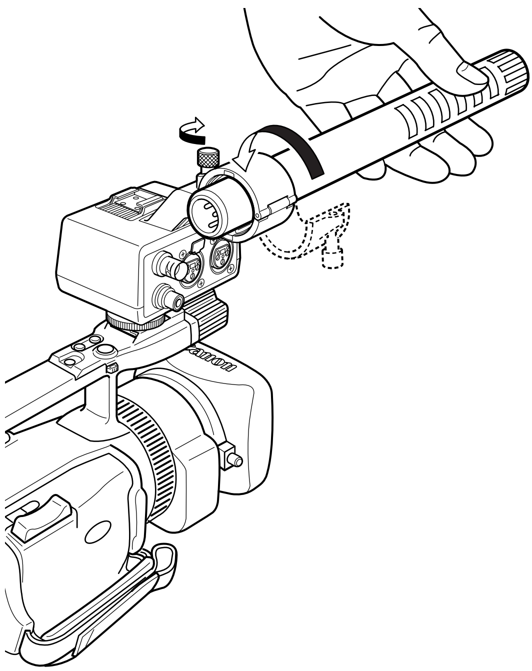
● マイクロホンアダプターを取り付け/取りはずしするときは、ビデオカメラの電源を切ってください。



**1** マイクロホンアダプターをアクセサリーシューに
**カチッと音がするまで差し込む**

**2** 締め付けねじで
**固定する**

## マイクロホンの取り付けかた



**1 マイクロホン固定ねじをゆるめ、マイクロホン取り付け部を開く**

**2 マイクロホンを取り付け部に置き、固定ねじを締める**

● マイクロホンが画面に映らない位置にマイクロホンを固定してください。

**3 マイクロホンをマイクロホンアダプターの音声入力端子に接続する**

**4 ビデオカメラの電源を入れる**

● 撮影または撮影一時停止中に、液晶画面またはビューファインダーの画面下に「C (CONNECTION)」がでる。

● ビデオカメラの内蔵マイクは、自動的に「切」になります。
● アクセサリーシューはカメラシューホルダーに取り付けたマイクロホン専用です。
● 映像信号をBNCコネクターを使って、出力するときは、マイクロホンアダプターMA-300付属の映像用ケーブルをVIDEO IN端子と本体のAV端子を接続してください。

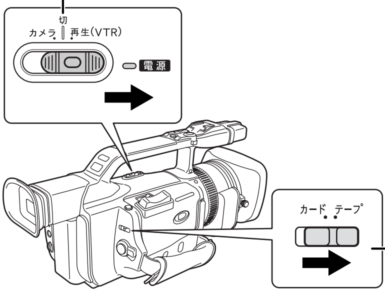
# 再生する

撮影したテープを液晶画面で見ます。ビューファインダーでも見ることができます。再生するときには、内蔵のスピーカーで音声を聞くことができ、音量も調整できます（🕮 122）。

●内蔵スピーカーでは音声はモノラルになります。（市販のヘッドホンを使用すると、ステレオで音声を確認できます。）（🕮 122）

**再生画面がおかしいときは**

● ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

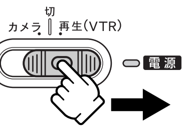



**準備**

●バッテリーパックなどの電源を取り付ける。

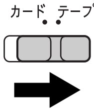
●カセットを入れる。

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**再生（VTR）にする**

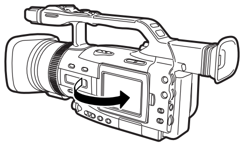



● 電源ランプが緑色に点灯する。

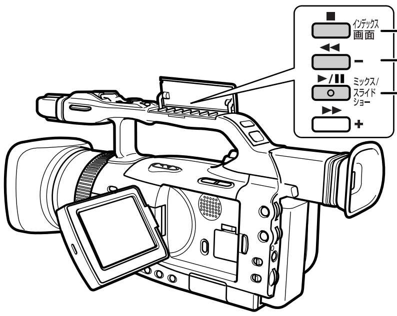
**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**



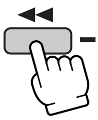

**3** OPENボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に
**調整する**



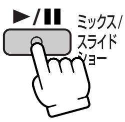
● 液晶画面を外側に向けて本体に収納することができます。




**4** カバーを開け、巻き戻しボタンを
**押す**

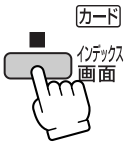


**5** 再生ボタンを
**押す**




● 再生する。
● 液晶画面に再生画面が出る

**6** 停止ボタンを
**押す**




● 再生を終える。

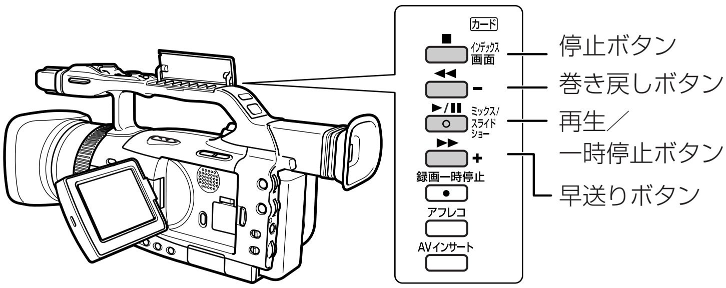
●再生画面は液晶画面を閉じると、ビューファインダーで見ることができます（内蔵スピーカーの音声は切れます）。

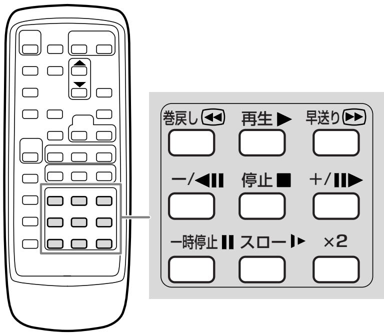
●再生時に撮影したときの日付/時刻を表示する場合は、129ページをご覧ください。

# 再生する ー つづき

## 特殊再生

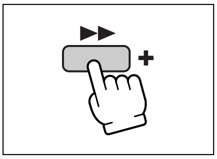
特殊再生時には、音声は聞こえません。



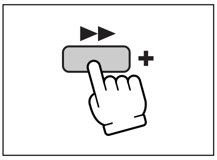

**早送り再生：**押している間だけ約9.5倍の早送り再生になります。

再生中



早送りボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

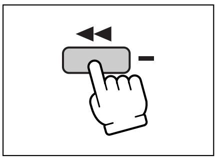
早送り中



早送りボタンを押し続ける。離すと、早送りに戻る。

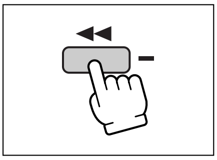
**巻戻し再生：**押している間だけ約9.5倍の巻き戻し再生になります。

再生中



巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

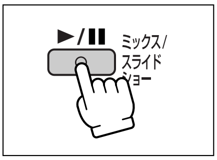
巻き戻し中



巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、巻き戻しに戻る。

**再生一時停止（静止画再生）**

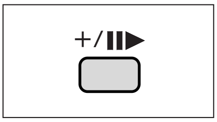
再生中




一時停止ボタンを押す。もう一度押すと、ふつうの再生に戻る。

**正方向コマ送り**

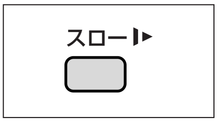
静止画再生中




+/II▶ ボタンを押す。
押すたびに1コマずつ送られる。
押し続けると、連続コマ送りになる。

### 正方向スロー再生

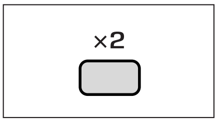
再生中




スローボタンを押す。通常の約1/3のスロー再生になる。再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

### 正方向2倍速再生

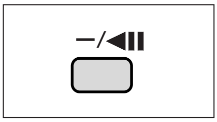
再生中




×2ボタンを押す。
再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

### 逆方向再生

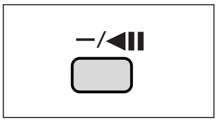
再生中




−/◀II ボタンを押す。再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

### 逆方向コマ送り

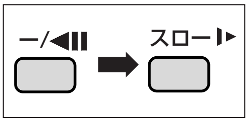
静止画再生中




−/◀II ボタンを押す。
押すたびに1コマずつ逆方向に送られる。
押し続けると、連続コマ送りになる。

### 逆方向スロー再生

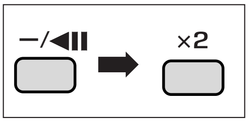
再生中




−/◀II ボタンを押し、スローボタンを押す。
通常の約1／3の逆方向スロー再生になる。
再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

### 逆方向2倍速再生

再生中



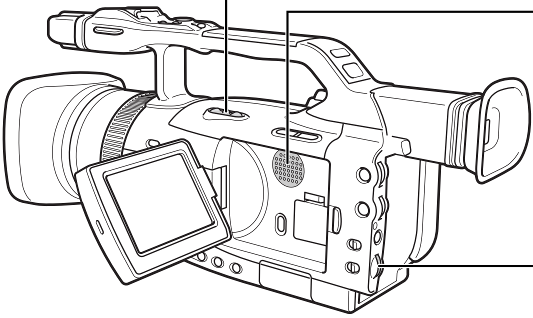

−/◀II ボタンを押し、×2ボタンを押す。
再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

- 一部の特殊再生では、画面が多少乱れることがあります。
- 静止画再生が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。再生するときはもう一度再生ボタンを押します。

# 内蔵スピーカー/ヘッドホンの音量を調整する

撮影したテープを液晶画面で見るときに、同時に内蔵スピーカーで音声も再生できます。ヘッドホンを接続したときは、ヘッドホンの音量も調整できます。

● ビューファインダーを使用しているときは、ヘッドホンで音声の確認ができます（液晶画面を閉じると内蔵スピーカーの音声は切れます）。



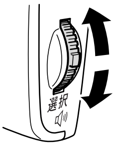

## 操作のしかた

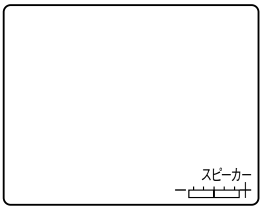
● ヘッドホンを接続しているときは、ヘッドホンの音量調整になります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

撮影中または再生中

**1** 選択/設定ボタンを
**上または下に押す**




- 音量を示す表示が出る（約4秒後に表示は消える）。

● 調整した音量は、電源を切っても記憶しています（スピーカーとヘッドホンは別々に記憶します）。

● ヘッドホンの音量調整は、カメラモード、VTRモードで同じ音量になります。

**内蔵スピーカーやヘッドホンの出力を切る**

スピーカーやヘッドホンの出力を切ることができます。選択/設定ボタンを下に押し続けて、音量表示のバーのところに「切」の表示を出すと、スピーカー、ヘッドホンの出力は切れます。

戻すときは、選択/設定ボタンを上に押してください。

● ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーの音声は切れます。

● 大きな音で再生すると、画面にノイズが出る場合があります。画面にノイズが出たときは、音を小さくしてください。

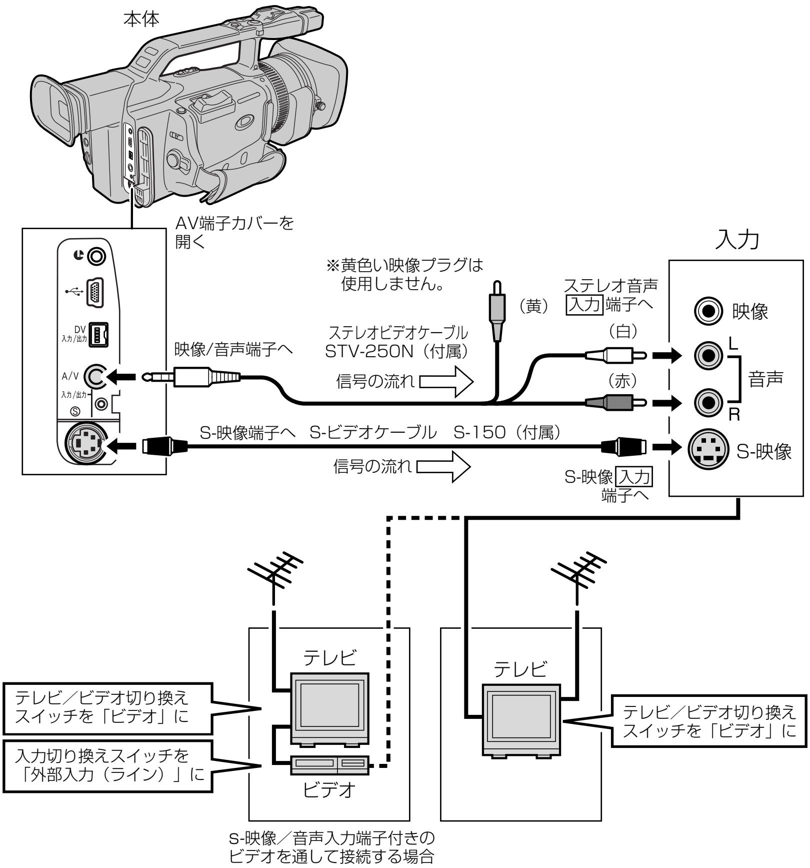
# テレビで見る

コンパクトパワーアダプターと電源カプラーを使用して、AC電源を電源とすることをおすすめします。
接続は各機器の電源を切って行ってください。

## 接続のしかた

### S-映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る（ステレオ）

S-ビデオケーブルS-150、ステレオビデオケーブルSTV-250Nを使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※黄色い映像プラグは使用しません。




**テレビについて**
再生時には、S-映像端子のついたテレビをおすすめします。DV方式の持つ高画質が十分にお楽しみいただけます。

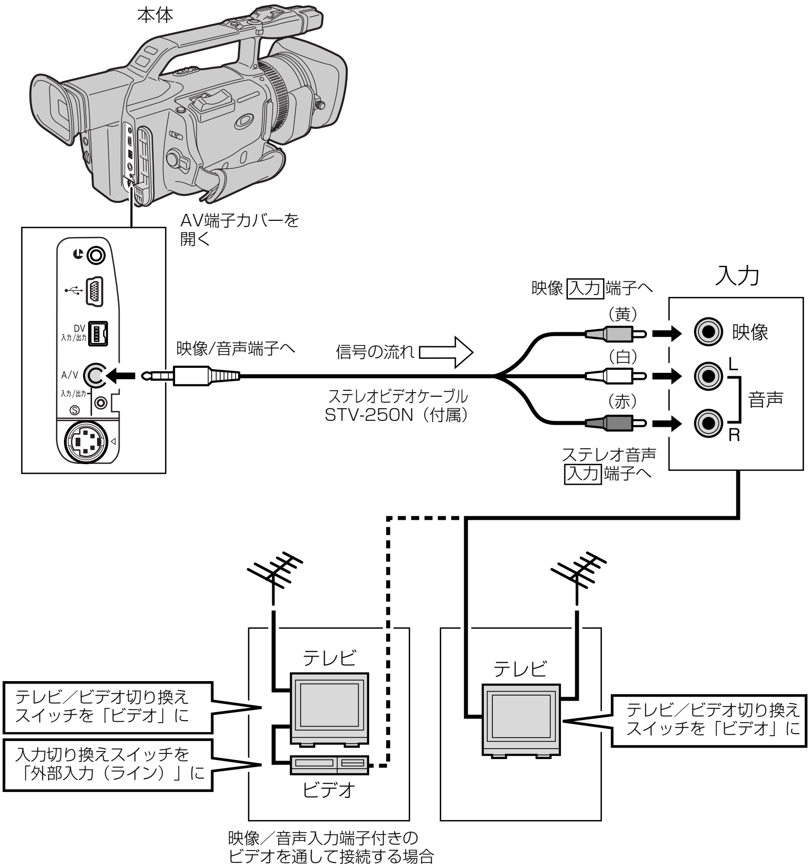
**S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
● 本機のワイドテレビ用「16：9」機能（36ページ）で撮影した画像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子付きのテレビにつないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

**ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
● 本機のワイドテレビ用「16：9」機能（36ページ）で撮影した画像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

# テレビで見る ー つづき

## 映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る（ステレオ）

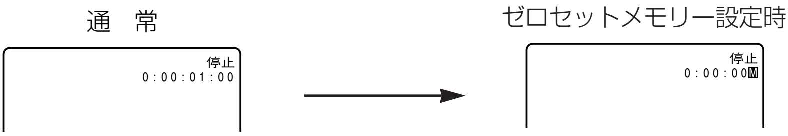
ステレオビデオケーブルSTV-250Nを使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※S-映像プラグは使用しません。



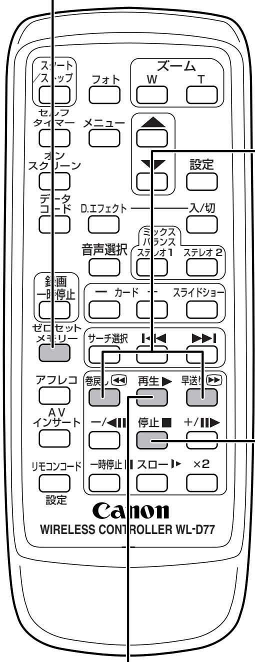
# 見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう1度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻き戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。

● ゼロセットメモリーは、カメラモードでも設定できます。




## 操作のしかた




**1** 再生中にあとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを

**押す**

- カウンター表示が「0：00：00」になり、M 表示が出る。
- ゼロセットメモリーボタンをもう1回押すと、ゼロセットメモリーが解除される。

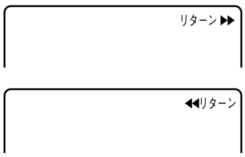
**2** 再生が終わったら、停止 ■ ボタンを

**押す**

**3** 巻き戻し REW ⏪ ボタンまたは早送り FF ⏩ ボタンを

**押す**

- カウンター表示に「−」がついていないときは巻き戻しボタンを、「−」がついているときは早送りボタンを押す。




- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止し、カウンター表示がタイムコードにもどり、M が消える。

**4** 再生 ▶ ボタンを

**押す**

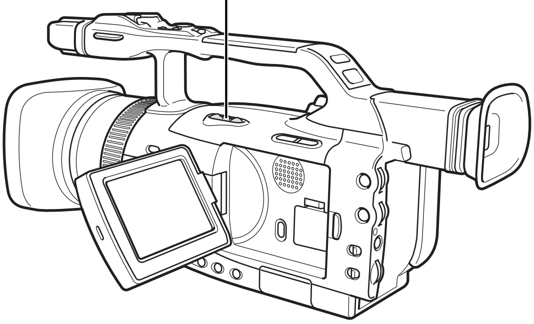
**ゼロセットメモリー機能は**

- カウンター表示は、タイムコード（撮影時間表示）とテープカウンターで多少の誤差が出ることがあります。
- タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
- カセットを取り出すと、ゼロセットメモリーが解除され、カウンター表示がタイムコードに戻ります。

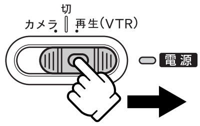
# 任意の場所をすばやく探す（インデックスサーチ）

インデックス信号を記録した場面をすばやく探し出せます。
●インデックス記録のしかたについては94ページをご覧ください。

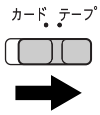
## 操作のしかた



**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**再生（VTR）にする**

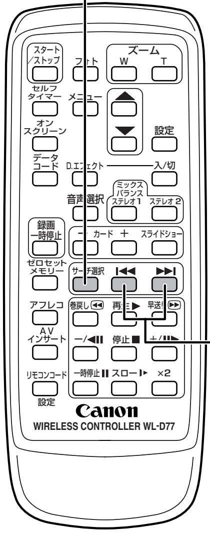



**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**




**3** リモコンのサーチ選択ボタンで
**インデックスサーチを選択する**

- 「インデックスサーチ」の文字が出る。




**4** リモコンの ⏮ または ⏭ を
**押す**

- インデックスサーチでは ⏭ は正方向、⏮ は逆方向のサーチになる。
- 押した数だけ前/後ろのインデックス（最多10）の頭出しになる。
- インデックスが見つかると再生が始まる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏮ または ⏭ を押す。

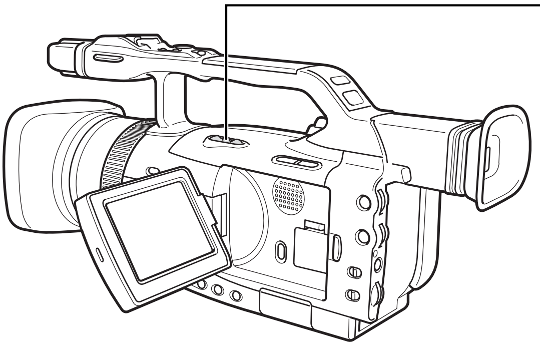
**インデックスサーチを行うときは**

● インデックスサーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。

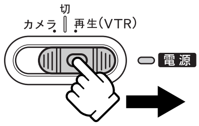
# 静止画を探す（フォトサーチ）

静止画だけを探し出せます。また、撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分を簡単に探し出せます。

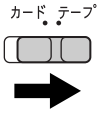
## 操作のしかた



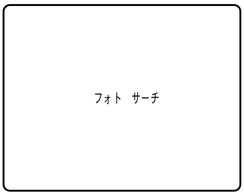
**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
### 再生（VTR）にする



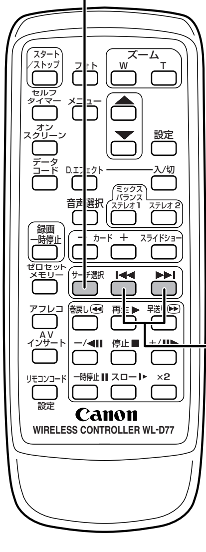

**2** テープ/カード切り換えスイッチを
### 「テープ」にする




**3** リモコンのサーチ選択ボタンで
### フォトサーチを選択する




- 「フォトサーチ」の文字が出る。




**4** リモコンの ⏮ または ⏭ を
### 押す

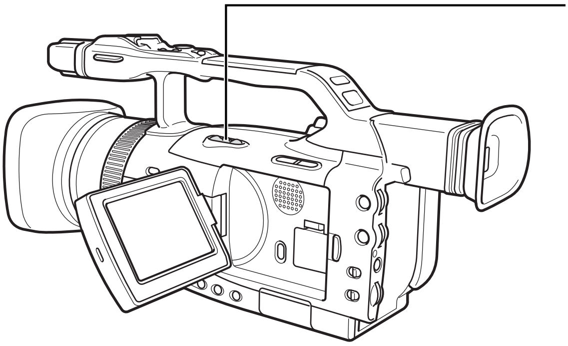
- フォトサーチでは ⏭ は正方向、⏮ は逆方向のサーチになる。
- 押した数だけ前/後ろの静止画（最多10）の頭出しになる。
- 静止画が見つかると再生一時停止になる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏮ または ⏭ を押す。

● サーチを始めた部分のすぐ近くの静止画は頭出しされないことがあります。

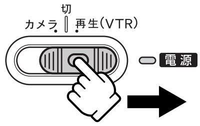
# 撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（129ページ）を使って撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。

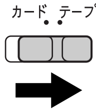
## 操作のしかた



**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**再生（VTR）にする**

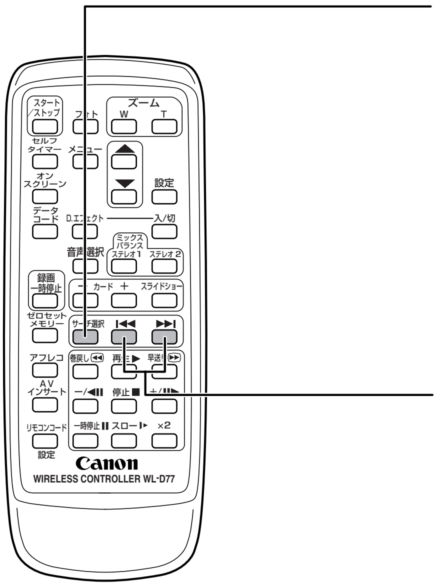



**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**




**3** リモコンのサーチ選択ボタンで
**日付サーチを選択する**

- 「日付サーチ」の文字が出る。




**4** リモコンの ⏮ または ⏭ を
**押す**

- 日付サーチでは、日付をさかのぼるときは ⏮ を、日付を進めるときは ⏭ を押す。
- 押した数だけ前/後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになる。
- 日付の変わり目が見つかると再生が始まる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏭ または ⏮ を押す。

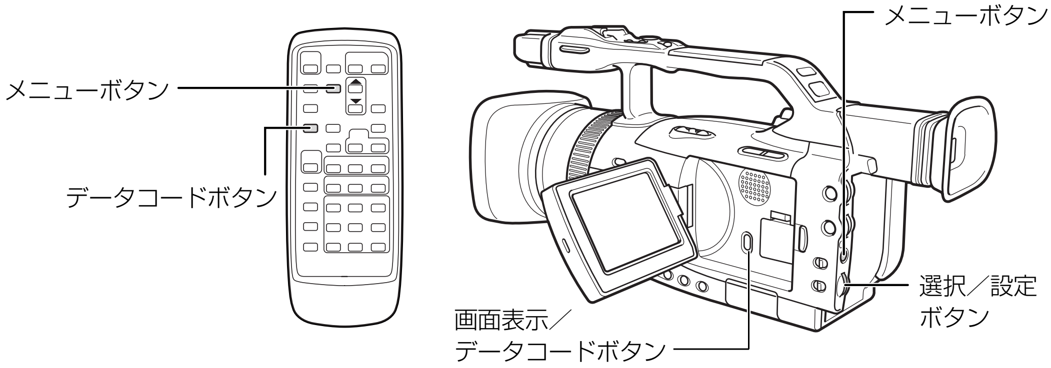
**日付サーチを行うときは**

- 1日/1エリアあたり約1分以上の記録部分が必要です。
- 日付サーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。
- データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

# 再生時の日時、カメラデータを表示する（データコード）

あらかじめ日付と時刻を設定しておくと、撮影している映像とは別に、撮影時の日付/時刻を自動的に記録します。また、撮影時のシャッタースピード、絞り値（F値）とゲインも同様に記録します（これをカメラデータと呼びます）。本機ではカメラデータと日付/時刻を合わせてデータコードと呼びます。
テープを再生するときに、撮影時の日付/時刻、カメラデータを自由に表示できます。

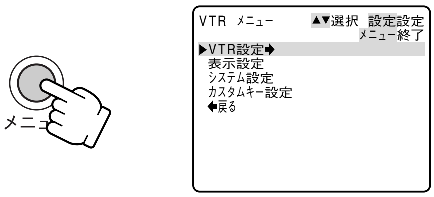
● 本機で撮影したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したときにはデータコードが表示できないことがあります。データコードは、正方向再生、逆方向再生*、2倍速再生（正逆両方向）*、スロー再生（正逆両方向）、静止画再生（正逆両方向）、早送り再生*、巻き戻し再生*中に表示します。
ただし、カメラデータは＊マークのついた動作中はまれに「- - -」になることがあります。




カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

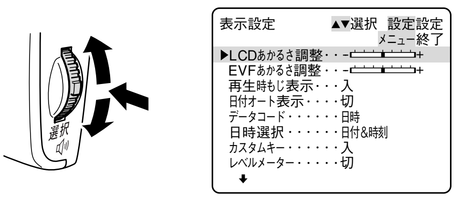
●ここでは再生（VTR）モードの画面で説明しています。

## 1 メニューボタンを **押す**




● メインメニューが出る。

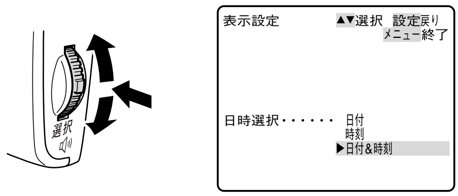
## 2 メインメニューから **「表示設定」を選ぶ**




●「表示設定」サブメニューが出る。

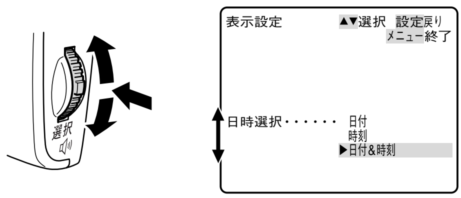
### 日時の表示のしかたを選ぶ

## 3 「表示設定」サブメニューから **「日時選択」を選ぶ**




●「日時選択」だけの表示になる。

## 4 日時の表示内容を **選ぶ**

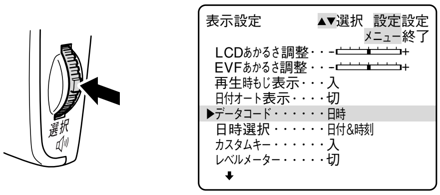



再生編

# 再生時の日時、カメラデータを表示する (データコード) ー つづき

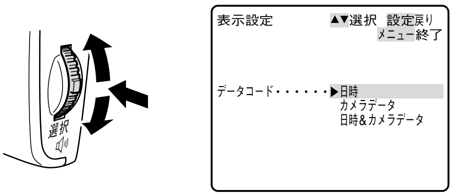
**データコードの表示内容を選ぶ**

## 5 設定する



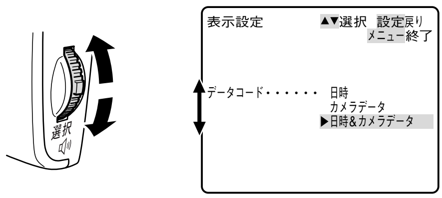

● 「表示設定」サブメニューに戻る。

## 6 「表示設定」サブメニューから「データコード」を選ぶ

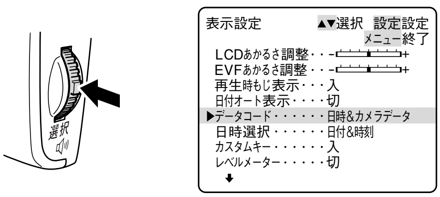



● データコードだけの表示になる。

## 7 データコードの表示内容を選ぶ

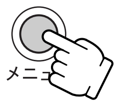



## 8 設定する



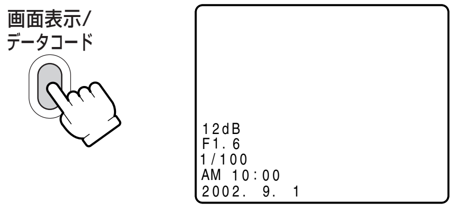

● サブメニューに戻る。

## 9 メニューボタンを押す




● メニュー表示が消える。

## 10 再生中　データコードボタンを押す




● データコード表示が出る。

## データコード表示について

● メニューで設定する「日時選択」と「データコード」の内容により、データコードの表示内容は変わります。

「データコード」の設定

| 「日時選択」の設定 | | 「日時」 | 「カメラデータ」 | 「日時＆カメラデータ」 |
|---|---|---|---|---|
| | 「日付」 | 2002. 9. 1 | 12dB<br>F1.6<br>1/100 | 12dB<br>F1.6<br>1/100<br>2002. 9. 1 |
| | 「時刻」 | AM 10:00:00 | 12dB<br>F1.6<br>1/100 | 12dB<br>F1.6<br>1/100<br>AM 10:00:00 |
| | 「日付＆時刻」 | AM 10:00<br>2002. 9. 1 | 12dB<br>F1.6<br>1/100 | 12dB<br>F1.6<br>1/100<br>AM 10:00<br>2002. 9. 1 |

●カード再生（VTR）モードでは「日時」のみ表示します。

# ビデオデッキなどへ録画する

本機を再生機として、ビデオデッキなどのビデオ機器を録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング・編集できます。録画側のビデオ機器は、どの方式でも使えます。
また、録画側のビデオ機器がDV端子付きの場合は、デジタル信号のまま、画質や音質の劣化がほとんどないダビング編集ができます。

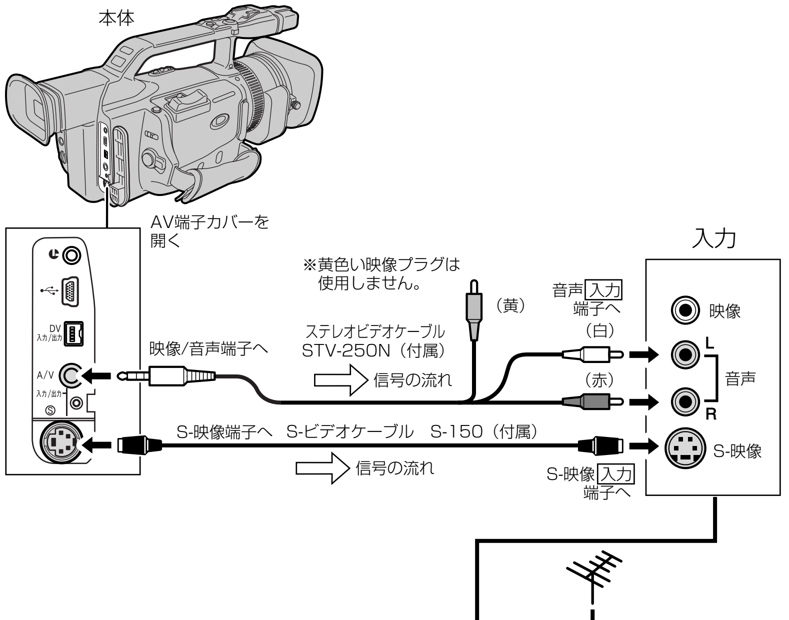
## 接続のしかた

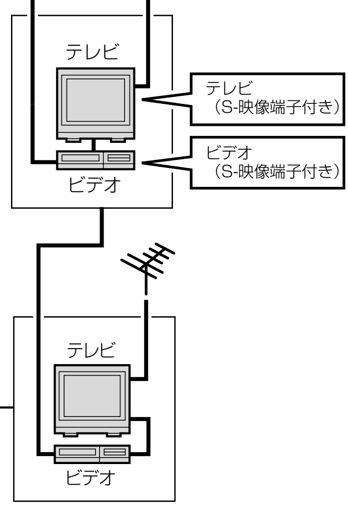
### S(S1*)-映像端子付きビデオへ録画する

＊S1映像端子（🕮 123）

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

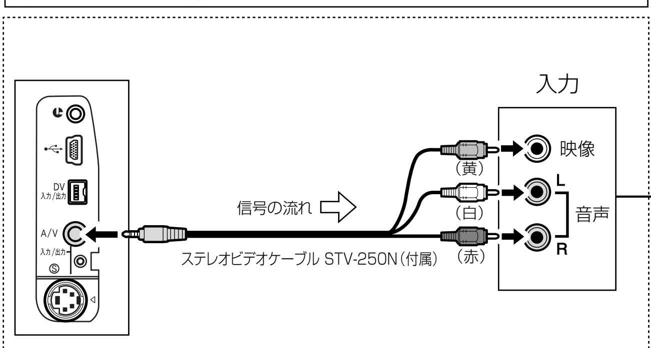
※黄色い映像プラグは使用しません。




### 映像／音声端子付きビデオへ録画する

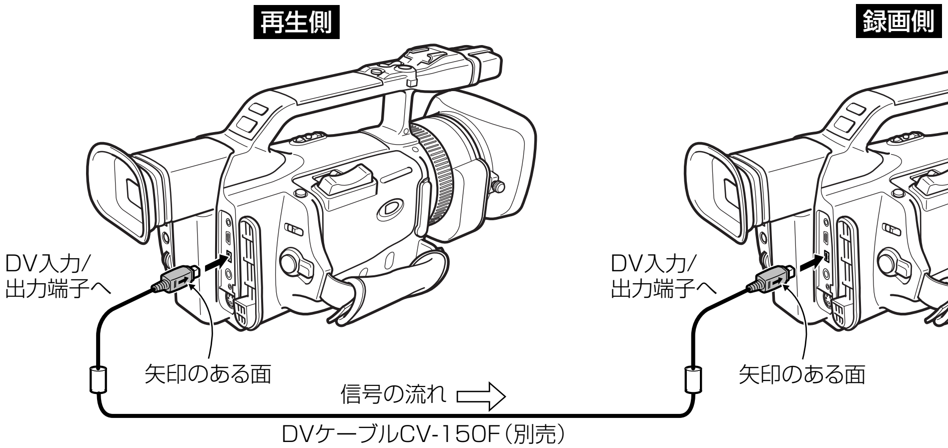
接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



## DV端子付きビデオ機器へ録画する

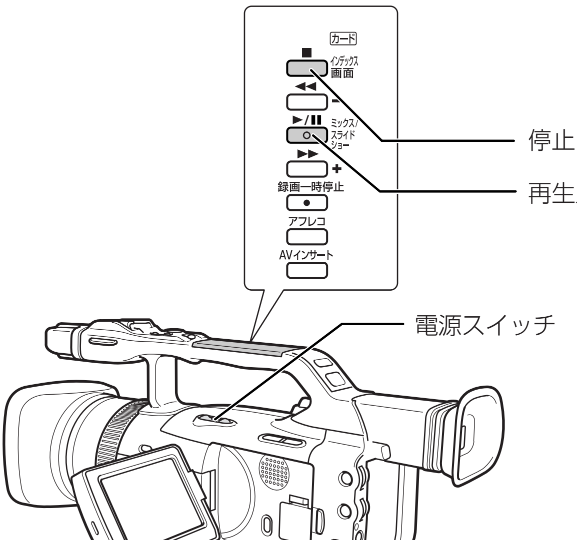
本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

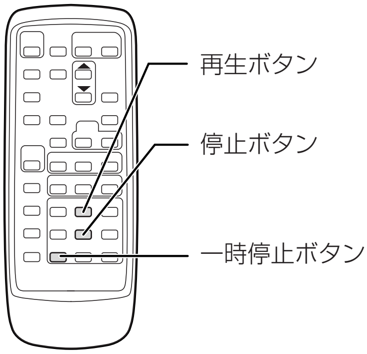
- DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。
- 機器によっては録画できないものがあります。




- 再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。





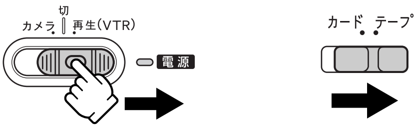



# ビデオデッキなどへ録画する ― つづき

## 接続のしかた

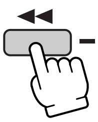
### 本機 再生機 の操作

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを再生（VTR）に、テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**

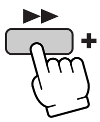



● 再生するカセットを入れる。

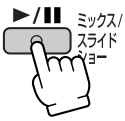
**2** 巻き戻しボタンまたは早送りボタンを
**押して、**
再生を始める少し手前の位置を探す



または



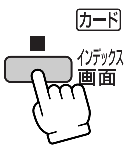
**3** 再生／一時停止ボタンを
**押す**




● 再生が始まる。

**再生**

**4** 停止ボタンを
**押す**




● 再生が終わる。

### ビデオデッキまたはDV端子付きビデオ機器 録画機 の操作

**1** 録画用のカセットを入れる

**2** 録画一時停止状態にする

**3** 録画を開始する場面で録画を始める

**録画**

**4** 録画を終える

**ダビング編集すると**

● DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣ります。

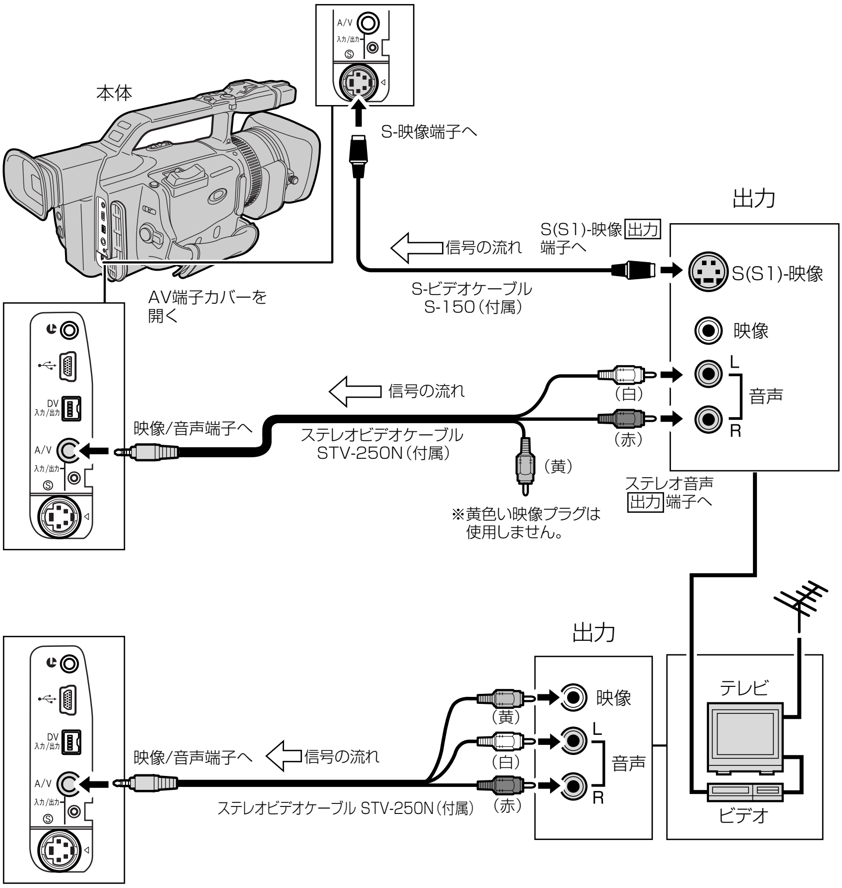
# ほかのビデオ機器やテレビの画像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオ機器の画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。
テレビやビデオ機器から出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープでは、ダビング録画できません。

## 接続のしかた

### S(S1)-映像端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



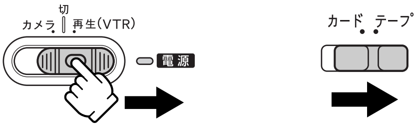

編集編

# ほかのビデオ機器やテレビの画像を録画する（アナログ入力）ー つづき

## 操作のしかた

### 本機 録画機 の操作

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを再生（VTR）に、テープ／カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**

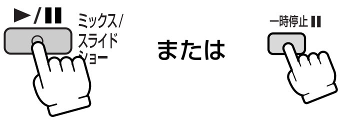



● 録画用のカセットを入れる。

**2** 録画一時停止ボタンを
**押す**

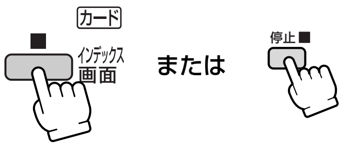
● 録画一時停止になる。
●録画一時停止中、録画中は液晶画面/ビューファインダーで映像の確認ができます。

**3** 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
**押す**



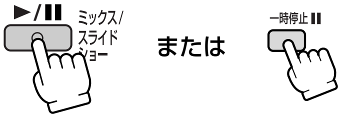

**4** 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
**押す**

**録画を終えるとき**




● 録画が終わる。

**一時停止するとき**

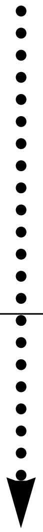



● 録画を再開するときはもう1回押す。

### 再生機 の操作

**1** 再生するカセットを入れる

**2** 再生を始める

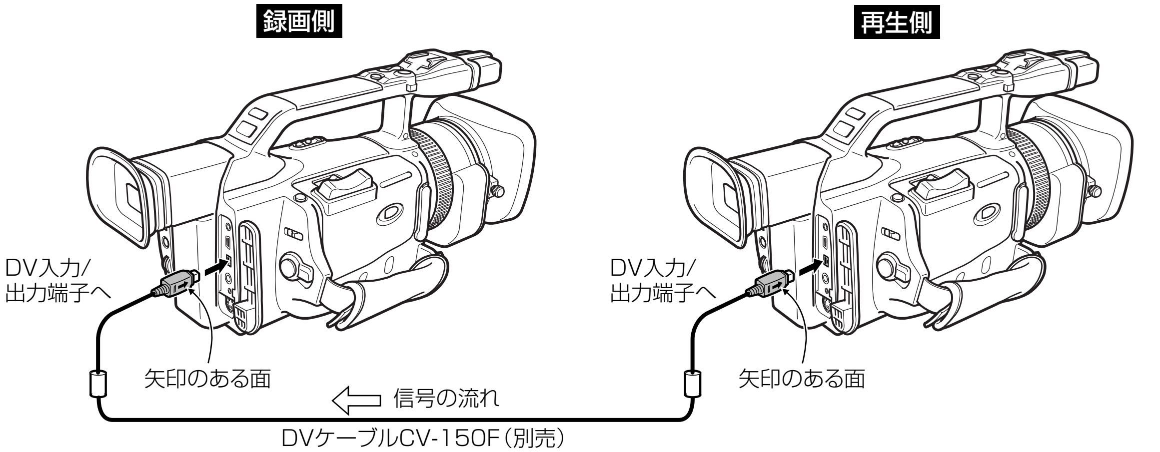


**3** **再生**

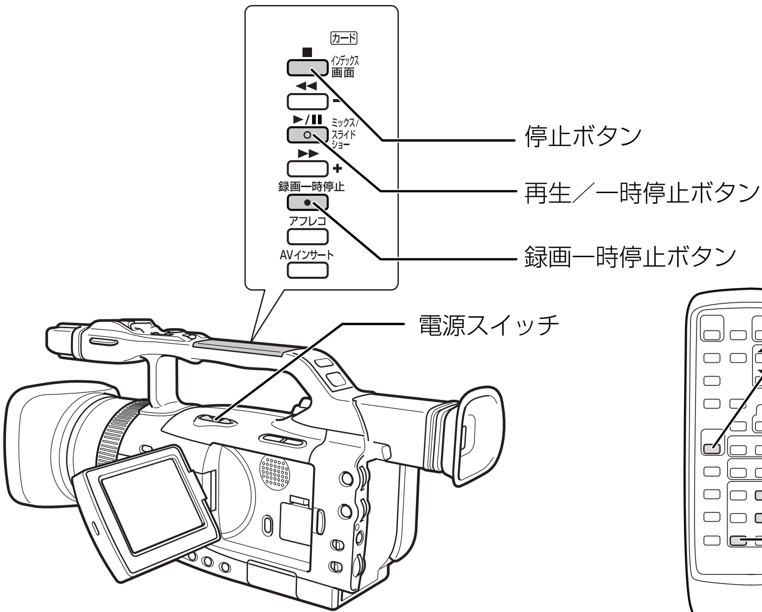
**4** 再生を終える

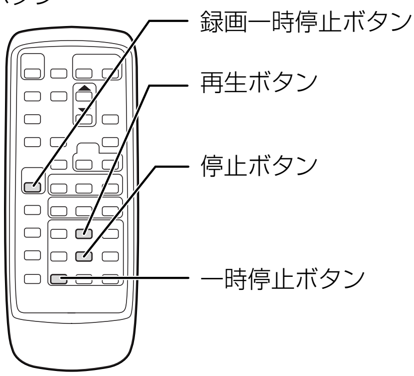
# DV端子付きビデオ機器から録画する

本機と、DV端子を持つビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
ビデオ機器から出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープなどでは、ダビング録画できません。
●2倍録画、3倍録画モードで記録されたテープでは、ダビング録画できません。




●DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
●DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。
●再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
●DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。




編集編

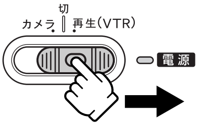
# DV端子付きビデオ機器から録画する – つづき

## 本機を録画機として使用する場合

### 操作のしかた

#### 本機 録画機 の操作

**1** 電源スイッチを
**再生(VTR)にする**



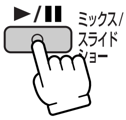

- 録画用のカセットを入れる。
- DV端子付きビデオ機器とDVケーブルで接続されると液晶画面/ビューファインダーに「DV入力」の表示が出る。

**2** 録画一時停止ボタンを
**押す**

または

- 録画一時停止になる。
- 録画一時停止中、録画中は液晶画面/ビューファインダーで映像の確認ができます。

**3** 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
**押す**

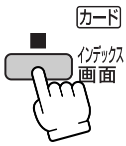



または

- 録画が始まる。

**4** 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
**押す**

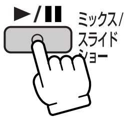
録画を終えるとき




または

- 録画が終わる。

一時停止するとき




または

- 録画を再開するときはもう1回押す。

#### 再生機 の操作

**1** 再生するカセットを入れる

**2** 再生を始める

**3** **再生**

**4** 再生を終える

# アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する（アナログーデジタル変換機能）

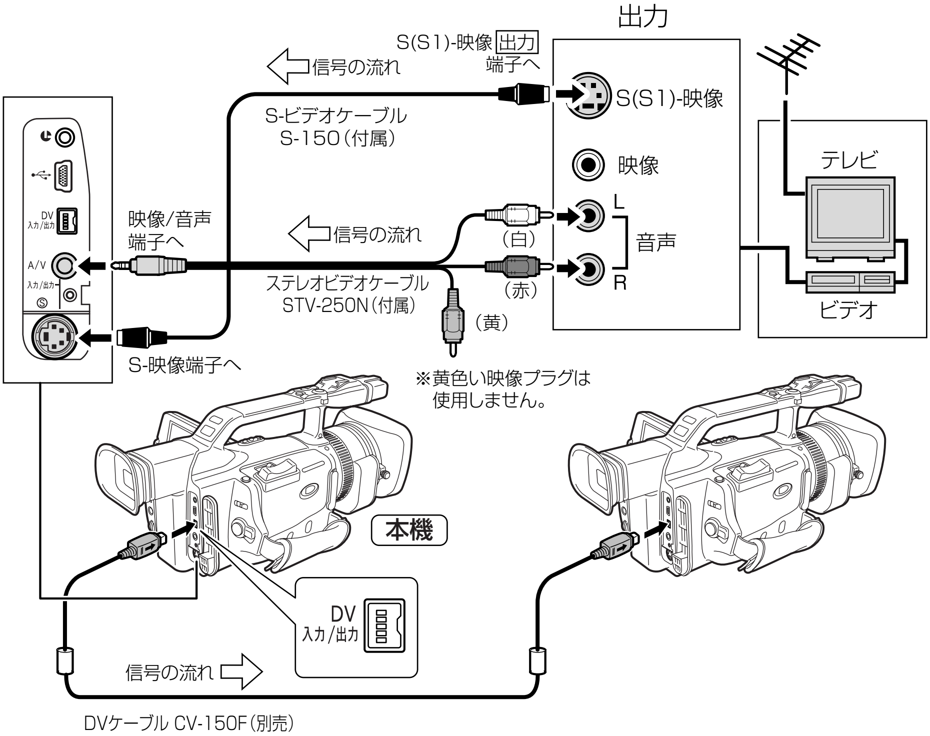
本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用の端子になります。

- 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
  例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
- コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- DVテープは、本機から取り出しておいてください。
- 接続は、各機器の電源を切って行ってください。
- 接続する他の機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

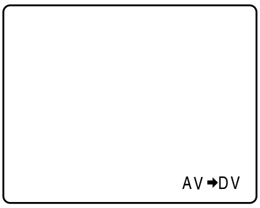
## 接続のしかた

### S(S1)-映像端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。




カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

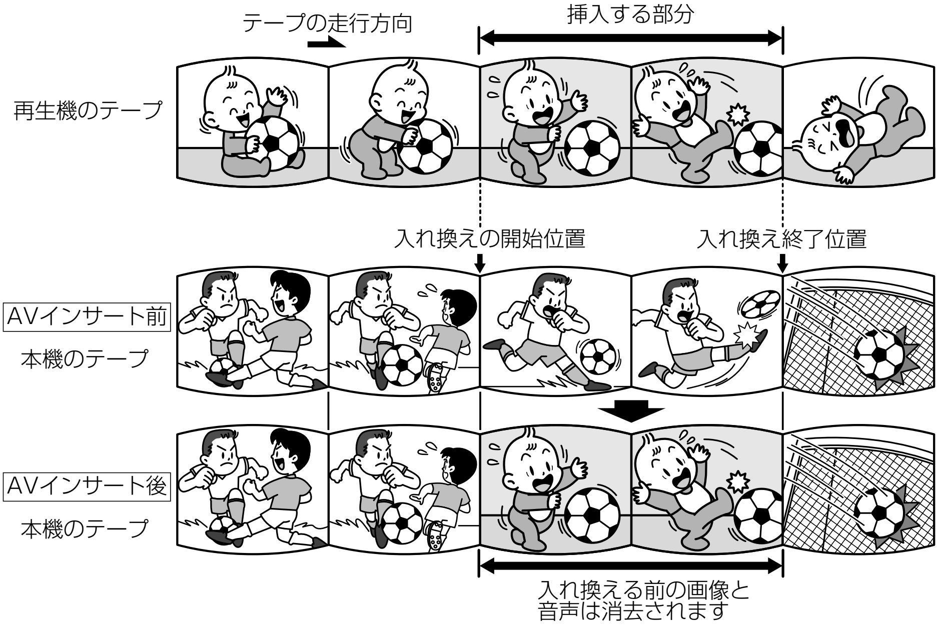



「VTR設定」サブメニューから「AV入力→DV出力」を選び、次に「入」を選びます。（📖41）

- 通常はメニューで「AV入力→DV出力」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
- 本機にカセットを入れた状態でアナログーデジタル変換すると、デジタル変換された映像と音声が、接続しているデジタルビデオ機器で再生されないことがあります。
- DV端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

# 撮影した映像と音声を入れ換える（AVインサート）

本機で撮影したテープの音声を、ほかのビデオ機器からの映像/音声と入れ換えることができます（AVインサート）。AVインサートは、アナログ入力（135ページ）、DV入力（137ページ）のいずれも可能です。
テープを再生する機器を本機に接続してください。




## AVインサートするときは

**本　機**

本機で、SPモード、連続してタイムコードを記録しているテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモードで記録した部分があるテープでAVインサートを行うと、記録が中断されます。

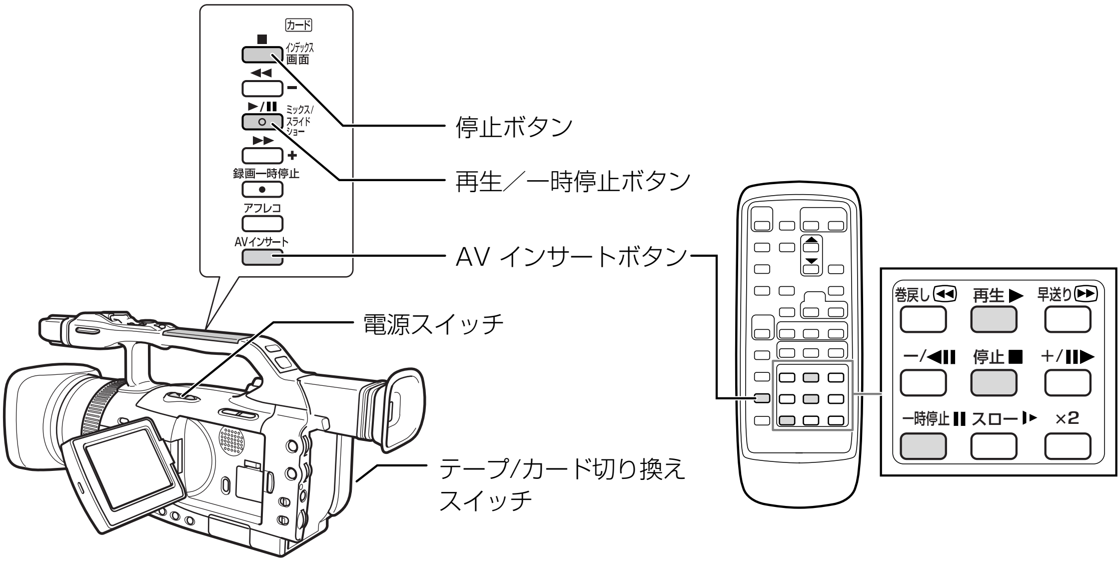
**再生機**

無記録部分のないテープを使用してください。
途中に無記録部分や録画モードを変更している部分があると、本機で正しくAVインサートできない場合があります。
次のような場合にはAVインサートできません。
- 記録状態が悪いビデオテープを再生する
- 再生機が、早送り、巻き戻し、静止画再生、スロー再生などの特殊再生中（アナログ入力時）

**テレビ**

受信状態の悪いテレビ番組など、同期信号に乱れがある場合、AVインサートはできません。

## 操作のしかた

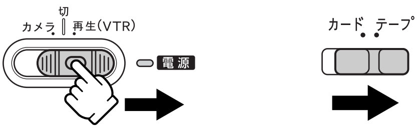



**1** 本機／再生機に撮影済みテープを入れる

- カセットの誤消去防止つまみが録画できる状態（REC）になっていることを確認してください。

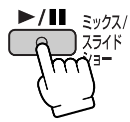
**2** ボタンを押しながら電源スイッチを再生（VTR）に、テープ/カード切り換えスイッチを

**「テープ」にする**




**3** 再生機　再生を開始したい場面の約3秒手前の位置で再生一時停止にする

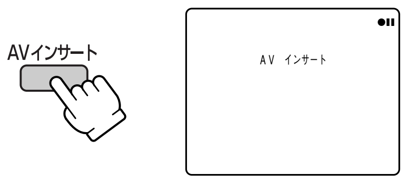
**4** 本　機　再生／一時停止ボタンを押してAVインサートを開始する位置を探し、再生一時停止にする




- 本機でAVインサートしたい場面を探すときに、特殊再生を使うと便利です（120ページ）。

**5** AVインサートボタンを

**押す**




- 「AVインサート」の表示が出る。

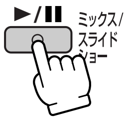
編集編

**6** 再生機

テープを再生する

**7** 本　機

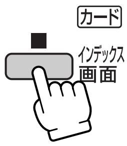
再生中のテープのAVインサートを開始したい位置で再生／一時停止ボタンを押す。




- 「AVインサート」が始まる。

**8** 本　機

AVインサートを終了する位置で停止ボタンを押す。




- AVインサート表示が消え、停止になる。

**9** 再生機

停止ボタンを押す

- あらかじめAVインサートを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからAVインサートを開始すると、その位置で自動的に停止します。

# 撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから音声を録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイクまたは、外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。

**アフレコするときは**

| 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録されたテープを使用してください。 |
|---|

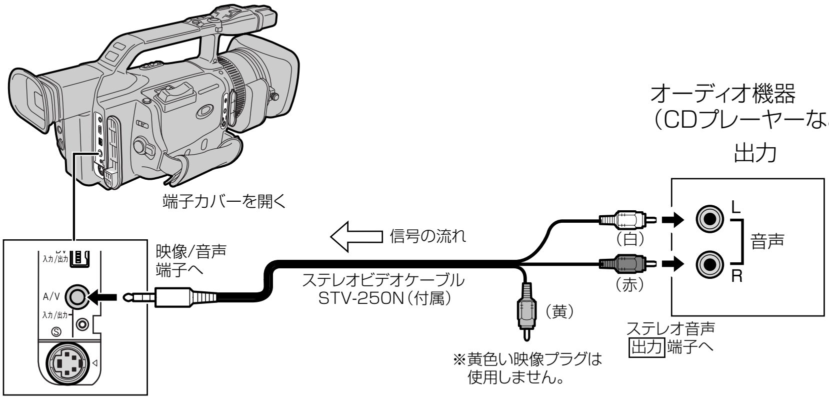
テープの巻き始めや途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分、12bit同時4チャンネルで記録された部分があるテープでは、アフレコできません。記録が途中で中断されたり、正しくアフレコできない場合があります。

●このような場合には、本機でSPモード、オーディオ12bitでアナログ入力録画してアフレコすることをおすすめします。

12bitと16bitが混在して記録されているテープにはアフレコできません。

## 映像／音声端子に接続してアフレコする（音声入力）

| 接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。 |
|---|

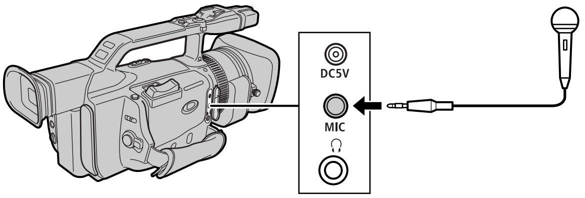



**音声の入力レベルについて**

本機では、オーディオ機器などの大きな音を収録する場合に、入力レベルを下げることができます。ヘッドホンで確認しながら、音声が歪むときは、VTRメニューの「音声入力　ATT」を「入」にしてください。

●映像／音声端子から映像は出力されません。S-映像端子に接続したテレビや、液晶画面／ビューファインダーで画像を確認してください。アフレコする音声は、スピーカーやヘッドホンで確認してください。

## MIC端子に接続してアフレコする（マイク入力）




**マイクの入力レベルについて**

本機では、大きな音を収録するときや感度の高い外部マイクを使うとき、入力レベルを下げることができます。ヘッドホンで確認しながら、音声が歪むときは、VTRメニューの「マイクATT」を「入」にしてください。

●内蔵マイクからアフレコするときは、MIC端子になにも接続しないでください。

●S-映像、映像／音声端子にテレビを接続すると、テレビで画像を確認できます。音声はヘッドホンで確認できます。

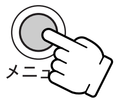
# 撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）ー つづき

## 操作のしかた

**1** 本機に録画済みのカセットを入れる

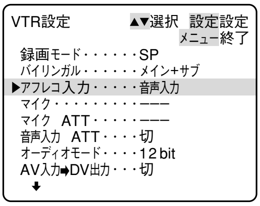
**2** ボタンを押しながら電源スイッチを再生（VTR）に、テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**

**3** メニューボタンを
**押す**

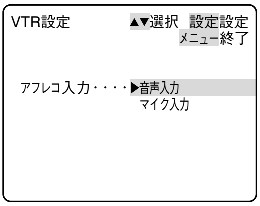



● メニューが出る。

**4**「VTR設定」サブメニューから
**「アフレコ入力」を選ぶ**

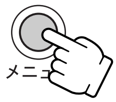



**5**「音声入力」または「マイク入力」を
**選ぶ**



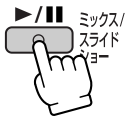

● 音声入力を選ぶとマイクは使用できません。

**6** メニューボタンを
**押す**



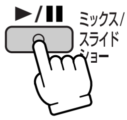

● メニューが消える。

**7** 再生/一時停止ボタンを押して、音声を追加する場面の開始位置を
**探す**



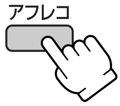

● 音声を追加する場面を探すのに、特殊再生を使うと便利です（📖 120）。

**8** 再生/一時停止ボタンを
**押す**




● 再生一時停止になる。

**9** アフレコボタンを
**押す**




●「アフレコ」の表示が出る。

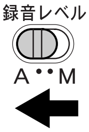
## 10 入力信号のレベル調整を**行う**

**音声入力を選んだとき**

**レベル調整をオート（自動）で行う**

① 録音レベルスイッチを

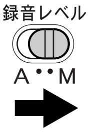
**Aにする**




**レベル調整をマニュアル（手動）で行う**

② 録音レベルスイッチを

**Mにする**




② オーディオレベルつまみを回し

**オーディオレベルメーターの12より右が時々点灯するようにする**

- 録音レベルツマミでレベルを下げても、入力レベルが高すぎる場合には、音声が歪むことがあります。

**音声が歪むときは**

VTRメニューの「VTR設定」サブメニューで「音声入力　ATT」を「入」にしてください。

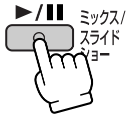
③ 必要に応じてオーディオレベル「L」、「R」つまみで

**L、Rのバランスを調整する**

**マイク入力を選んだとき**

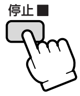
内蔵マイクを使うときは、音質とレベルを調整できます（📖72）。外部マイクを使うときは、レベル調整ができます（📖73）。

## 11 再生/一時停止ボタンを**押す**




- アフレコが始まる。
- マイクに向かって話してください。
  オーディオ機器を再生してください

## 12 アフレコを終了したい位置で停止ボタンを**押す**




- アフレコ表示が消え、停止になる。

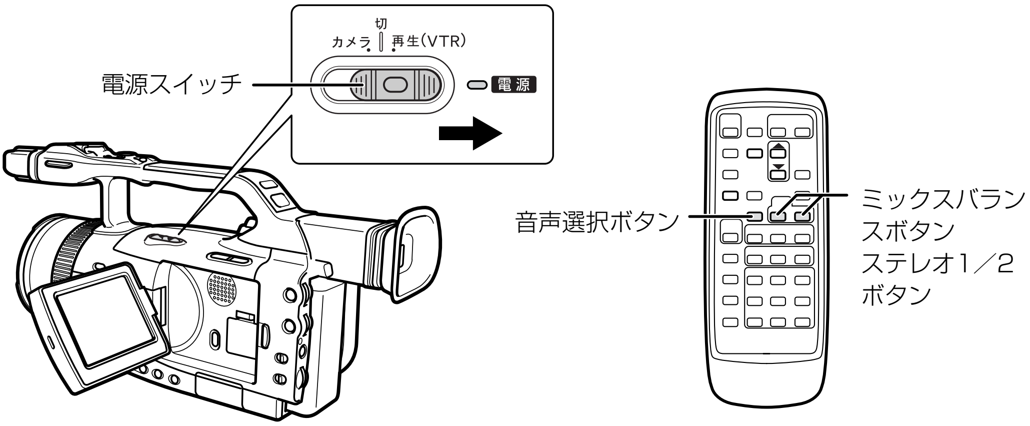
- あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコを開始すると、その位置で自動的に停止します。
- DV端子からのアフレコはできません。
- 他のビデオカメラで録画したテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
- テープの同じ場所で3回以上繰り返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。
- アフレコした音声を聞くときは147ページをご覧ください。

編集編

# 音声を切り換える

## 撮影時の音声とアフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

アフレコしたテープを再生するときに、ステレオ1（撮影時の音声）とステレオ2（アフレコした音声）の、どちらかあるいは両方の音声を再生でき、さらに2つの音声のバランスを調整できます。

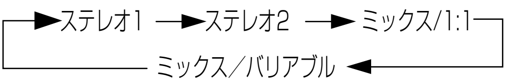



カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード

**1** 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ／カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**

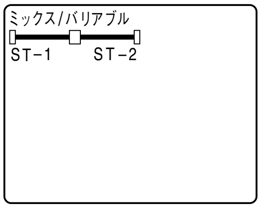
**2** リモコンの音声選択ボタンを
**押す**

- 選んだ音声表示が出ます。
- ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。




- **ステレオ1**　撮影時の音声のみ再生する
- **ステレオ2**　アフレコされた音声のみ再生する
- **ミックス／1：1**　ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
- **ミックス／バリアブル**　ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

**「ミックス／バリアブル」を選んだ場合**
ステレオ1（ST-1）とステレオ2（ST-2）のバランスを調整する表示が出ます。表示は、約4秒で消えます。




- **ステレオ1の音量を大きくする**
  リモコンのミックスバランス ステレオ1ボタンを押します。

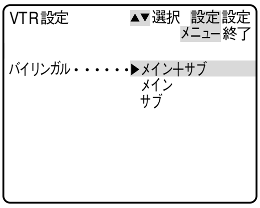
- **ステレオ2の音量を大きくする**
  リモコンのミックスバランス ステレオ2ボタンを押します。

● 一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切るとオーディオ12bit出力は「ステレオ1」に戻ります。続けて「ミックス／バリアブル」で再生するときは、リモコンの音声選択ボタンで選択してください。

## 二重音声で記録したテープを再生する

二重音声を記録したテープを再生するとき、必要に応じて音声の切り換えをすることができます。
● ご購入時には、「バイリンガル」は「メイン＋サブ」に設定されています。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生(VTR)モード



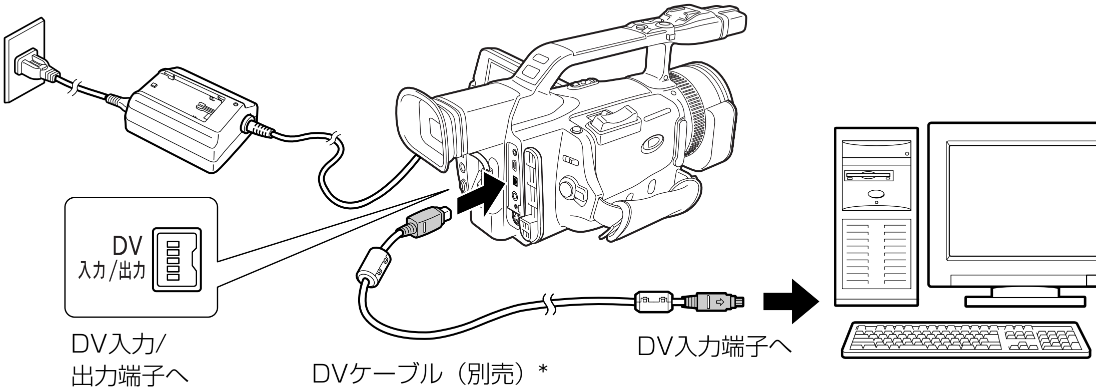

「VTR設定」サブメニューから「バイリンガル」を選び、次に再生される音声を選びます。（📖41）
- 下記の表を参考にして、選びます。

| 「バイリンガル」の設定 | 再生される音声 | |
|---|---|---|
| | ステレオを記録したテープ | 二重音声を記録したテープ |
| 「メイン＋サブ」 | ステレオ音声 | 主音声＋副音声 |
| 「メイン」 | 左音声 | 主音声 |
| 「サブ」 | 右音声 | 副音声 |

# DVケーブルでパソコンに接続する

本機と、DV端子（IEEE1394準拠）を標準で搭載しているパソコン／DV端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で撮影した動画をパソコンに取り込むことができます。

- コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- 接続は、各機器の電源を切って行ってください。
- 別途ソフトウエアが必要です。
- ソフトウェアの使いかたなどについてはソフトウェアの使用説明書をご覧ください。
- USB端子を使って、メモリーカードの静止画をパソコンに取り込む場合は175ページをご覧ください。




* 別売のDVケーブルCV-150F（4ピン－4ピン）またはCV-250F（4ピン－6ピン）

- 使用するソフトウエア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
  本機とパソコンが通信中（液晶画面/ビューファインダーに「DV入力」が出ている間）はDVケーブルを抜かないでください。

# メモリーカードについてのガイドマップ

下記の順番で説明しています。

**準備** メモリーカードを入れ、画質などを設定します 🕮150～🕮153

▼

**静止画を記録する** 🕮154～🕮155

▼

**静止画を見る** 1枚1枚、カードジャンプ、スライドショー、インデックス 🕮156～🕮158

▼

**静止画のいろいろな設定**
静止画を消えないようにしたり（プロテクト）、印刷用の印をつけたり（プリントマーク）、消したりする（消去） 🕮159～🕮166

▼

**メモリーカードに記録したタイトルとカメラで撮影している映像を合成する（タイトルミックス）** 🕮167～🕮172

▼

**メモリーカードの静止画をテープにコピーする** 🕮173

▼

**メモリーカードを初期化する** 🕮174

▼

**メモリーカードの静止画をパソコンで活用する** 🕮175

● アクセサリーキットAK-620に付属のSDメモリーカード以外のメモリーカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。（🕮 174）
● 本機はDCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

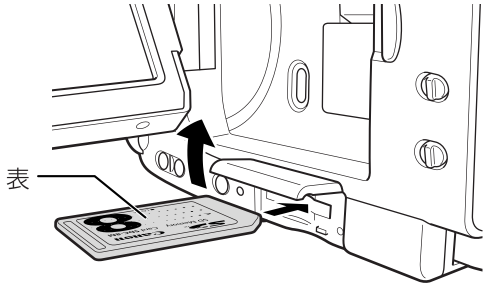
**必ず守ってください**

メモリーカードの出し入れはビデオカメラの電源を切ってから行ってください。本機は、SDメモリーカード（SD＊）とマルチメディアカード専用です。ほかのメモリーカードは使用できません。

＊“SD”ロゴは商標です。

# メモリーカードを入れる／出す

## メモリーカードの入れかた




❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ メモリーカードカバーを開ける

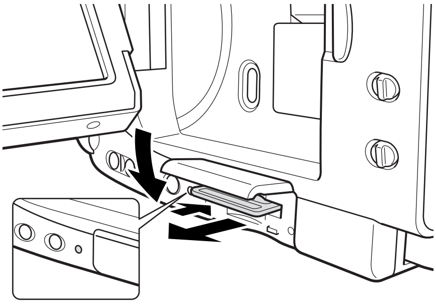
❸ メモリーカードを奥までしっかり入れる

❹ メモリーカードカバーを閉じる

- メモリーカードが正しく入っていない状態で、メモリーカードカバーを無理に閉じないでください。

## メモリーカードの出し方

● メモリーカードを抜くときは、無理に出さないで、必ず3の操作を行ってください。



❶ 電源スイッチを「切」にする

- カード動作ランプが消えていることを確認してください。

❷ メモリーカードカバーを開ける

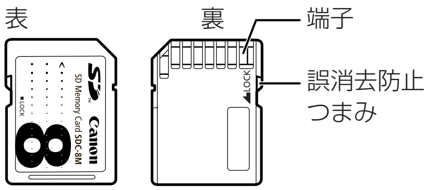
❸ メモリーカードの端を押す

- メモリーカードが出てきます。

❹ メモリーカードを抜く

❺ メモリーカードカバーを閉じる

■メモリーカード（SDメモリーカード）




**SDメモリーカードSDC-8M　主な仕様**

| | |
|---|---|
| 記憶容量 | 8MB |
| 使用温度 | 0°～+40°C |
| 外形寸法 | 約32×24×2.1mm |
| 質量 | 約2g |

■SDメモリーカード
SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止のつまみが付いています。本機ではマルチメディアカードも同じ場所に入れて使用できます。

● 電源を切らずにメモリーカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
● メモリーカードの端子に触れないでください。

# 記録時の画質や画像サイズを選ぶ

メモリーカードに記録する静止画の画質、画像サイズを選びます。
画質　　　　　：ファイン/スタンダード
画像サイズ　　：1488×1128ピクセル/640×480ピクセル

- ご購入時には、「画質」は「ファイン」、「画像サイズ」は「1488×1128」に設定されています。
- 本機では静止画をJPEG（ジェーペグ）（Joint Photographic Expert Group）方式で圧縮して、記録します。
- 画質や画像サイズの設定により、1枚のメモリーカードに記録できる静止画の枚数は、異なります。枚数の目安はつぎのとおりです。

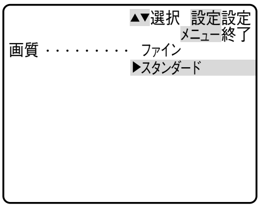
### 静止画記録できる枚数

| 画像サイズ／画質 | 1488×1128 | | 640×480 | |
|---|---|---|---|---|
| | 記録可能枚数 | 1枚あたりのデータ量 | 記録可能枚数 | 1枚あたりのデータ量 |
| ファイン | 約6枚 | 約860KB | 約47枚 | 約125KB |
| スタンダード | 約10枚 | 約580KB | 約93枚 | 約65KB |

＊記録できる枚数は8MバイトのSDメモリーカードの目安です。撮影条件や被写体によって変わります。

## 静止画の画質を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生(VTR)モード




「カード設定」サブメニューから「画質」を選び、画質を選びます。（📖 45）

- 静止画によっては、画質の設定を切り換えても画質に差が現れない場合があります。

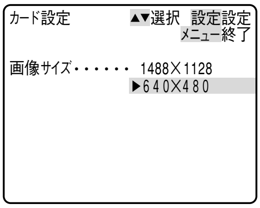
- カードの表示について
  カードがないとき：　赤色の点滅
  記録可能枚数6枚以上：　6 緑色表示
  記録可能枚数1～5枚：　5 黄色表示＊
  記録可能枚数0枚：　0 赤色表示＊
  SDメモリーカードが記録できない状態になっているとき：　6 赤色の点滅
  メモリーカードカバーが開いているとき：　−− 赤色の点滅

＊ カード再生時はすべて緑色表示になります。
・ 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

# 記録時の画質や画像サイズを選ぶ－ つづき

## 画像サイズを選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生(VTR)モード




「カード設定」サブメニューから「画像サイズ」を選び、「640×480」にします。（🕮 45）

- 「640」の表示が出ます。

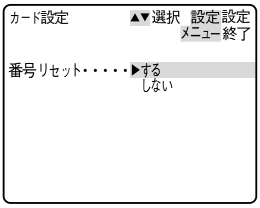
- 本機で1488×1128ピクセルの画像サイズで静止画を記録したとき、1488×1128ピクセルの画像サイズで記録ができないほかのデジタルビデオ機器では、正しく再生されないことがあります。

# ファイル番号をリセットする

記録した静止画は、自動的に0001〜9999までのファイル番号が付けられ、ひとつのフォルダーに9999枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには100〜999までの番号が付けられ、メモリーカードに記録します。本機では、メモリーカードを換えたときファイル番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

● ご購入時には、「番号リセット」は「しない」に設定されています。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生(VTR)モード

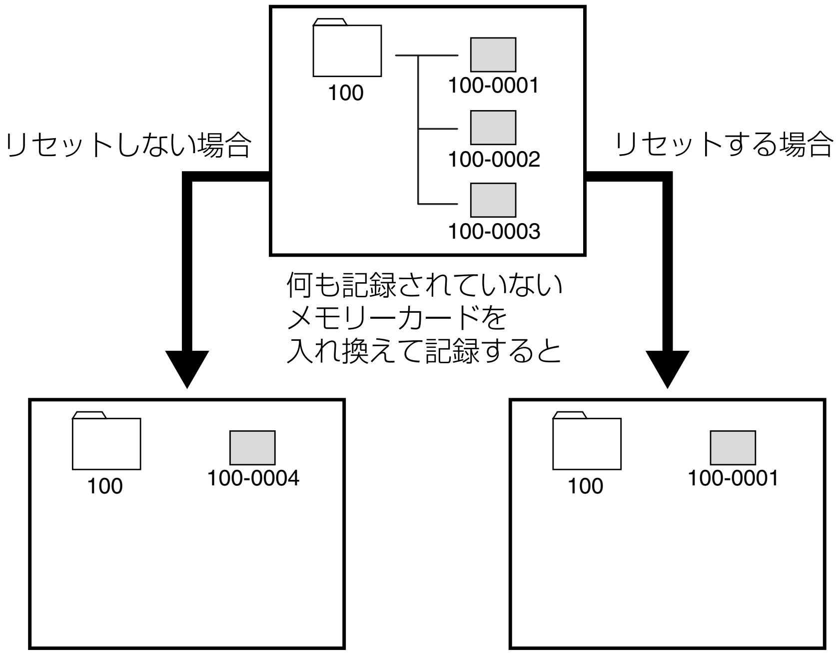



「カード設定」サブメニューから「番号リセット」を選び、「する」にします。（📖 45）

● 番号をリセットしない
別のメモリーカードに入れ換えても、最後に記録した静止画の続き番号が、次の静止画に付けられます。（メモリーカード内のファイル番号のほうが大きい場合は、あいている番号のいちばん小さい番号に続いて、番号が付けられます。）
ファイル番号をリセット「しない」に設定して記録すると、記録した静止画のファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。
通常はリセット「しない」に設定しておくことをおすすめします。

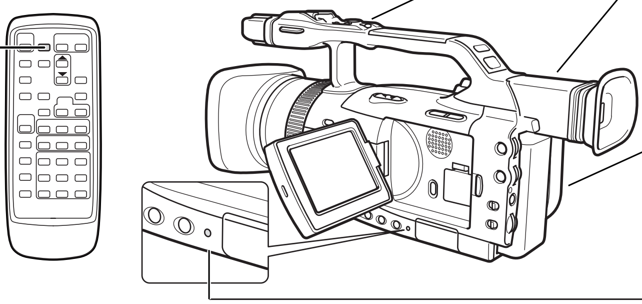
● 番号をリセットする
別のメモリーカードに入れ換えると、100-0001から始まります。すでに静止画が記録されているメモリーカードを入れたときは、もっとも大きな番号のフォルダーの中で、空いているもっとも小さいファイル番号からになります。

例えば、3枚記録したメモリーカード
（アクセサリーキットAK-620に付属のメモリーカードの場合）



# 静止画をメモリーカードに記録する

メモリーカードに静止画を記録します。

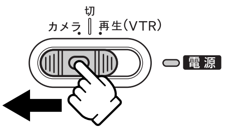



- メモリーカードには、動画と音声は記録できません。
- あらかじめ記録可能なメモリーカードを入れておいてください。
- SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。
- カード動作ランプが点滅している間は、データの破損などの原因となりますので、カードの出し入れやバッテリーパックなどの電源を取りはずさないでください。

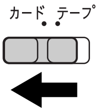
## 撮影のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生(VTR)モード

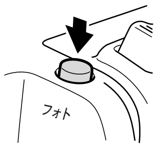
**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**カメラにする**

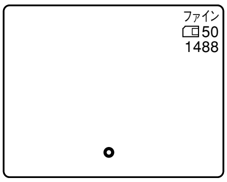



**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「カード」にする**



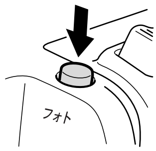

**3** フォトボタンを
**浅く押す**

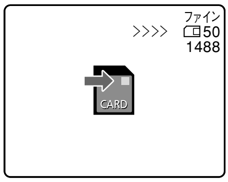



- ●が白色に点滅したあと、ピント調整が終わると緑色の点灯に変わる。
- 露出がロックされます。

**4** フォトボタンを
**深く押す**

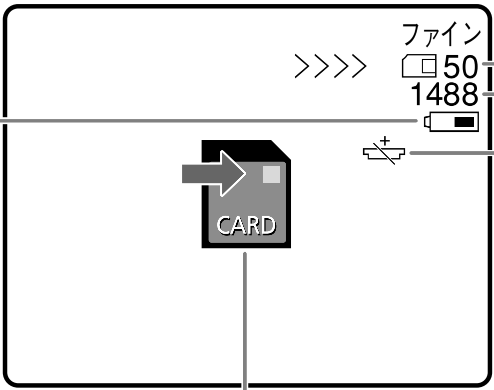



- ●が消える。
- 「カード設定」サブメニューで「シャッター音」を「入」にしていると、「カシャ」というシャッター音がする（□ 45）。
- カード動作ランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出る。
- ボタンを押したときの静止画がメモリーカードに記録される。
- 液晶画面/ビューファインダーの画面も静止画になる

- 3の操作の前に、セルフタイマーボタンを押して、フォトボタンを押すとセルフタイマーで静止画をメモリーカードに記録できます（□ 114）。

# カード記録中の液晶画面の表示について




## 記録可能枚数表示

| | |
|---|---|
| カードがないとき： | 赤色の点滅 |
| 記録可能枚数6枚以上： | 6 緑色表示 |
| 記録可能枚数1～5枚： | 5 黄色表示＊ |
| 記録可能枚数0枚： | 0 赤色表示＊ |
| SDメモリーカードが記録できない状態になっているとき： | 6 赤色の点滅 |
| メモリーカードカバーが開いているとき： | －－ 赤色の点滅 |

＊ 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「 」の点滅
カードが入っていないときに赤色に点滅します。

「>>>」書き込み表示
静止画をメモリーカードに書き込んでいるときに表示します。

## 画像サイズ表示

## 静止画の書き込み表示（カードアクセス）

静止画をメモリーカードに書き込んでいるときに表示します。

## バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

- バッテリーパックが消耗すると「 」が点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、「 」が出ずに、電源が入らなかったり、切れたりすることがあります。
- 残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

## 「 」の点滅

コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「 」が点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。

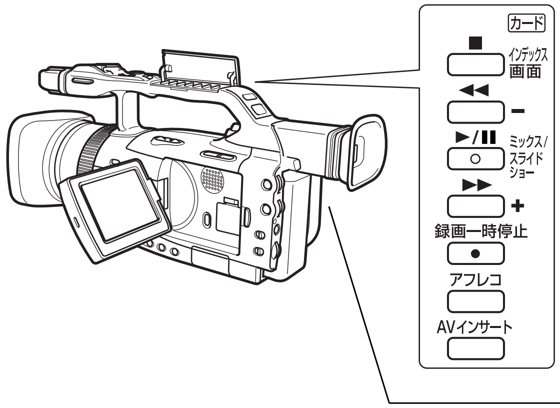
- 交換用のコイン型リチウム電池は、CR2025タイプをお使いください。

# 静止画を見る

メモリーカードに記録した静止画は液晶画面やビューファインダー、接続したテレビなどで見られます（テレビとの接続について（🕮 123）。
本機では、静止画を1枚ずつ見たり、連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を1度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい静止画をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

- カード再生モード時、データコードボタンを押したときは、日付／時刻のみ表示されます。
- 他社のビデオカメラで記録したメモリーカードの静止画は、再生やコピーができないことがあります。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。
- カード動作ランプが点滅している間は、データの破損などの原因となりますので、カードの出し入れやバッテリーパックなどの電源を取りはずさないでください。

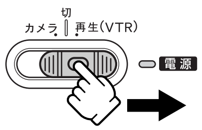
**メモリーカードに記録されたすべてのデータは、パソコンで書き換えないでください**
パソコンで作成／加工した静止画をメモリーカードに書き込んだり、本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。




## 静止画を1枚ずつ見る

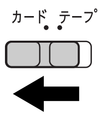
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**再生（VTR）にする**

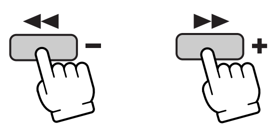



**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「カード」にする**

- 最後に記録した静止画が出る。




**3** ＋または－ボタンを
**押して静止画を選ぶ**

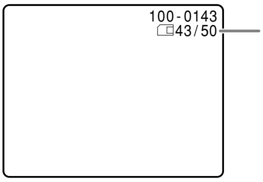


- －：前の静止画を見る。
- ＋：次の静止画を見る。
- 最後の静止画で「＋」を押すと最初の静止画が出る。
- 最初の静止画で「－」を押すと最後の静止画が出る。

## 静止画をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

静止画を一枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプすることができます。

● カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した静止画の合計枚数（全枚数）と再生している静止画が何枚目になるか（表示番号）を表しています。

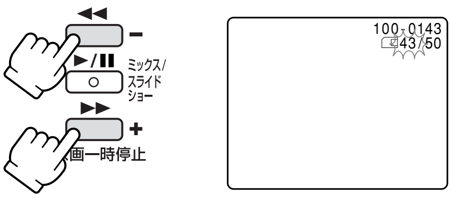



カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

カード＋／－ボタンを

**押し続ける**




- 画面に出ている静止画より、前に記録した静止画を見たいときは－、後の場合は＋ボタンを押す。
- 表示番号が送られます。
- ボタンを離すと、表示番号の静止画が出る。

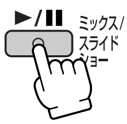
## 静止画を順番に再生する（スライドショー）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

スライドショーボタンを

**押す**




- 出ている静止画から順番に画像が再生される。

### スライドショーを止めるとき

スライドショーボタンを押します。スライドショーボタンを押すたびに切り換わります。

# 静止画を見るー つづき

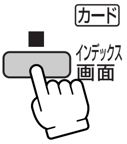
## インデックス画面で静止画を選ぶ

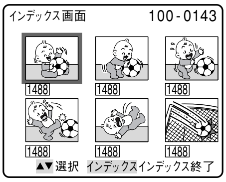
最大6画像ずつ表示されますので、目的の画像をすばやく探し出せます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

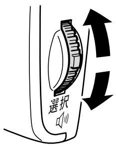
インデックス画面ボタンを
**押す**

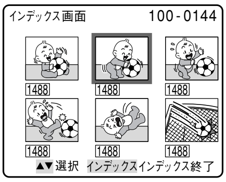



- 6つの静止画がでるインデックス画面になる。

**2** 選択/設定ボタンまたはカード**+**、カード**−**ボタンで
**静止画を選ぶ**

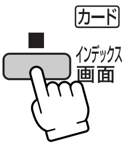



- 選択/設定ボタンを押して、赤色の枠を選択する静止画に合わせる。
- 選択/設定ボタンを上に押すと赤色の枠がひとつ先の静止画にすすむ。
- 選択/設定ボタンを下に押すと赤色の枠がひとつ前の静止画に戻る。

- インデックス画面の最後の静止画で上に押すと次の画面になる。
- インデックス画面の最初の静止画で下に押すと前の画面になる。
- カード**+**、カード**−**ボタンでインデックス画面を切り換えることができます。
  **−**：前のインデックス画面を見る。
  **+**：次のインデックス画面を見る。

**3** 選択したい静止画（赤色の枠のある静止画）で
**インデックス画面ボタンを押す**




- インデックス画面は終了し、1枚の静止画だけの表示になる。

# メモリーカードに記録した静止画の設定について

メモリーカードに記録した静止画を見ながら、不要な画像を消去したり、画像を消さないようにプロテクト（誤消去防止）したり、印刷用にプリントマークを付けたりすることが簡単に設定できます（画像設定）。

## 静止画を消えないようにする（プロテクト）

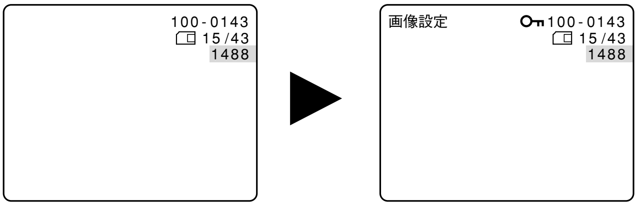
大切な静止画を誤って消去しないようにするために、静止画に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

● プロテクト設定しても、カードをフォーマットすると静止画は消去されます。

● 静止画のプロテクトの設定と解除のしかたは、つぎのとおりです。

① カード再生(VTR)モード ➡ 静止画再生中 ➡「画像設定」メニュー（161）

② カード再生(VTR)モード ➡ インデックス画面表示中 ➡「カード実行」サブメニュー（48）




## 印刷したい静止画を指定する（プリントマーク）

メモリーカードに記録した静止画に印刷用の印を付けることができます。本機は印刷フォーマットのDPOF(Digital Print Order Format)に対応していますので、キヤノンのDPOF対応のプリンターで自動印刷できます。

● プリントマークは1枚印刷の設定になります。

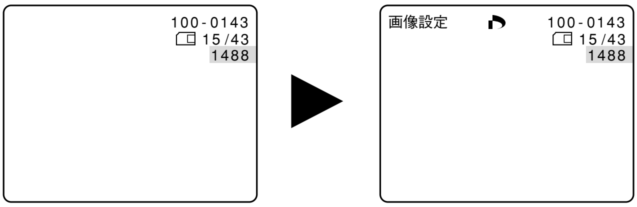
● プリントマークの付けかたと消去のしかたは、つぎのとおりです。

① カード再生(VTR)モード ➡ 静止画再生中 ➡「画像設定」メニュー（161）

② カード再生(VTR)モード ➡ インデックス画面表示中 ➡「カード実行」サブメニュー（48）

**すべてのプリントマークを消去する**

③ カード再生(VTR)モード ➡ 静止画再生中 ➡「カード実行」サブメニュー（48）



# メモリーカードに記録した静止画の設定について ー つづき

## 静止画を消す（消去）

不要になった静止画を消去できます。
静止画を1枚消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。

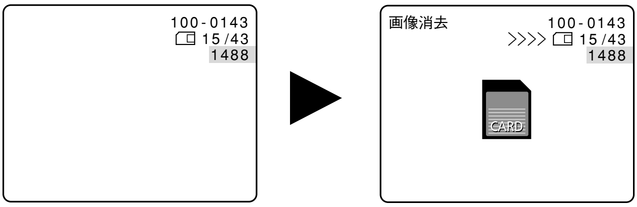
● プロテクト設定している静止画は消去できません。
● 一度消去した静止画はもとに戻せません。消去する前に静止画を確認してください。

● 静止画の消去のしかたは、つぎのとおりです。

① カード再生(VTR)モード ➡ 静止画再生中 ➡「画像設定」メニュー（□ 161）

**静止画を1枚消去/全消去する**

② カード再生(VTR)モード ➡ 静止画再生中 ➡「カード実行」サブメニュー（□ 48）

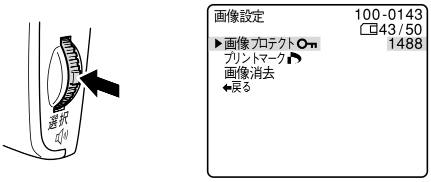


## 静止画を見ながら設定する（画像設定）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

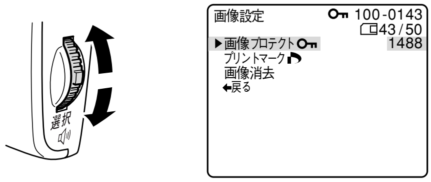
選択／設定ボタンを
**押す**




- 「画像設定」メニューが出て「画像プロテクト」、「プリントマーク」、「画像消去」の選択画面になる。
- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

### 画像をプロテクトするとき

**2**「画像プロテクト」を選ぶ

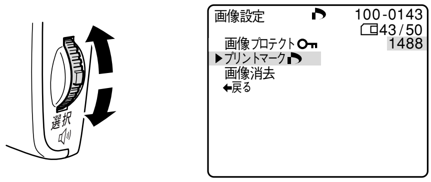



- 選択／設定ボタンを押すと「 」が出て、消去できなくなる。もう一度押すと、解除される。
- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

**プロテクトを解除する（消去可能にする）とき**
プロテクト設定されている画像を選びます。2の操作で選択/設定ボタンを押すと、「 」が消えて、消去可能になります。

### プリントマークを付けるとき

**2**「プリントマーク」を選ぶ

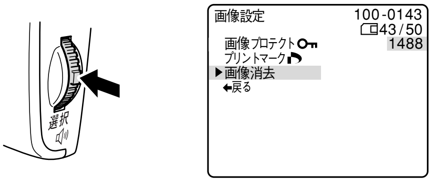



- 選択／設定ボタンを押すと「 」のプリントマークが付く。もう一度押すと、プリントマークが消える。
- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

**プリントマークを消去するとき**
プリントマークが付いている画像を選びます。2の操作で選択／設定ボタンを押すと、「 」が消えます。

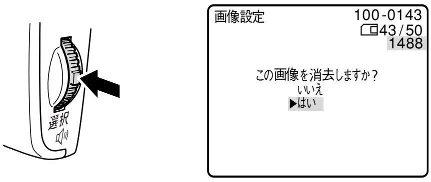
### 画像を消去するとき

**2**「画像消去」を選び、
**選択／設定ボタンを押す**




- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

**3**「はい」を選び、
**選択／設定ボタンを押す**




- 「この画像を消去しますか？」、「はい」、「いいえ」の選択画面になります。
- 選択／設定ボタンを押すと、画像が消去されます。
- 消去した画像の次の静止画が出ます。

# 静止画を消えないようにする（プロテクト）

ここでは、カード再生モードで、インデックス画面を表示しているときに「カード実行」サブメニューからプロテクトの設定／解除する操作を説明します。

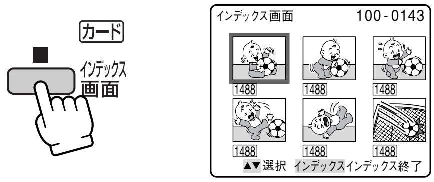
● 「画像設定（ 📖 161）」での操作については、参照ページをご覧ください。
● あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

## インデックス画面で静止画をプロテクトする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

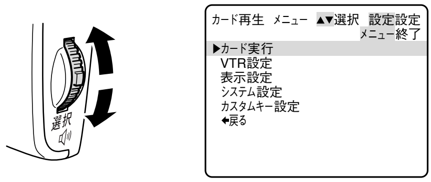
**1** 静止画再生中

インデックス画面ボタンを
**押す**

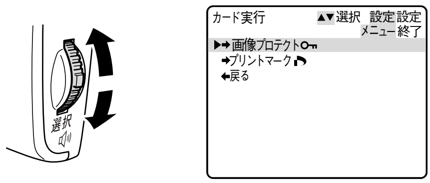



● 6つの静止画がでるインデックス画面になる。プロテクトする静止画を選ぶ（「インデックス画面で静止画を選ぶ」（ 📖 158）

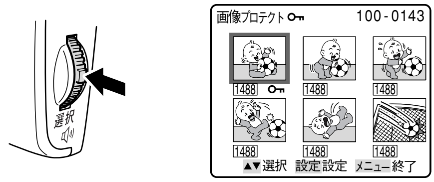
**2** カード再生メニューのメインメニューから
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**




**3** 「カード実行」サブメニューから
**「➡画像プロテクト O┳」を選ぶ**




**4** 選択/設定ボタンをまっすぐ
**押す**




● O┳ が出て、消去できなくなる。
● もう一度押すと、解除される。

**プロテクトを解除する（消去可能にする）ときは**

● プロテクト設定されている静止画を選び、3の操作で選択/設定ボタンをまっすぐ押すと O┳ が消え、消去可能になります。

# 印刷したい静止画を指定する（プリントマーク）

ここでは、カード再生モードの「カード実行」サブメニューでの操作を説明します。

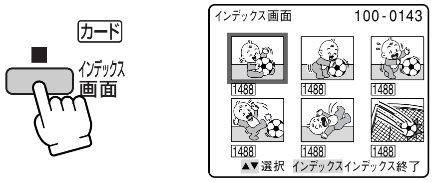
- インデックス画面を表示しているときに「カード実行」サブメニューからプリントマークを付ける／消去します。
- 静止画を１枚表示しているときに「カード実行」サブメニューからすべてのプリントマークを消去します。
- 「画像設定（ 📖 161）」での操作については、参照ページをご覧ください。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

## インデックス画面でプリントマークを付ける

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

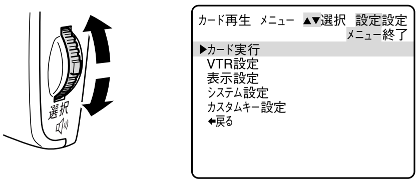
**1** 静止画再生中

インデックス画面ボタンを
**押す**

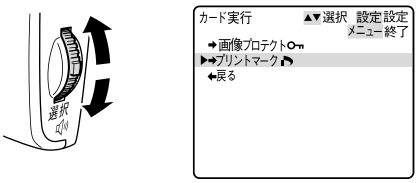



- 6つの静止画が出るインデックス画面になる。プリントする静止画を選ぶ（「インデックス画面で静止画を選ぶ」（📖 158）

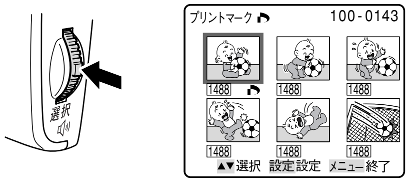
**2** カード再生メニューのメインメニューから
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**




**3** 「カード実行」サブメニューから
**「➡プリントマーク」を選ぶ**




**4** 選択/設定ボタンをまっすぐ
**押す**




- のプリントマークが付く。
- もう一度押すと、解除される。

**プリントマークを解除するときは**

- プリントマークが付いている静止画を選び、3の操作で選択/設定ボタンをまっすぐ押すとが消えます。

# 印刷したい静止画を指定する（プリントマーク）ー つづき

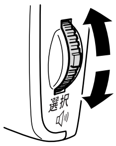
## すべてのプリントマークを消去する

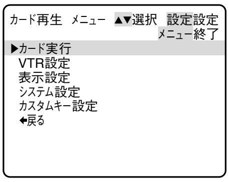
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

カード再生メニューのメインメニューから

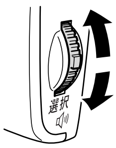
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**

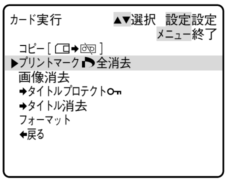



**2**「カード実行」サブメニューから

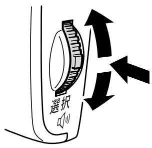
**「プリントマーク 全消去」を選ぶ**

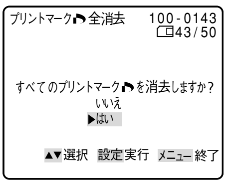


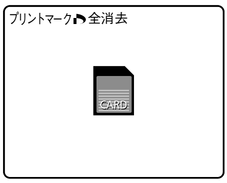




- 「すべてのプリントマーク を消去しますか?」と「はい」、「いいえ」の選択画面になる。

**3**「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す。




- すべてのプリントマークが消去される。

# 静止画を消す（消去）

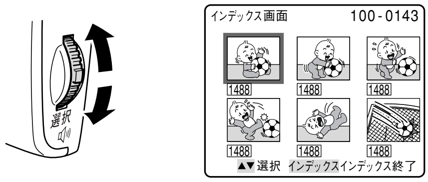
ここでは、カード再生モードで、静止画を１枚表示しているときに「カード実行」サブメニューから１枚消去／全消去する操作を説明します。
● 「画像設定（ 🕮 161）」での操作については、参照ページをご覧ください。
● あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

## 選んだ１枚の画像を消去する（1枚消去）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

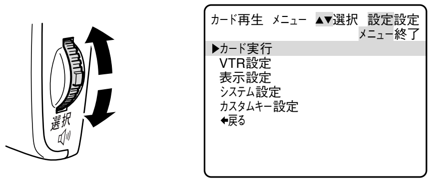
**1** 静止画再生中

インデックス画面やカードジャンプ機能などで消去する静止画を
**選ぶ**

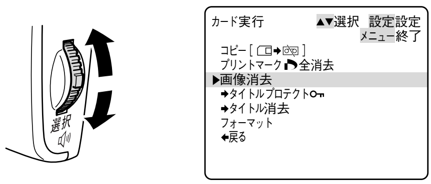



● インデックス画面で静止画を選んだときは、選んだ後インデックス画面を終了する。

**2** カード再生メニューのメインメニューから
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**

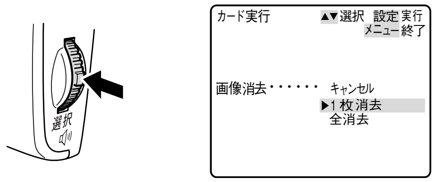



**3** 「カード実行」サブメニューから
**「画像消去」を選ぶ**



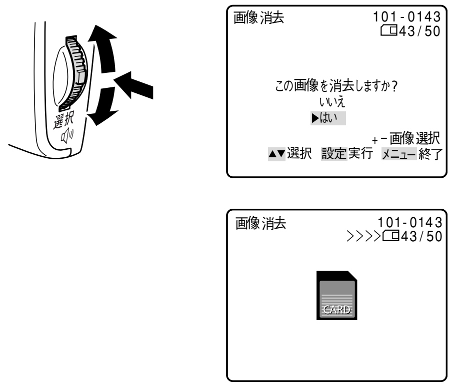

● 「キャンセル」、「1枚消去」、「全消去」の選択画面になる。
● 誤って「画像消去などの項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは、「キャンセル」を選んで」、選択/設定ボタンをまっすぐ押してください。

**4** 選択画面から「1枚消去」を選び
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**




● 「この画像を消去しますか？」と「はい」、「いいえ」の選択画面になる。

**5** 「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す




● 静止画が消去される。

続けて他の静止画を消去するときは＋または－ボタンで消去する静止画を選び、「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す。
● 「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「1枚消去」、「全消去」の選択画面に戻ります。

# 静止画を消す（消去）ー つづき

## フォルダーの中のすべての静止画を消去する（全消去）

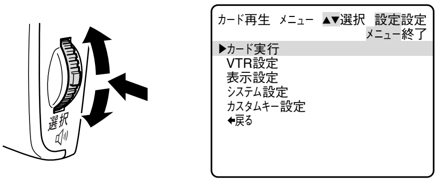
●表示している静止画の入っているフォルダーの中の静止画をすべて消去します。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** 静止画再生中

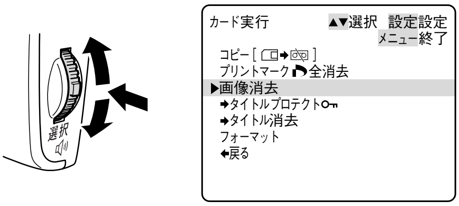
カード再生メニューのメインメニューから

**「カード実行」サブメニューを選ぶ**




**2**「カード実行」サブメニューから

**「画像消去」を選ぶ**

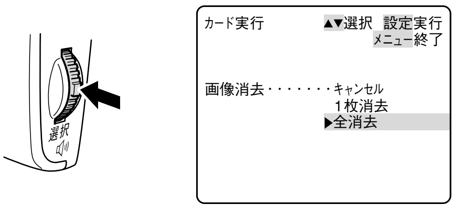



- 「キャンセル」、「1枚消去」、「全消去」の選択画面になる。

●誤って「画像消去などの項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは、「キャンセル」を選んで」、選択/設定ボタンをまっすぐ押してください。

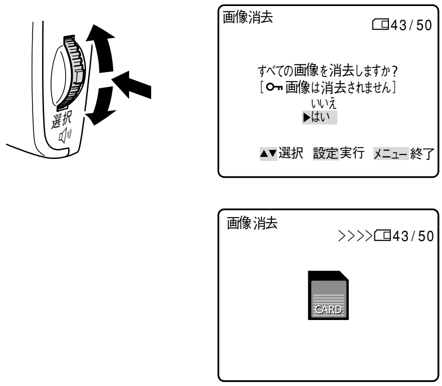
**3** 選択画面から「全消去」を選び

**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**




- 「すべての画像を消去しますか？」と「はい」、「いいえ」の選択画面になる。

**4**「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す




- フォルダーの中の（プロテクト設定した）静止画を除いたすべての静止画が消去される。

●「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「1枚消去」、「全消去」の選択画面に戻ります。

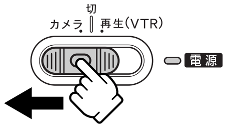
# メモリーカードの静止画とカメラで撮影している映像を合成してテープに記録する（タイトルミックス）

メモリーカードに記録した静止画（タイトル画像）とカメラで撮影している映像を合成してテープに記録できます。タイトル画像は色を変えたり、合成するレベルを調整できます。
クレジットや特殊効果に使用できます。

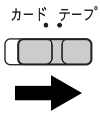
## タイトル画像を作成する

●タイトル画像を作成するときはストロボ、ビデオライトは使用できません。
●操作6でリモコンのフォトボタンを押したときは、すぐにタイトル画像が取り込まれます。

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**「カメラ」にする**

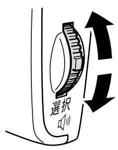


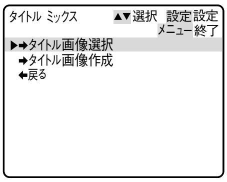

**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**




**3** メニューボタンを
**押す**

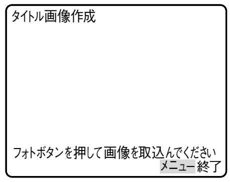
**4** カメラメニューから
**「➡タイトル　ミックス」を選ぶ**



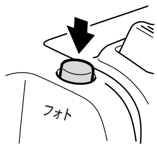




●「タイトル　ミックス」の画面になる。

**5** 「➡タイトル画像作成」を
**選ぶ**

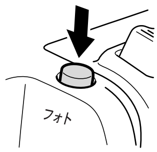



**6** フォトボタンを
**浅く押す**




●⭘が白色に点滅したあと、緑色の点灯に変わる。

**7** フォトボタンを
**深く押す**



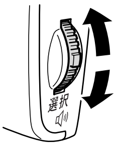

●⭘が消え、タイトル画像が取り込まれる。
●「タイトル画像作成」メニューが出る。

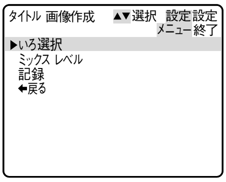
# メモリーカードの静止画とカメラで撮影している映像を合成してテープに記録する（タイトルミックス）ー つづき

## タイトル画像の色を選ぶ

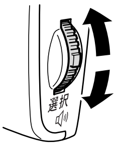
●色の選択によっては、同じファイル番号が付くことがあります。

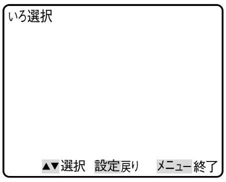
**1** 「タイトル画像作成」メニューから「いろ選択」を
**選ぶ**



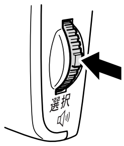




**2** 選択/設定ボタンを上または下に押して
**色を選ぶ**



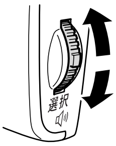



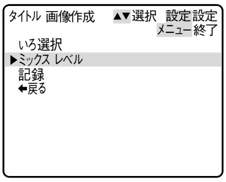

**3** 色を選んだら
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**



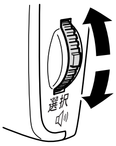

## レベルを調整する

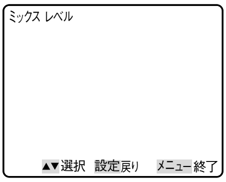
**1** 「タイトル画像作成」メニューから「レベル」を
**選ぶ**



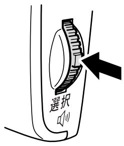




**2** 選択/設定ボタンを上または下に押して
**レベルを調整する**



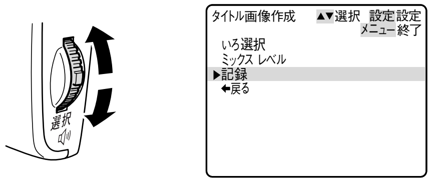

**3** 調整が終わったら
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**



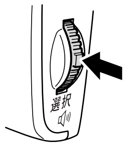
## メモリーカードに記録する

●メモリーカードに記録しないと、タイトルミックスは使用できません。

**1** 「タイトル画像作成」メニューから「記録」を
**選ぶ**



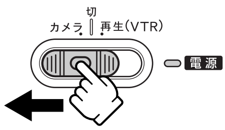

**2** 選択/設定ボタンを
**まっすぐ押す**



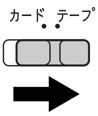

● タイトル画像がメモリーカードに記録される。

## 合成するタイトル画像を選ぶ

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを
**カメラにする**

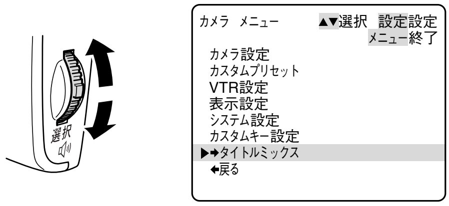



**2** テープ/カード切り換えスイッチを
**「テープ」にする**



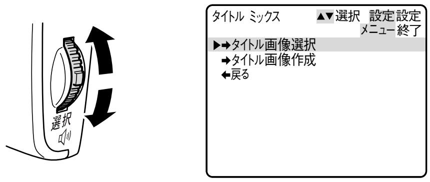

**3** メニューボタンを
**押す**

**4** カメラメニューから
**「➡タイトル　ミックス」を選ぶ**



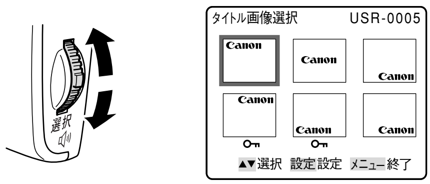

●「タイトル　ミックス」の画面になる。

**5** 「➡タイトル画像選択」を
**選ぶ**




● 最大6つのタイトル画像が表示される「タイトル画像選択」インデックス画面が出る。

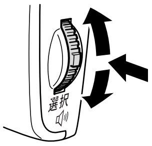
**6** 合成するタイトルを
**選ぶ**




メモリーカード編

# メモリーカードの静止画とカメラで撮影している映像を合成してテープに記録する（タイトルミックス）ー つづき

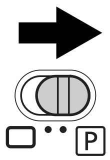
**7** タイトル画像を選んだら
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**




● タイトル画像が選択され、タイトルミックスメニューに戻る。

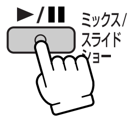
## タイトルミックスを入/切する

**1** 撮影モード切り換えスイッチを
Pにして、撮影モードを選ぶ




●□（全自動モード）ではタイトルミックスは使用できません。

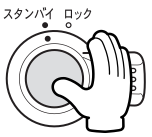
**2** ミックス/スライドショーボタンを
**押す**




● 選んだタイトル画像が表示され、カメラで撮影している映像と合成される。

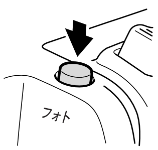
## 合成した映像を動画でテープに録画する

**1** スタート/ストップボタンを
**押す**



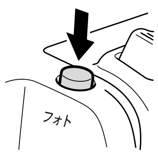

## 合成した映像を静止画でテープに録画する

**1** フォトボタンを
**浅く押す**




● ◉が白色に点滅したあと、緑色の点灯に変わる。

**2** フォトボタンを
**深く押す**



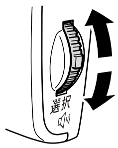

● ◉が消え、静止画撮影が始まる。

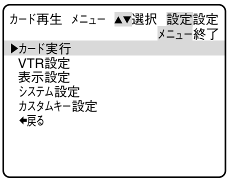
## タイトル画像を消えないようにする

作成したタイトル画像を誤って消去しないように、誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。
●プロテクト設定しても、カードをフォーマットするとタイトル画像は消去されます。

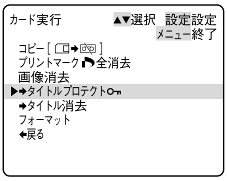
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

### 1 カード再生メニューのメインメニューから **「カード実行」サブメニューを選ぶ**

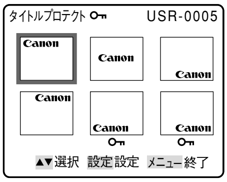



### 2 「カード実行」サブメニューから **「➡タイトルプロテクト O-π」を選ぶ**

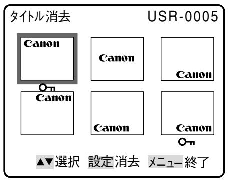



### 3 選択/設定ボタンをまっすぐ **押す**




● タイトルプロテクトのインデックス画面が出る。

### 4 プロテクトするタイトル画像を選び **選択/設定ボタンをまっすぐ押す**




● O-π が出て、消去できなくなる。
● もう一度押すと、解除される。

プロテクトを解除する（消去可能にする）ときは
●プロテクト設定されているタイトル画像を選び、4の操作で選択/設定ボタンをまっすぐ押すと O-π が消え、消去可能になります。

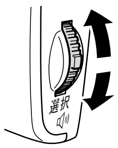
# メモリーカードの静止画とカメラで撮影している映像を合成してテープに記録する（タイトルミックス）ー つづき

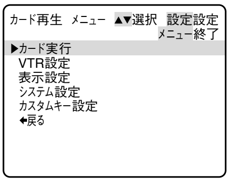
## タイトル画像を消去する

●あらかじめタイトル画像を記録したメモリーカードを入れておいてください。

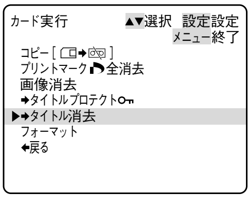
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** カード再生メニューのメインメニューから
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**




**2**「カード実行」サブメニューから
**「➡タイトル消去」を選ぶ**




**3** 選択/設定ボタンをまっすぐ
**押す**

● タイトル画像消去のインデックス画面が出る。
●タイトル画像を削除するときは、画面で画像を確認してください。

**4** 消去するタイトル画像を選び
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**

●「このタイトルを消去しますか？」と「はい」、「いいえ」の選択画面になる。
● 選んだタイトル画像が点滅する。

**5**「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ
**押す**

● タイトル画像が消去される。

続けて他のタイトル画像を消去するときは、選択/設定ボタンでタイトル画像を選び、「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す。
●「いいえ」を選んだときには、タイトル画像消去のインデックス画面に戻ります。

# メモリーカードの静止画をテープにコピーする

メモリーカードに記録してある静止画をテープにコピー（フォト記録）できます。

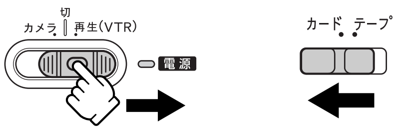
- 選んだ静止画以降のすべての静止画をテープにコピーします。
- カードの静止画をテープにコピーしたときの日付/時刻が、日時としてテープに記録されます。

- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードと記録可能なテープを入れておいてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

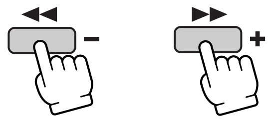
**1** ボタンを押しながら電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ/カード切り換えスイッチを

**「カード」にする**




**2** ＋または－ボタンを

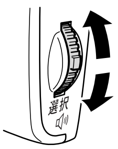
**押してコピーする始めの静止画を選ぶ**

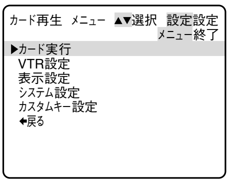


- メモリーカードに記録しているすべてをコピーするときは、最初の静止画を選んでください。

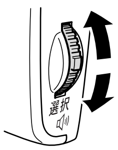
**3** カード再生メニューのメインメニューから

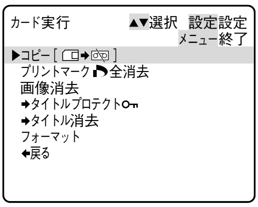
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**



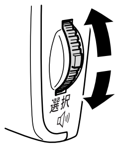

**4** 「カード実行」サブメニューから「コピー［ カード → テープ ］」を選ぶ

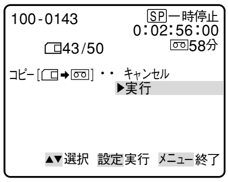



- 「コピー［ カード → テープ ］」だけの画面になる。

**5** 「実行」を選ぶ




- 画面がコピー確認画面に変わり、コピーが始まる。
- 現在画面に出ている静止画がテープにフォト記録（1枚の静止画あたり約6.5秒）され、記録が終わると次の静止画の記録になります。メモリーカードの最後の静止画をフォト記録し終わったり、テープがお終いになると、コピーは終了します。

**6** 希望の静止画のコピーが終わったら■ボタンを

**押す**

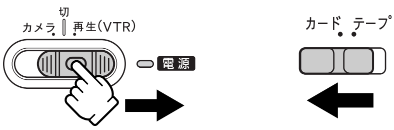
# メモリーカードを初期化（フォーマット）する

フォーマットは、新しいメモリーカードを使うときや、「カードエラーです」という警告表示が出たときに行います。また、メモリーカード内の静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。*
* フォーマットを行うと、プロテクト設定した静止画やタイトルまで、すべての情報が消えてしまいます。

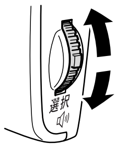
●フォーマットして一度消去した静止画などはもとに戻せません。フォーマットする前に確認してください。
●アクセサリーキットAK-620に付属のSDメモリーカード以外のメモリーカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。

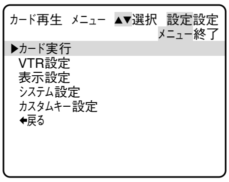
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生(VTR)モード**

**1** ボタンを押しながら電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ/カード切り換えスイッチを
**「カード」にする**

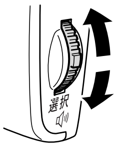


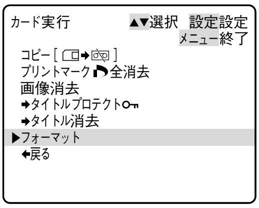

**2** カード再生メニューのメインメニューから
**「カード実行」サブメニューを選ぶ**



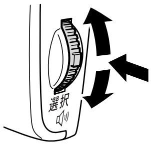

**3** 「カード実行」サブメニューから
**「フォーマット」を選ぶ**

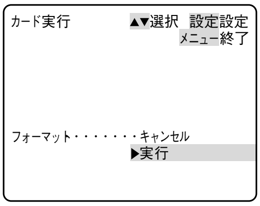



●「キャンセル」、「実行」の選択画面になる。
●誤って「フォーマット」の項目を選んでしまったときなどは、「キャンセル」を選んで」、選択/設定ボタンをまっすぐ押してください。

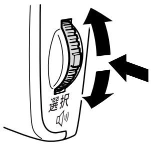
**4** 選択画面から「実行」を選び
**選択/設定ボタンをまっすぐ押す**

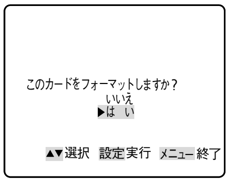


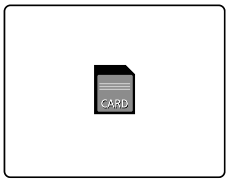




●「このカードをフォーマットしますか？」と「いいえ」、「はい」の選択画面になる。

**5** フォーマットするときは
「はい」を選び、選択/設定ボタンをまっすぐ押す



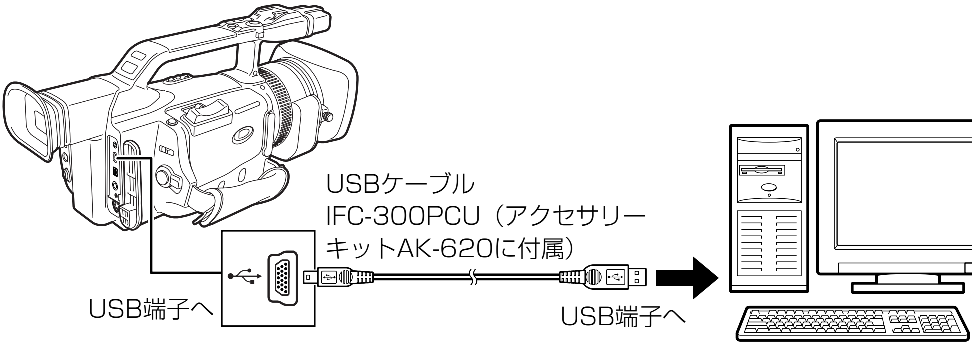




●フォーマットされ、すべての情報が消去される。
●「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「実行」の選択画面に戻ります。

# メモリーカードの静止画をパソコンで活用する

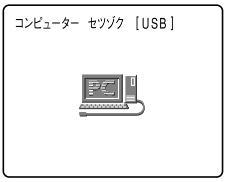
メモリーカードに記録した静止画を、本機とUSB接続したパソコンに取り込むことができます。また、アクセサリーキットAK-620に付属のソフトを使って、画像を分類して保存したり、枠やタイトルを付けて印刷できます。
付属のUSBケーブルとCanon Digital Video Solution Disk を使います。
コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。
● パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。

## 接続のしかた




本機とパソコンの接続方法やソフトのインストールのしかた、使いかたなどについてはCanon Digital Video Solution Disk ソフトウェア使用説明書をご覧ください。

● 「コンピューター セツゾク [USB]」とUSB接続をしていることを知らせる表示が出ます。




**注 意**

● メモリーカードの静止画を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。メモリーカードのデータを破壊することがあります。
・メモリーカードを出したり、USBケーブルを絶対に抜かない。
・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
● 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
● メモリーカードとメモリーカードからハードディスクに読み込んで保存した静止画は、大切なオリジナルのデータファイルです。静止画のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした静止画を使用してください。

**補 足**

**USB接続をしているときは**
● 本機の電源スイッチ以外の操作ボタンは、使用できません。

# その他

本機でメモリーカードに記録した画像は、市販の製品により、お手持ちのパソコンに取り込むこともできます。

- PCカードアダプター： パソコン（主にノートパソコン）にあるPCカードスロットにメモリーカードを入れるためのアダプター
- FDアダプター： パソコンのフロッピーディスクドライブにメモリーカードを入れるためのアダプター

**メモリーカードについて　取り扱い上のご注意**

- 新規にメモリーカードを購入した際には、本機でフォーマットを行ってください。パソコンなど本機以外でフォーマットしたメモリーカードは、正常に使えないことがあります。
- メモリーカードに記録した画像などのデータは、パソコンでMOなどの外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておいてください。メモリーカードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- カード動作ランプが点滅中は絶対にメモリーカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしないでください。
- 強い磁気の発生する場所で使わないでください。
- 高温、多湿の場所に放置しないでください。
- 分解しないでください。
- ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。
- カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしないでください。
- カードの保管、持ち運ぶときは端子部分の保護のため、付属のケースに入れてください。
- メモリーカードには表裏、前後の区別があります。正しくない方向に無理に入れないでください。破損の恐れがあります。
- ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしないでください。目的別に使い分けるときは、ケースにシールなどを貼ってください。

# 電源スイッチを切り換えても憶えている項目

電源スイッチを切り換えたときでも、次の機能の設定は憶えています。電源スイッチを切り換えたときでも、次の設定は覚えていますが、設定を記憶するためにはコイン型リチウム電池が必要です。（📖 33）
○：設定を憶えています。　　×：設定を憶えていません。「　」内の状態に戻ります。

| 項目 | 電源スイッチを「切」にする | | 📖 |
|---|---|---|---|
| **カメラモード、カードカメラモード** | | | |
| | カメラモード | カードカメラモード | |
| ● プログラムAEモードの種類 | ○ | | 78 |
| ● オートフォーカスの入/切 | ×（「入」になる） | | 69 |
| ● AEシフトの設定 | ○ | | 88 |
| ● シャッタースピードの設定 | × | | 83、86 |
| ● ホワイトバランスの設定 | × | | 89 |
| ● デジタルエフェクトの設定 | ○ | − | 99 |
| ● デジタルエフェクトの入/切 | ×（「切」になる） | − | 99 |
| ● ヘッドホンの音量の設定 | ○ | − | 122 |
| ● セルフタイマーの入/切 | ×（「切」になる） | | 114 |
| ● オンスクリーンの入/切 | ○ | | 182 |
| ● ゼロセットメモリーのカウンター値 | ○ | − | 125 |
| **カメラメニュー、カードカメラメニュー項目の設定** | | | |
| ● タイトルミックス選択　タイトルミックスの入/切 | × | − | 170 |
| 　タイトル画像選択 | ○ | − | 169 |
| ● デジタルズームの入/切 | ○ | | 68 |
| ● 手ぶれ補正の入/切 | ○ | | 75 |
| ● 16：9の入/切 | ○ | − | 36 |
| ● 録画モードの設定 | ○ | − | 37 |
| ● マイクの設定 | ○ | − | 72 |
| ● オーディオモードの設定 | ○ | − | 38 |
| ● 液晶画面明るさ調整/ビューファインダー明るさ調整 | ○ | | 38 |
| ● 対面撮影の設定 | ○ | | 76 |
| ● オンスクリーンの入/切 | ○ | | 182 |
| ● ガイド表示の設定 | ○ | | 39 |
| ● カードアクセスの入/切 | ○ | | 155 |
| ● デモモードの入/切 | ○ | | 39 |
| ● 動画モード | ○ | − | 107 |
| ● ゼブラパターンの入/切 | ○ | | 91 |
| ● ゼブラパターンレベルの設定 | ○ | | 91 |
| ● クリアスキャンの設定 | ○ | − | 92 |

# 電源スイッチを切り換えても憶えている項目ー つづき

| 項目 | 電源スイッチを「切」にする | | |
|---|---|---|---|
| **カメラメニュー、カードカメラメニュー項目の設定** | | | |
| | **カメラモード** | **カードカメラモード** | |
| ● グリップズームスピードの設定 | ○ | | 67 |
| ● ハンドルズームスピードの設定 | ○ | | 67 |
| ● インターバルタイマー　インターバルタイマーの入/切 | × | – | 112 |
| 　インターバルタイマーの時間設定 | ○ | – | 112 |
| ● カスタムプリセットの設定 | ○ | | 97 |
| ● カスタムキーの設定 | ○ | | 93 |
| ● マイクATTの入/切 | ○ | – | 73 |
| ● パワーセーブの設定 | ○ | – | 63 |
| ● 16：9エリアマーカーの入/切 | ○ | – | 38 |
| ● レベルメーター表示の入/切 | ○ | – | 73 |
| ● 録画ランプの入/切 | ○ | – | 39 |
| ● 表示文字記録の入/切 | ○ | – | 40 |
| ● DVコントロールの入/切 | ○ | – | 111 |
| ● リモコンコードの設定 | ○ | | 61 |
| ● お知らせブザーの入/切 | ○ | | 39 |
| ● エリア/サマータイムの設定 | ○ | | 54 |
| ● 日時設定 | ○ | | 58 |
| ● 画像サイズ | – | ○ | 152 |
| ● 画質の設定 | – | ○ | 152 |
| ● 番号リセットの入/切 | – | ○ | 153 |
| ● シャッター音の入/切 | – | ○ | 45 |
| **再生（VTR）モード、カード再生モード** | | | |
| | **再生（VTR）モード** | **カード再生(VTR)モード** | |
| ● ヘッドホン音量の設定 | ○ | – | 122 |
| ● スピーカー音量の設定 | ○ | – | 122 |
| ● オンスクリーンの入/切 | ×（「切」になる） | | 182 |
| ● ゼロセットメモリーのカウンター値 | ○ | – | 125 |
| ● データコード表示の入/切 | ×（「切」になる） | | 130 |
| ● オーディオ12bit出力の選択 | ×（「ステレオ1」になる） | – | 146 |
| ● ミックスバランスの設定 | ○ | – | 146 |
| ● サーチ選択のインデックスサーチ／フォトサーチ／日付サーチの選択 | ×（「フォトサーチ」になる） | – | 126、127、128 |

| 項目 | 電源スイッチを「切」にする | | 📖 |
|---|---|---|---|
| **VTRメニュー、カード再生メニュー項目の設定** | | | |
| | 再生（VTR）モード | カード再生（VTR）モード | |
| ● 録画モードの設定 | ○ | ― | 41 |
| ● バイリンガルの設定 | ×（「メイン+サブ」になる） | ― | 146 |
| ● アフレコ入力の設定 | ○ | ― | 143 |
| ● マイクの設定 | ○ | ― | 72 |
| ● オーディオモードの設定 | ○ | ― | 41 |
| ● マイクATTの入/切 | ○ | ― | 73 |
| ● AV入力→DV出力の入/切 | ○ | ― | 139 |
| ● 音声ATTの入/切 | ○ | ― | 145 |
| ● 液晶画面明るさ調整/ビューファインダー明るさ調整 | ○ | | 42 |
| ● 再生時文字表示の入/切 | ○ | | 42 |
| ● 日付オート表示の入/切 | ○ | ― | 42 |
| ● データコードの設定 | ○ | ― | 130 |
| ● 日時選択の設定 | ○ | | 129 |
| ● カードアクセスの入/切 | ○ | | 155 |
| ● リモコンコードの設定 | ○ | | 61 |
| ● お知らせブザーの入/切 | ○ | | 43 |
| ● カスタムキーの入/切 | ○ | | 93 |
| ● レベルメーター表示の入/切 | ○ | ― | 73 |
| ● 録画ランプの入/切 | ○ | ― | 43 |
| ● カスタムキーの入/切 | ○ | | 93 |
| ● エリア/サマータイムの設定 | ○ | | 54 |
| ● 日時設定 | ○ | | 58 |

# 電源スイッチを切り換えても憶えている項目ー つづき

## 撮影モード切り換えスイッチを切り換える／プログラムAEモードを切り換える

○：設定を憶えています。　×：設定を憶えていません。「　」内の状態に戻ります。

| 項目 | カメラモード | | カードカメラモード | | 📖 |
|---|---|---|---|---|---|
| | □（全自動）にする | プログラムAEモードを切り換える | □（全自動）にする | プログラムAEモードを切り換える | |
| ● プログラムAEモードの種類 | ×（「オート」になる） | ― | ×（「オート」になる） | ― | 78 |
| ●オートフォーカスの入/切 | ×（「入」になる） | ○ | ×（「入」になる） | ○ | 70 |
| ● AEシフトの設定（□（全自動）では「切」になる） | ○* | ○** | ○* | ○** | 88 |
| ● ホワイトバランスの設定 | ×（「オート」になる） | ○ | ×（「オート」になる） | ○ | 89 |
| ● デジタルエフェクトの設定 | × | ○ | ― | | 99 |
| ● デジタルエフェクトの入/切 | ×（「切」になる）カラーバーのみ使用可能 | ○ | ― | | 99 |
| ● ヘッドホンの音量の設定 | ○ | | ― | | 122 |
| ● セルフタイマーの入/切 | ○ | | ○ | | 114 |
| ● オンスクリーンの入/切 | ○ | | | | 182 |
| ● ゼロセットメモリーのカウンター値 | ○ | | ― | | 125 |
| **メニュー項目の設定** | | | | | |
| ● タイトルミックスの入/切 | ×（「切」になる） | ○ | ― | | 170 |
| ● カスタムプリセット | ○* | ○ | ○* | ○ | 97 |
| ● シャッタースピードの設定 | ×（「オート」になる） | | ×（「オート」になる） | | 83、86 |
| ● デジタルズームの入/切 | ○ | | ○ | | 68 |
| ● 手ぶれ補正の入/切 | ×（「入」になる） | ○ | ×（「入」になる） | ○ | 75 |
| ● 16：9の入/切（□（全自動）では「切」になる） | ○* | ○ | ― | | 36 |
| ● 録画モードの設定 | ○ | | ― | | 37 |
| ● マイクの設定 | ○ | | ― | | 72 |
| ● マイクATTの入/切 | ○ | | ― | | 73 |
| ● オーディオモードの設定 | ○ | | ― | | 38 |
| ● 液晶画面明るさ調整/ビューファインダー明るさ調整 | ○ | | ○ | | 38 |
| ● 対面撮影の設定 | ○ | | ○ | | 76 |
| ● オンスクリーンの入/切 | ○ | | ○ | | 182 |
| ● 日時表示の設定 | ○ | | ○ | | 65 |
| ● カードアクセスの入/切 | ○ | | ○ | | 155 |

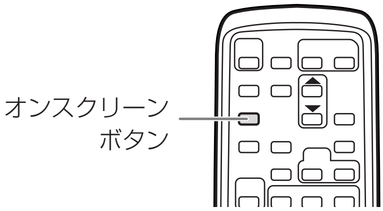
＊　撮影モード切り換えスイッチを P にするともとに戻ります。

＊＊ スポットライトとサーフ＆スノー、マニュアルでは、AEシフトは操作できません。

| 項目 | カメラモード | | カードカメラモード | | 📖 |
|---|---|---|---|---|---|
| | □（全自動）にする | プログラムAEモードを切り換える | □（全自動）にする | プログラムAEモードを切り換える | |
| **メニュー項目の設定** | | | | | |
| ● デモモードの入/切 | ○ | | ○ | | 39 |
| ● リモコンコードの設定 | ○ | | ○ | | 61 |
| ● お知らせブザーの入/切 | ○ | | ○ | | 39 |
| ● エリア/サマータイムの設定 | ○ | | ○ | | 54 |
| ● 日時設定 | ○ | | ○ | | 58 |
| ● 動画モード | ノーマルになる | ○ | – | | 107 |
| ● ゼブラパターンの入/切 | ○ | | ○ | | 91 |
| ● ゼブラパターンレベルの設定 | ○ | | ○ | | 91 |
| ● グリップズームスピードの設定 | ○ | | ○ | | 67 |
| ● ハンドルズームスピードの設定 | ○ | | ○ | | 67 |
| ● セルフタイマーの入/切 | ○ | | ○ | | 114 |
| ● インターバルタイマー：インターバルタイマーの入/切 | ○ | | ○ | | 112 |
| ● インターバルタイマー：インターバルタイマーの時間設定 | ○ | | – | | 112 |
| ● 画質の設定 | – | | ○ | | 151 |
| ● 番号リセットの入/切 | – | | ○ | | 153 |
| ● シャッター音の入/切 | – | | ○ | | 45 |

# 液晶画面／ビューファインダーの表示

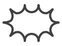
液晶画面／ビューファインダーは、カメラの動作状態のさまざまな情報を表示します。
液晶画面／ビューファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。

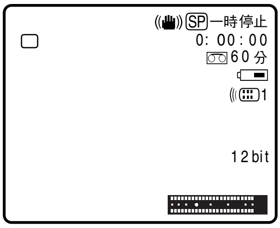



電源スイッチが「カメラ」のとき：
テレビ画面上での表示が不要なときはオンスクリーンボタンを押して消してください。もう一回押すと表示します。
電源スイッチが「再生（VTR)」のとき：
オンスクリーンボタンを押すと表示し、もう一回押すと消えます。

- カスタムキーを「オン　スクリーン」に設定しておくと、カスタムキーでも操作できます。

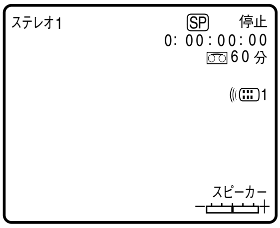
## 自動で撮る/テレビで見るときの表示

 は点滅表示を示しています。（　）内の数字は参照ページです。




カメラモードで □（全自動）を選んで、テープを入れたときの表示です。

- リモコンコード設定とオーディオモードは、約4秒後に消えます。
- 「表示設定」サブメニューの「レベルメーター」を「入」にしておくと、レベルメーターが出ます。




再生(VTR)モードでテープを入れたときの表示です。

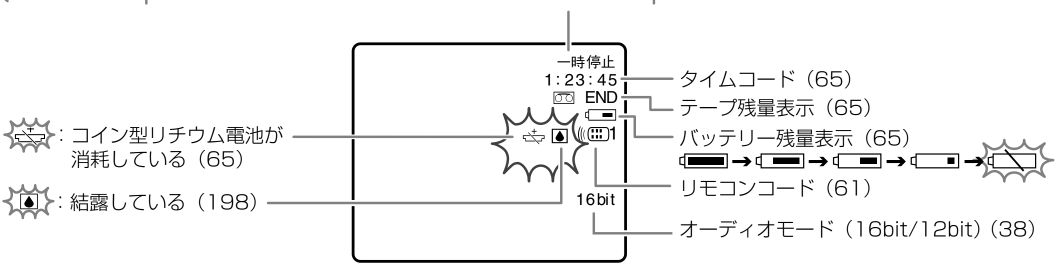
- リモコンコードと音量表示は、約4秒後に消えます。

＊テープ走行表示

- 録画
- 一時停止
- 停止
- 取出し
- 再生
- ▶▶ 早送り
- ◀◀ 巻戻し

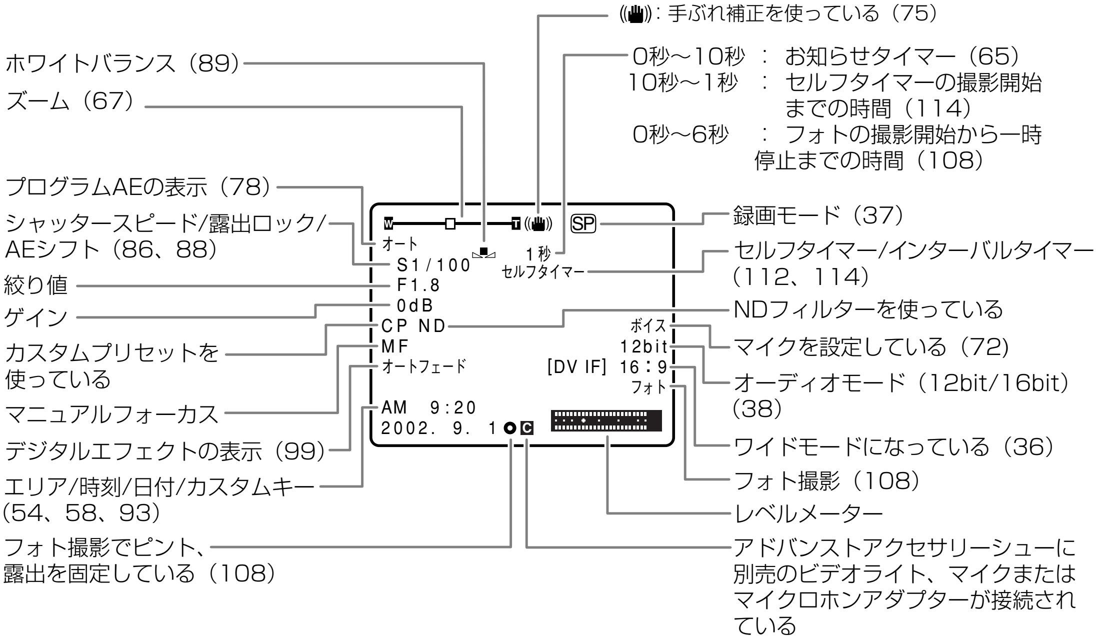
- ▶▶/◀◀：早送り再生／巻き戻し再生（120）
- ×2▶/◀×2：正方向／逆方向2倍速再生（121）
- ×1▶/◀×1：正方向／逆方向1倍速再生（121）
- I▶/◀I：正方向／逆方向1/3倍速再生（121）
- II▶/◀II：正方向／逆方向コマ送り再生（121）
- ▶II/II◀：正方向／逆方向インデックス／静止画再生（157）
- ▶▶I/I◀◀：正方向／逆方向日付／フォトサーチ（126、127）

- リターン ▶▶/◀◀リターン：ゼロセットメモリー早送り／巻き戻し（125）
- ●/●II：AVインサート録画／録画一時停止（140）
- ●/●II：アフレコ音声録画／録画一時停止（143）

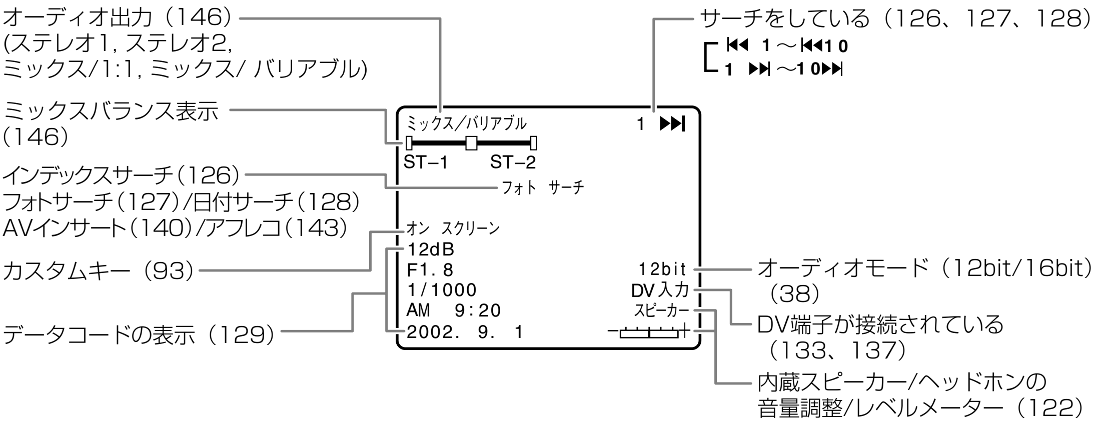


## 効果的に使うときの表示

### カメラモード

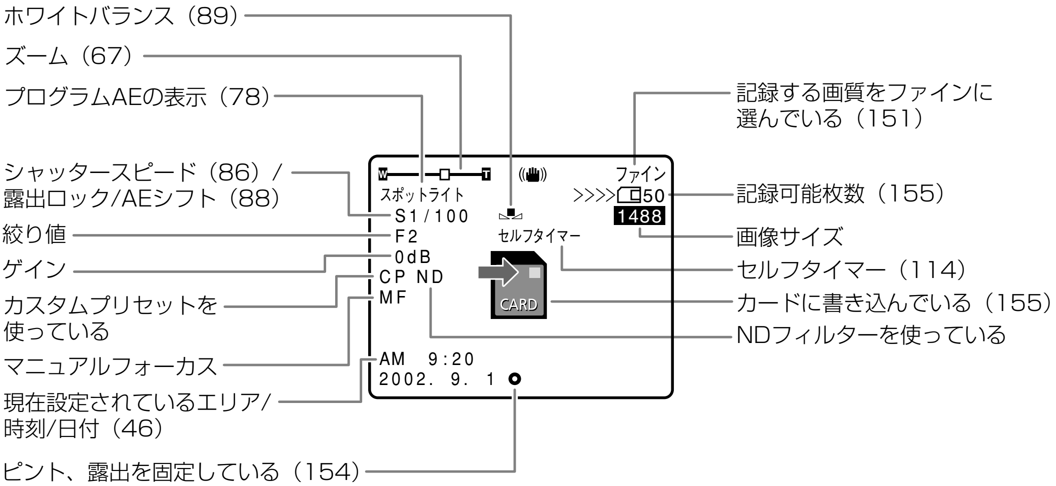



### 再生（VTR）モード

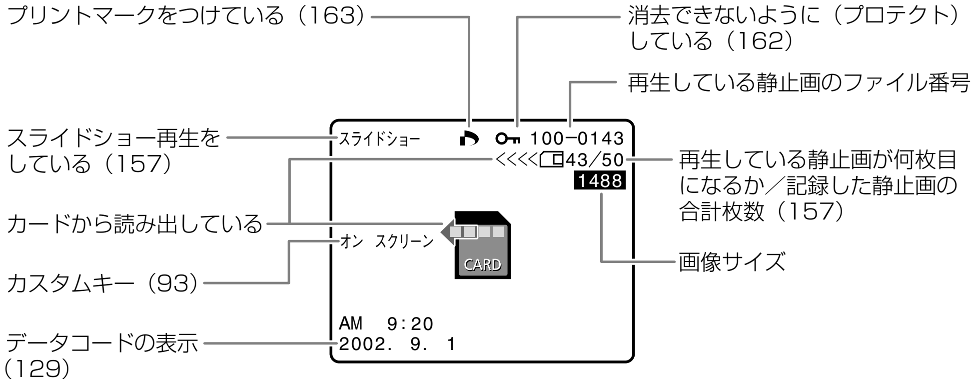



その他

## カードカメラモード




## カード再生モード



## 警告文表示(約4秒間表示されます)

| | |
|---|---|
| エリア／日時を<br>設定してください | 世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（📖54、58)。 |
| バッテリーパックを<br>取りかえてください | バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（📖24)。 |
| カセットの<br>誤消去防止ツマミ<br>を確認してください | カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（📖30)。 |
| カセットを<br>取出してください | テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（📖29)。 |
| ＤＶ入力を<br>確認してください | ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。ケーブルと端子、電源を確認してください（📖133、137)。 |
| 結露しています | ビデオカメラ内部に水滴がついている場合に表示されます。結露の項目をご覧ください（📖198)。 |

# 液晶画面／ビューファインダーの表示 ー つづき

## 警告文表示(約4秒間表示されます)

| 表示 | 説明 |
|---|---|
| テープ終了です | テープが最後まで巻かれています。カセットを巻き戻す、または取り出してください（📖30、119)。 |
| テープを<br>確認してください<br>[録画モード] | SPモード以外で記録された部分です。アフレコまたはＡＶインサートできません（📖140、143)。 |
| テープを<br>確認してください<br>[オーディオモード] | 16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（📖143)。 |
| テープを<br>確認してください<br>[録画していません] | 記録されていない部分のため、アフレコまたはＡＶインサートできません（📖140、143)。 |
| クリーニングカセットを<br>使ってください<br>[ヘッドよごれ ] | 録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（📖193)。 |
| カードがありません | メモリーカードがビデオカメラ本体に入っていません（📖150)。 |

## 警告文表示(約4秒間表示されます)

| | |
|---|---|
| カードの<br>誤消去防止ツマミ<br>を確認してください | SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止のつまみを記録できる状態に切り換えてください（150)。 |
| カードモードです | カードカメラモードのときに、スタート／ストップボタンを押した場合に表示されます。テープやメモリーカードに静止画は記録されません。 |
| 画像がありません | メモリーカードに再生する静止画がありません。 |
| カードエラーです | メモリーカードにエラーがあり、記録、再生できません。<br>●一時的にカードエラーが起きる場合があります。<br>「カードエラーです」の表示が4秒後に消えてが 赤色で点滅するときは、電源を切り、メモリーカードを出し入れしてください。 が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。 |
| カードがいっぱいです | メモリーカードに空き容量がありません。別のメモリーカードと入れ換えるか、静止画を消去してください。 |
| ファイル名が<br>作成できません | ファイル番号やフォルダ番号が最大になった場合に表示されます。 |

その他

# 液晶画面／ビューファインダーの表示 ー つづき

## 警告文表示(約4秒間表示されます)

| | |
|---|---|
| この画像は<br>再生できません | 再生できない画像フォーマット、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとした場合に表示されます。 |
| プリントマークエラー | プリントマークファイルが編集不可能な場合に表示されます（ 163)。 |
| カードカバーが<br>あいています | メモリーカードカバーが開いています。カバーを閉じてください。 |
| タイトルがありません | メモリーカードにタイトル画像を記録しないまま、ミックスボタンを押したときに表示されます。 |

## 著作権保護信号(約4秒間表示されます)

コピー禁止テープです
再生できません

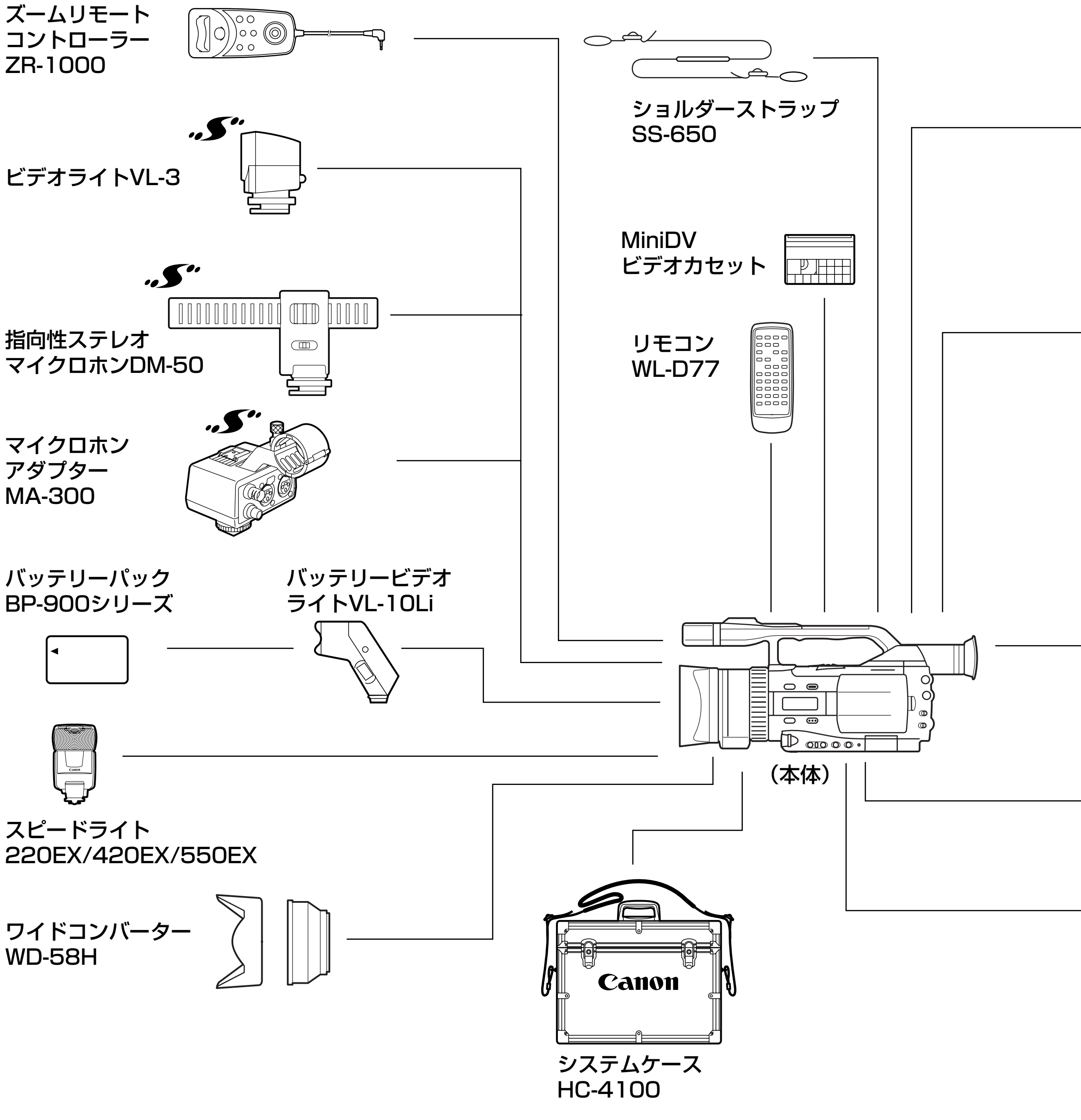
(本機が再生側の場合)
著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生することができません（ 132)。

コピー禁止です

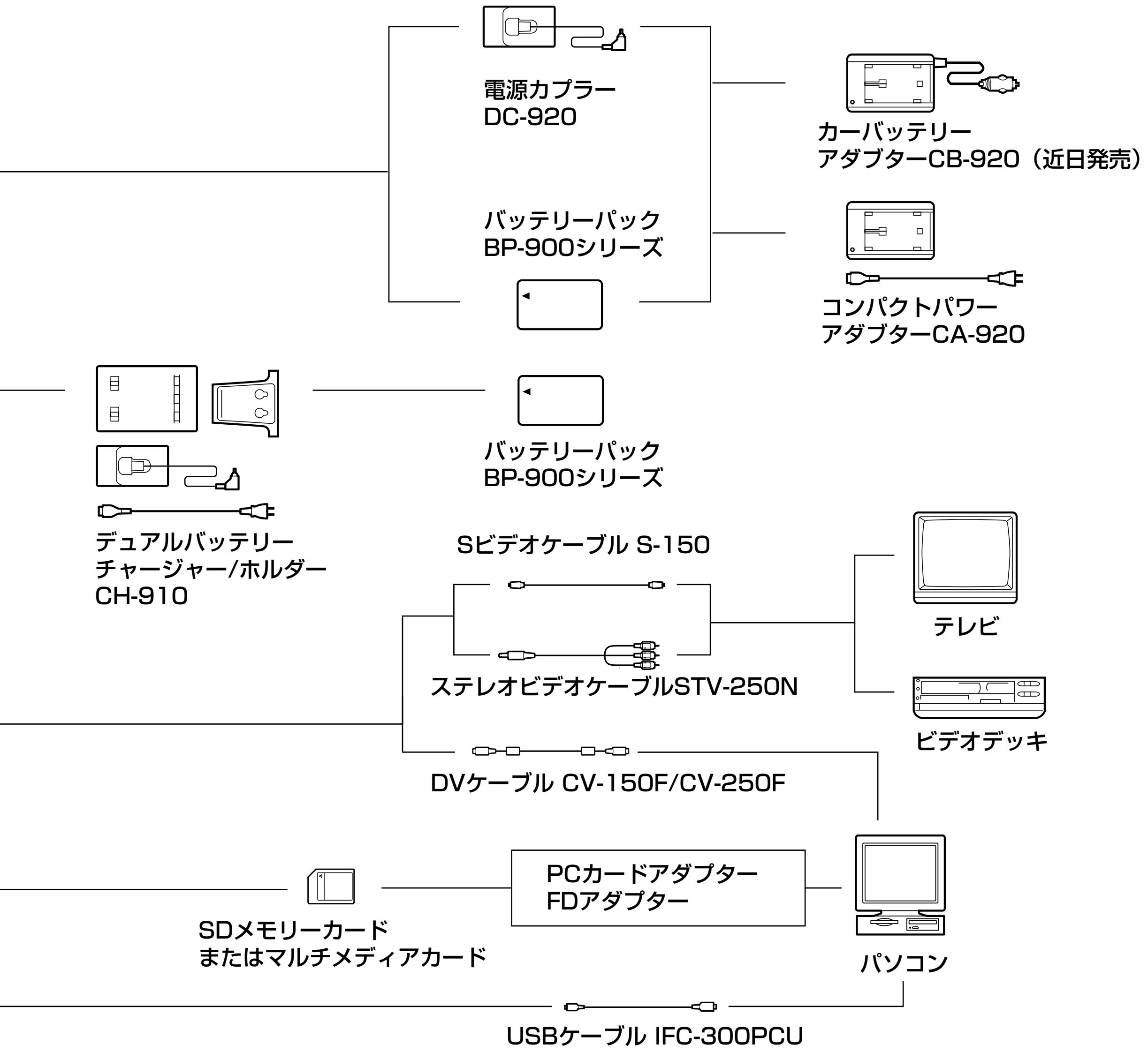
(本機が録画側の場合)
著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録することができません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（ 135、137)。

ただし、アナログ−デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（ 139)。

# キヤノンビデオシステム




● キヤノンビデオ機器に他社製の電源関連製品（バッテリーパック、ACアダプターなど）を組み合わせた場合、 正しく取り付けられなかったり、正常に動作しないことがあります。ご注意ください。
キヤノンビデオ機器と他社製の電源関連製品を組み合わせてお使いになって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。




本機で動作を確認しているメモリーカード（2002年1月現在）

**マルチメディアカード**

サンディスク（SanDisk）社製：8MB、16MB、32MB、64MB
日立製作所社製：16MB、32MB、64MB

**SDメモリーカード**

松下電器産業社製：8MB、16MB、32MB、64MB
東芝社製：32MB、64MB、128MB
サンディスク（SanDisk）社製：8MB、16MB、32MB、64MB

● ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

CANON GENUINE VIDEO ACCESSORY

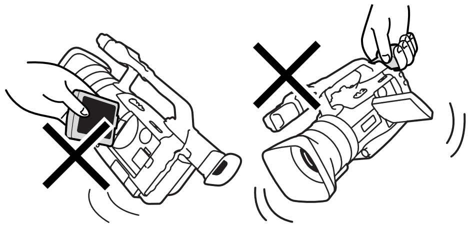
**このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。**

**記載内容は、2002年6月現在のものです。**

# 取り扱い上のご注意

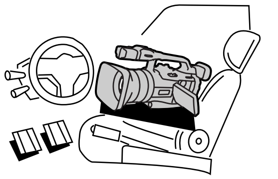
ビデオカメラやカセットを使うときは次のことに注意してください（使用したカセットはケースに収納してください）。

### 液晶画面やビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げない



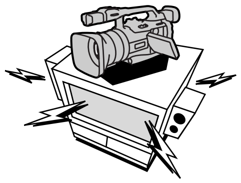
### 高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



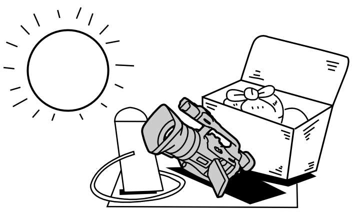
### 強い磁気の発生する場所で使わない

テレビや携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影は避けてください。画面がゆがんだり、ノイズが入ることがあります。



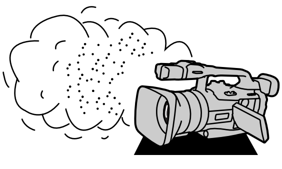
### 太陽や強いライトにレンズを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



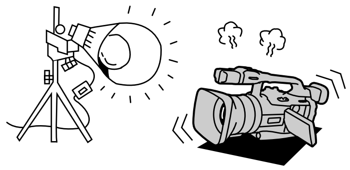
### ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。レンズにホコリや砂がつくのを防止するために、使用後は必ずレンズキャップをつけてください。



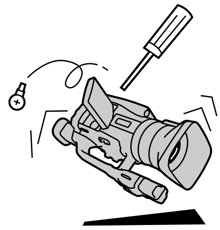
### 照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。



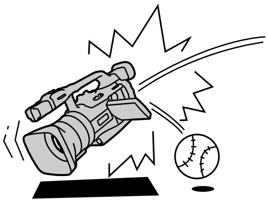
### 分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



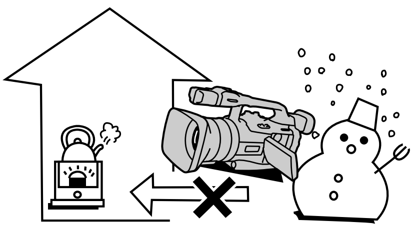
### 振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



### 極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（193ページ）の指示にしたがってください。



# ビデオヘッドをクリーニングする

液晶画面/ビューファインダーに「クリーニングカセットを使ってください[ヘッドよごれ]」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見るために約20時間使ったら、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

**正常な画像**

**ビデオヘッドが汚れているときの画像**

**ヘッドクリーニングするときは**

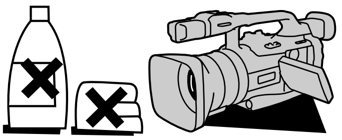
● 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

# 日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセット、カードをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

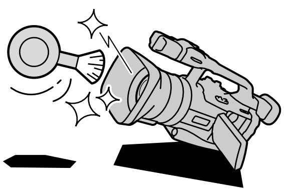
### お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



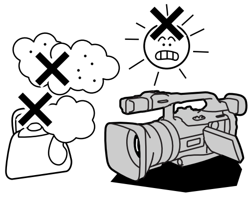
### レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。



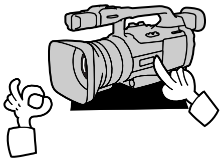
### 長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



### 各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。



**液晶画面について**

●汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

●温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

●寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

その他

# ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダー内部のゴミを取り除く

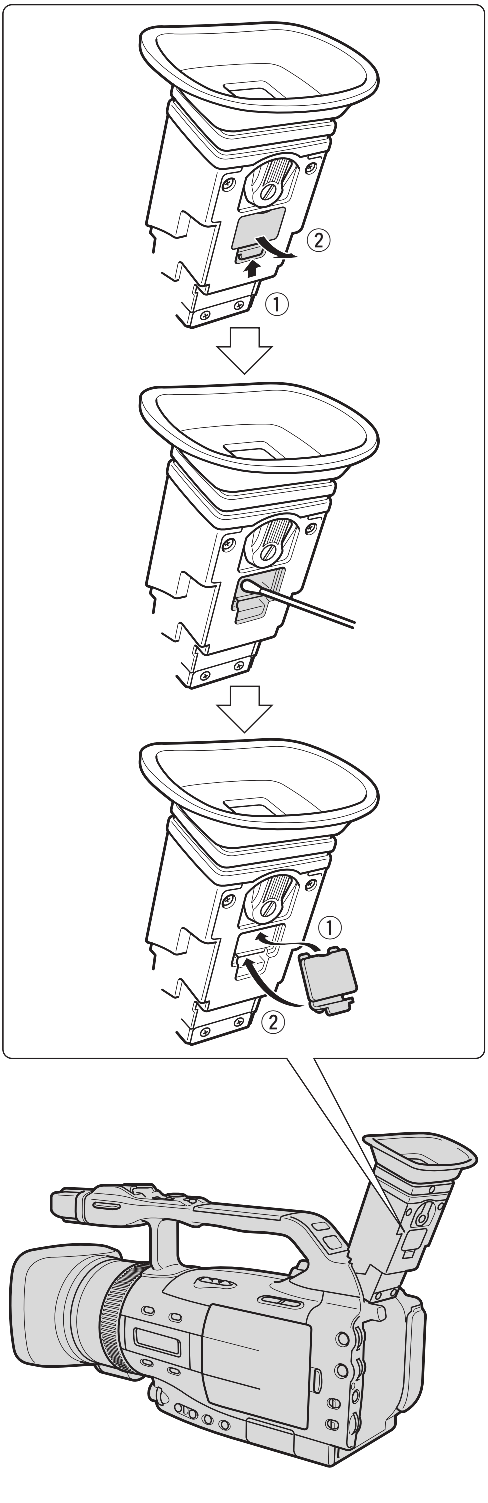
**1** ビューファインダーを引き出してから上げる

**2** 保護カバーを取りはずす

**3** 綿棒などを差し込み、ガラス部のゴミを取り除く

**4** 保護カバーを取り付けて、ビューファインダーを元の位置に戻す

- ガラス部の表面は傷つきやすいので、ご注意ください。



# こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 電源 | 電源が入らない。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| | | スタンバイレバーがロックになっている。 | スタンバイレバーをスタンバイにする。 | 63 |
| | | バッテリーパックが正しく装着されていない。 | バッテリーパックを正しく装着し直す。 | 24 |
| | 途中で電源が切れる。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| | | 撮影一時停止状態が5分以上続いた。 | もう一度電源を入れる。 | 63 |
| | グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| | | グリップカバーが完全に開いていない。 | 止まるまで開く。 | 29 |
| | カセット入れが動作中に止まって動かない。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| | | 本機が故障している。 | サービスセンターにご相談ください。 | 裏表紙 |
| | 液晶画面／ビューファインダーがついたり消えたりをくり返す。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| 撮影時・再生時 | 操作ボタンを押しても動かない。 | 電源が入っていない。 | 電源を入れる。 | 62<br>119 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 29 |
| | 電源ランプが点滅し液晶画面／ビューファインダーに「」が点滅する。 | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 24 |
| | 電源ランプが点滅し液晶画面／ビューファインダーに「」が点滅する。 | ビデオカメラの内部に水滴が付いた。 | 結露の項目をご覧ください。 | 198 |
| | 電源ランプが点滅し液晶画面／ビューファインダーに「カセットを取り出してください」が点滅する。 | 保護機能が働いている。 | カセットを一度取り出して、入れ直す。 | 29 |
| | リモコンが動作しない。 | 本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（液晶画面／ビューファインダーに「」が出ている）。 | メニューでリモコンコードを「1」または「2」にする。 | 61 |
| | | リモコンの電池が消耗した。 | 新しい電池と交換する。 | 34 |
| 撮影時 | 液晶画面／ビューファインダーに映像が映らない。 | カメラモードになっていない。 | 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切り換えスイッチを「テープ」にする。 | 62 |
| | | スタンバイレバーがロックになっている。 | スタンバイレバーをスタンバイにする。 | 63 |

その他

# こんなときは ー つづき

| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 撮影時 | 「エリア／日時を設定してください」が表示される。 | 世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、コイン型リチウム電池が消耗している。 | 世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいコイン型リチウム電池CR2025と交換し、日付／時刻を設定し直す。 | 33<br>54<br>58 |
| | スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。 | 電源が入っていない。 | 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切り換えスイッチを「テープ」にする。 | 62 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 29 |
| | | テープが終わっている（液晶画面／ビューファインダーに「END」が点灯している）。 | テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 | 29<br>119 |
| | | カセットが録画できない状態になっている（液晶画面／ビューファインダーに「 」が点滅する）。 | 別のカセットと入れ換えるか、カセットを録画できる状態に切り換える。 | 29<br>30 |
| | | カメラモード以外になっている。 | 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切り換えスイッチを「テープ」にする。 | 62 |
| | ピントが合わない。 | ピントの自動調整が苦手な被写体である。 | 手動でピントを合わせる。 | 70 |
| | | ビューファインダーの視度が合っていない。 | 視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。 | 31 |
| | | レンズが汚れている。 | 最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーは使わないでください。） | 193 |
| | 録画ランプが点滅しない | メニューで録画ランプ「切」を選んだ。 | メニューで録画ランプを「入」にする。 | 39 |
| | キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。 | CCDのスミア現象で故障ではありません。 | | 81 |
| | ビューファインダーの画像がはっきりしない。 | 視度調整レバーで調整していない。 | 視度調整レバーで調整する。 | 31 |
| 再生時 | 再生ボタンを押しても再生しない。 | 電源が入っていない、または再生（VTR）モード以外になっている。 | 電源スイッチを「再生（VTR)」、テープ／カード切り換えスイッチを「テープ」にする。 | 119 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 29 |
| | | テープが終わっている（液晶画面／ビューファインダーに「END」が点灯している）。 | テープを巻き戻す。 | 119 |
| | テレビに画像が出ない。 | メニューで「AV入力→DV出力」が「入」になっている。 | メニューで「AV入力→DV出力」を「切」にする。 | 139 |

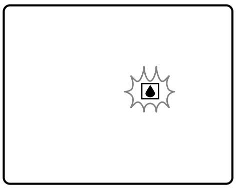
| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 再生時 | テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。 | テレビのテレビ／ビデオ切り換えスイッチがビデオにセットされていない。 | テレビ／ビデオ切り換えスイッチをビデオにセットする。 | 123 |
| | | ビデオヘッドが汚れている。 | 市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。 | 193 |
| | | コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。 | 再生またはダビング録画を中止してください。 | 132<br>187 |
| | 再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。 | スピーカーの音量調整が「切」になっている。 | 選択／設定ボタンで調整する。 | 122 |
| カード使用時 | メモリーカードが入らない | メモリーカードの向きが正しくない。 | 正しい向きでメモリーカードを入れるか、新しいメモリーカードを入れる。 | 150 |
| | メモリーカードに記録できない。 | すでにメモリーカードの容量いっぱいに記録している。 | 不要な静止画を消去してから撮影する。 | 165 |
| | | フォーマットされていないメモリーカードを使っている。 | フォーマットしてからメモリーカードを使う。 | 174 |
| | | メモリーカードが入っていない。 | メモリーカードを入れる。 | 150 |
| | | 番号が最大になっている（ファイル名が作成できない）。 | メニューで番号リセットを「する」に設定して、新しいメモリーカードを入れる | 153 |
| | | SDメモリーカードの場合、メモリーカードが記録できない状態になっている。 | SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。 | 150 |
| | メモリーカードの再生ができない。 | カード再生モード以外になっている。 | 電源スイッチを「再生（VTR）」、テープ／カード切り換えスイッチを「カード」にする。 | 156 |
| | | メモリーカードが入っていない。 | メモリーカードを入れる。 | 150 |
| | 静止画を消去できない。 | 静止画がプロテクト設定されている。 | プロテクト設定を解除する。 | 162 |
| | | SDメモリーカードの場合、メモリーカードが記録できない状態になっている。 | SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。 | 150 |
| | が赤色で点滅する。 | カードエラーになっている。 | 電源を切る。<br>メモリーカードを出し入れする。それでも点滅が続く場合は、フォーマットする。 | 150 |
| その他 | カメラモードで電源を入れると、数秒間レンズが振動する。 | 手ぶれ補正機能を安定して動作させるためです。故障ではありません。 | | |
| | レンズ内部に気泡ができる。 | ごくまれに飛行機や高い山などでは、レンズ内部に気泡が発生することがありますが、故障ではありません。気泡は、通常約1週間程度で消えますが、気圧や使用状況により変わります。 | | |

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などにより液晶画面／ビューファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

# こんなときは ー つづき

### 結露について
夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

### 結露したときは？
電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。液晶画面/ビューファインダーに「結露しています」が約4秒間表示され、 が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取出してください」が表示され、 が点滅します。



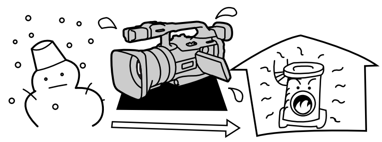
- カセットが入っている場合は、すぐに取出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出し機能のみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。カセットをそのまま中に放置すると、テープを傷める可能性があります。

### 結露を防ぐためには
- 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取出すと、結露を防ぐことができます。

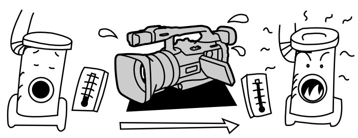
### 使い始めるには
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、液晶画面/ビューファインダーの や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

## こんなときにはご注意

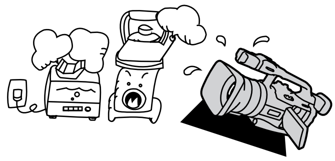
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



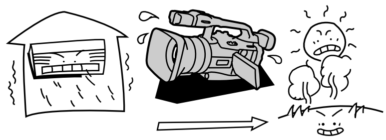
- 寒い部屋を急に暖房したとき



- 湿度の高い部屋の中



- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



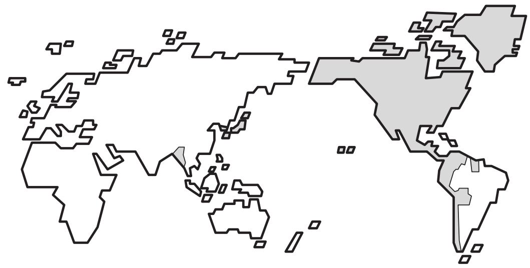
# 海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

### テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



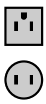
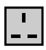
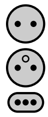
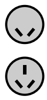
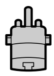
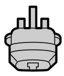
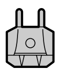
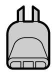
●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

### バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-920は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

### ■海外の電源コンセントの種類

| タイプ | A | B | BF | C | S |
|---|---|---|---|---|---|
| コンセントの形状 |  | |  |  |  |
| 変換プラグ | 不要です |  |  |  |  |

### 主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

| ●北米 | |
|---|---|
| アメリカ合衆国 | A |
| カナダ | A |

| ●ヨーロッパ | |
|---|---|
| アイスランド | C |
| アイルランド | C |
| イギリス | B. BF |
| イタリア | C |
| オーストリア | C |
| オランダ | C |
| ギリシャ | C |
| スイス | C |
| スウェーデン | C |
| スペイン | A. C |
| デンマーク | C |
| ドイツ | C |
| ノルウェー | C |
| ハンガリー | C |
| フィンランド | C |
| フランス | C |
| ベルギー | C |
| ポーランド | B. C |
| ポルトガル | B. C |
| ルーマニア | C |

| ●アジア | |
|---|---|
| インド | B. C. BF |
| インドネシア | C |
| シンガポール | B. BF |
| スリランカ | B. C. BF |
| タイ | A. BF. C |
| 大韓民国 | A. C |
| 中華人民共和国 | A. B. BF. C. S |
| ネパール | C |
| パキスタン | B. C |
| バングラディシュ | C |
| フィリピン | A. BF. S |
| ベトナム | A. C |
| 香港特別行政区 | B. BF |
| マカオ特別行政区 | B. C |
| マレーシア | B. BF. C |

| ●オセアニア | |
|---|---|
| オーストラリア | S |
| グアム | A |
| タヒチ | C |
| トンガ | S |
| ニュージーランド | S |
| フィジー | S |

| ●中南米 | |
|---|---|
| アルゼンチン | BF. C. S |
| コロンビア | A |
| ジャマイカ | A |
| チリ | B. C |
| ハイチ | A |
| パナマ | A |
| バハマ | A |
| プエルトルコ | A |
| ブラジル | A. C |
| ベネズエラ | A |
| ペルー | A. C |
| メキシコ | A |

| ●中近東 | |
|---|---|
| イスラエル | C |
| イラン | C |
| クウェート | B. C |
| ヨルダン | B. BF |

| ●アフリカ | |
|---|---|
| アルジェリア | A. B.BF. C |
| エジプト | B. BF. C |
| カナリア諸島 | C |
| ギニア | C |
| ケニア | B. C |
| ザンビア | B. BF |
| タンザニア | B. BF |
| 南アフリカ共和国 | B. C. BF |
| モザンビーク | C |
| モロッコ | C |

# 保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

### 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

#### 製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

#### 修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

#### 補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

#### 修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

# 主な仕様（型式：XV2）

| | |
|---|---|
| **システム** | 回転2ヘッドヘリカルスキャン<br>DV方式（民生用デジタルVCR SD方式） |
| 映像記録方式： | デジタルコンポーネント記録 |
| 音声記録方式： | PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch)<br>12bit (32kHz/4ch) |
| 信号方式： | NTSC方式準拠 |
| 使用可能ビデオカセット： | Mini DVのついたミニDVカセット |
| テープ速度： | 約18.81mm/秒　（SPモード時）<br>約12.56mm/秒　（LPモード時） |
| 録画/再生時間： | 80分（80分テープ使用時/SPモード時）<br>120分（80分テープ使用時/LPモード時） |
| 早送り/巻き戻し時間： | 約2分20秒（60分テープ使用時） |
| 撮像素子： | 1/4型3CCD、総画素数41万画素×3<br>有効画素　38万画素×3 |
| 液晶画面： | 2.5型TFTカラー液晶　（約20万画素） |
| ビューファインダー： | 0.44型　TFTカラー液晶　（約18万画素） |
| マイク： | ステレオエレクトレットコンデンサーマイク |
| レンズ： | f=4.2～84mm<br>F=1.6～2.9　電動20倍ズーム |
| レンズ構成： | 10群12枚 |
| フィルター取付径： | 58mm |
| 焦点調整： | TTL自動焦点、マニュアル調整可 |
| 最短撮影距離： | ワイド端1cm、ズーム全域1m |
| 色温度切り換え： | フルオート（セット、屋内、屋外付） |
| 最低被写体照度： | 0.75ルクス（1/8スローシャッター時） |
| 推奨被写体照度： | 100ルクス以上 |
| 被写体照度範囲： | 0.75～10万ルクス |
| 絞り： | オートアイリスサーボ方式 |
| 手ぶれ補正機能： | 光学式 |
| 記録カード： | SDメモリーカード、マルチメディアカード |
| カード記録画素数： | 1488×1128、640×480画素（ピクセル） |
| カード記録フォーマット： | DCF準拠、Exif2.2準拠*、DPOF対応（静止画のみ） |
| 画像圧縮方法： | 静止画：JPEG（ファイン、スタンダード） |
| カード記録枚数** | (8MバイトのSDメモリーカードの場合）<br>1488×1128<br>ファイン約6枚、スタンダード約10枚<br>640×480<br>ファイン約47枚、スタンダード約93枚 |

＊このビデオカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

＊＊この数値は撮影条件や被写体によって変わります。

# 主な仕様（型式：XV2）ー つづき

**入・出力端子（レベル／インピーダンス）**

| | |
|---|---|
| 映像端子*： | φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω |
| S映像端子： | 4ピン　DIN<br>輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286Vp-p/75Ω |
| USB端子： | mini-B |
| DV端子： | マルチコネクター、IEEE1394準拠 |
| 音声端子*： | 出力時：4dBm（47kΩ負荷時）/ 3kΩ以下<br>入力時：0dBv（47kΩ負荷時）/ 47kΩ（音声ATT 入）<br>－10dBv（47kΩ負荷時）/ 47kΩ（音声ATT 切） |
| マイク端子： | －35dBv（600Ωマイク使用時）/ 5.6kΩ（マイクATT 入）<br>－55dBv（600Ωマイク使用時）/ 5.6kΩ（マイクATT 切） |
| ヘッドホン端子： | φ3.5mm ステレオミニジャック |
| リモート端子： | φ2.5mm　LANC対応 |

**電源その他**

| | |
|---|---|
| 電源電圧： | DC7.2V |
| 消費電力： | ビューファインダー使用時：約4.8W（録画中、AF合焦時）<br>液晶画面使用時：約5.7W（録画中、AF合焦時） |
| 動作温度： | 0℃～40℃ |
| 外形寸法： | 118×136×306mm （幅×高さ×奥行き） |
| 撮影時総質量： | 約1.27kg （バッテリーパックBP-915、レンズキャップ、レンズフード、コイン型リチウム電池、ビデオカセット30分用、メモリーカードSDC-8M含む） |
| 本体質量： | 約1.12kg |

＊映像端子と音声端子は共用です。

# 索引



その他

# メニュー索引

操作からメニューが探せます。

| ア行 | | サブメニュー | カメラ | 再生(VTR) | カードカメラ | カード再生(VTR) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| アフレコする方法（音声/マイク）を変える | → | ＶＴＲ設定 | | ○ | | |
| インターバル撮影をする | → | カメラ設定 | ○ | | | |
| 液晶画面（ＬＣＤ）の明るさを調整する | → | 表示設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エリア/サマータイムを変える | → | システム設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| オーディオモード（12bit/16bit）を変える | → | ＶＴＲ設定 | ○ | ○ | | |
| お知らせブザーを入/切する | → | システム設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| オンスクリーンを入/切する | → | 表示設定 | ○ | | ○ | |
| 音声入力ATTを入/切する | → | ＶＴＲ設定 | | ○ | | |
| **カ行** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生(VTR)** | **カードカメラ** | **カード再生(VTR)** |
| 画像を消去する | → | カード実行 | | | | ○ |
| カードアクセスを入/切する | → | 表示設定 | ○ | | ○ | ○ |
| カードからテープへコピーする | → | カード実行 | | | | ○ |
| カードに記録する画質を選ぶ | → | カード設定 | | | ○ | |
| カードに記録する画像サイズを選ぶ | → | カード設定 | | | ○ | |
| カードをフォーマットする | → | カード実行 | | | | ○ |
| ガイド表示を選ぶ | → | 表示設定 | ○ | | ○ | |
| カスタムキーの設定表示を入/切する | → | 表示設定 | | ○ | | ○ |
| カスタムキーを設定する | → | カスタムキー設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| カラーゲインを調整する | → | カスタムプリセット | ○ | | ○ | |
| クリアスキャンを使う | → | カメラ設定 | ○ | | | |
| グリップズームスピードを選ぶ | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| **サ行** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生(VTR)** | **カードカメラ** | **カード再生(VTR)** |
| 再生時の文字表示を入/切する | → | 表示設定 | | ○ | | ○ |
| 色相を調整する | → | カスタムプリセット | ○ | | ○ | |
| シャープネスを調整する | → | カスタムプリセット | ○ | | ○ | |
| シャッター音を入/切する | → | カード設定 | | | ○ | |
| セットアップレベルを調整する | → | カスタムプリセット | ○ | | ○ | |
| ゼブラパターンレベルを調整する | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| ゼブラパターンを入/切する | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| セルフタイマーを使う | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |

| タ行 | | サブメニュー | カメラ | 再生 (VTR) | カード カメラ | カード再生 (VTR) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| タイトルミックスを使う | → | タイトルミックス | ○ | | | |
| タイトル画像を消去する | → | カード実行 | | | | ○ |
| タイトル画像を消えないようにする（プロテクト） | → | カード実行 | | | | ○ |
| 対面撮影の設定（ミラー/ノーマル）を変える | → | 表示設定 | ○ | | ○ | |
| デジタルズームを入/切する | → | カメラ設定 | ○ | | | |
| データコードの日時の表示を選ぶ | → | 表示設定 | | ○ | | ○ |
| データコードの表示内容を選ぶ | → | 表示設定 | | ○ | | |
| 手ぶれ補正を入/切する | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| デモモードを入/切する | → | 表示設定 | ○ | | ○ | |
| 動画モードを選ぶ | → | カメラ設定 | ○ | | | |
| **ナ行** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生 (VTR)** | **カード カメラ** | **カード再生 (VTR)** |
| 日時を設定する | → | システム設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 日時（データコードで表示する）を選ぶ | → | 表示設定 | | ○ | | ○ |
| **ハ行** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生 (VTR)** | **カード カメラ** | **カード再生 (VTR)** |
| バイリンガルの設定を変える | → | ＶＴＲ設定 | | ○ | | |
| パワーセーブの項目を選ぶ | → | ＶＴＲ設定 | ○ | | | |
| 番号（静止画ファイルの）リセットを入/切する | → | カード設定 | | | ○ | |
| ハンドルズームスピードを選ぶ | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| 日付の自動表示を入/切する | → | 表示設定 | | ○ | | |
| ビューファインダーの明るさを調整する | → | 表示設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 表示文字記録を入/切する | → | システム設定 | ○ | | | |
| プリントマークを全消去する | → | カード実行 | | | | ○ |
| プリントマークを付ける | → | カード実行 | | | | ○ |
| ホワイトバランスを設定する | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| **マ行** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生 (VTR)** | **カード カメラ** | **カード再生 (VTR)** |
| マイクの音質を選ぶ | → | ＶＴＲ設定 | ○ | ○ | | |
| マイクATTを入/切する | → | ＶＴＲ設定 | ○ | ○ | | |

# メニュー索引 ー つづき

| ラ行 | | サブメニュー | カメラ | 再生(VTR) | カードカメラ | カード再生(VTR) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| リモコンコードを変える | → | システム設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| レベルメーター表示を入/切する（液晶画面/ビューファインダー） | → | 表示設定 | ○ | ○ | | |
| 録画モードを変える | → | ＶＴＲ設定 | ○ | ○ | | ○ |
| 録画ランプを入/切する | → | システム設定 | ○ | ○ | | ○ |
| **その他** | | **サブメニュー** | **カメラ** | **再生(VTR)** | **カードカメラ** | **カード再生(VTR)** |
| 16：9を使う | → | カメラ設定 | ○ | | | |
| 16：9エリアマーカー表示を入/切する | → | 表示設定 | ○ | | | |
| AEシフトを設定する | → | カメラ設定 | ○ | | ○ | |
| AV入力→DV出力を入/切する | → | ＶＴＲ設定 | | ○ | | |
| AV端子を使う | → | ＶＴＲ設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| DVコントロールを入/切する | → | システム設定 | ○ | | | |

Canon

**キヤノン株式会社**
**キヤノン販売株式会社**

〒108-8011　東京都港区港南2－16－6

## 製品の取り扱い方法、および修理に関する相談窓口

| 製品名 | お問い合わせ |
| --- | --- |
| XV2 | キヤノン販売　お客様相談センター |

**（全国共通番号）　ナビダイヤル 0570-01-9000　該当番号 66**

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルビデオカメラの
該当番号＜66＞をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。なお、
PHS・海外からの電話をご使用の方は、03-3455-9353をご利用ください。

※音声対応システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめ
ご了承ください。
※電話回線の状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。
その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ち
ください。

この使用説明書は100%再生紙
を使用しています。

PUB. DIJ-124A

© CANON INC 2002

DY8-9010-090-001

PRINTED IN JAPAN